

②住みたい場所(仮の町を含む)について

【会議参加者からの意見】

no.	タイトル	本文(意見の内容)	会議会場
5	暮らし	美しい海、澄みきった空の下で、充分ではないが、何不自由なく生きてきて、家族がバラバラになっての生活はつらい。福島は暑いし寒い。	01福島
6	住宅	復興住宅を、一日も早く場所を決めて作ってほしい。	01福島
14	福島は暑い	福島は暑いし、雪が降るので気候が良いところに住みたい。	01福島
15	要望	帰れないのだったら、災害公営住宅を作って欲しい。	01福島
16	住宅	復興住宅を早く作るようお願い致します。町長頑張れ。	01福島
17	住宅	復興住宅を、作るにしても行政区ごとに生活できるように。	01福島
19	住まい	一軒家が良いが難しい。交通の便の良いところに住みたい。	01福島
23	復興住宅を早急に	復興住宅を早急に決めて、我々年寄り早く死んでしまいます。1日でも早く決めてください。一日でも早く楽に過ごせるようお願い致します。	01福島
37	山	山菜が豊富(タラボ、コゴミ、ワラビ、シドケ)にあり、とても住みやすい。今度住む時も同じような場所を希望したい。	01福島
46	復興	団地の形式で住むのは避けたい。	01福島
47	将来	孫、子供のことを考えたまち作りが必要。	01福島
48	復興	3年から5年で帰れる場所、10年で帰れる場所、100年以上帰れない場所の地区ごとに仮の町をつくるのはどうか。1つの仮の町では難しいこともあるのではないか。	01福島
49	新しい町に望むこと	まずは放射能がないこと。暖かい気候。働く場所。断層がないこと。病院と医者、教育の環境。	01福島
53	復興	仮の町づくりを迅速にやるのが重要。	01福島
56	将来	孫との生活を取り戻したい。	01福島
58	仮の町の場所	何ヶ所か仮の町の候補が欲しい。受け入れる市町村があるのか。	01福島
60	こんな所に住みたい	150年位帰れない場所だから、仕事(保育士の資格が活かせる)のできる場所に住みたい。	01福島
74	仮の町	仮の町は希望しない。	01福島
81	子孫の繁栄を	豊かな生活の出来る町を願う。	01福島
82	帰りたい	双葉でも帰れるところがある。帰れないところでも往き来出来るようにしたい。	01福島
83	老人施設	どこかに老人施設をつくって、家族みんなと一緒に暮らしたい。	01福島
114	交通の利便性	実家に行く便利さ	01福島
157	双葉の自然	朝夕の潮騒が懐かしい。仮の町を少しでも海岸(高い所)の方が望ましい。	01福島
162	要望	仮の町完全実施。全町民への情報の通知。	01福島
164	安全性	安全に帰ることができる地域と言われても原発の処理が安全に進むかどうか信用できないから帰れない。	01福島
172	ふたばニュータウン	双葉町だけでは復興は困難なので、8町村が一つになって「ふたばニュータウン」を形成してはどうか。	01福島
178	出勤元	家族の元から出勤したい。	01福島
179	除染、インフラ整備、若者の住めるまちづくり	元の双葉町に戻れるように除染作業をしてほしい。インフラの整備をきちんとしてほしい。若者も住めるまちづくり。	01福島
180	安全に安心して子供が暮らせる街	安全に安心して子供が暮らせる街	01福島
181	買い物/医療があり家族と暮らせる場所	買い物ができ医療機関が近くにあり家族と一緒に暮らせるところ。	01福島
182	犬の飼える家に住みたい	犬の飼える家に住みたい。	01福島
186	若者の娯楽	若者が楽しめる施設がないので、若者離れを防ぐためにあった方がいい。	01福島
187	除せん処理、安全な生活環境	除染をしっかりとしてほしい。町民全員が安心して暮らせる環境を作って欲しい。	01福島
193	生活	安心して住める町	01福島
211	仮の町の場所	仮の町をつくるとしたら福島県の中心、郡山市。	01福島
265	これから	1日でも早く安心できる生活を。安全に生活したい。	01福島

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
266	復興住宅	線量のないところに復興住宅を早くつくって！つくる場合、きちんとした住宅をバリアフリーや耐震性等を。	01福島
268	現状の双葉町	警戒区域にある双葉町をどうするのか？それを置いて「仮の町」なのか？	01福島
285	町民の声	除染に力をいれて、新しい町・仮の町づくりの前に早く故郷の復興が先決である。	01福島
286	町民の声	仮の町をつくるより、現状で戻れる日を待ちたい心境です。	01福島
288	町民の声	双葉町に帰れるか帰れないかわからないので、新しい町など考えられない。	01福島
293	町民の声	仮の町づくりには、まず、役場の位置を定め、分散型の町なのか、集中型の町なのかを決める。	01福島
307	双葉高校があった	雪が降らない、復興住宅、バリアフリー、耐震性	02東京
319	ショッピングモール	プラント4みたいなショッピングモールが便利。	02東京
320	仮の町	仮の町は原発が収束しないうちは県内は無理。	02東京
322	場所のこと	夏は涼しくて、冬は暖かい場所が良いなー。	02東京
325	仮の町	仮の町は庭付きの一戸建て、家賃なし	02東京
326	仮の町案	尖閣諸島に双葉町をつくる。	02東京
327	仮の町案	尖閣諸島・竹島を双葉町で買い取る。	02東京
328	家庭菜園	双葉町にいるときは家庭菜園ができた。	02東京
329	住まい	団地は嫌です。戸建、家賃は無料。	02東京
332	総合病院	総合病院をつくる。	02東京
343	仮の町より	仮の町より実際に戻れるか戻れないのかを先にはっきりすべき。	02東京
345	元の双葉町	元の双葉町だったら帰りたいが仮の町には帰らない。	02東京
346	住民票	住民票を移してその場所に住む。	02東京
351	仮の町の責任	仮の町が上手くいかなかった時は誰が責任をとるのか。	02東京
362	家族一緒に暮らしたい	家族がバラバラになっての生活はつらく、安心して生活できる住宅がほしい。	02東京
363	コミュニティ	町に帰る前提で仮の町を早く作ってコミュニティを作って欲しい。	02東京
369	新コミュニティ	県内のどこか（なるべく双葉町と気候風土の似ている所）に他の近隣町村と合同で新コミュニティをつくるのがいいと思う。	02東京
385	町	町民が一つの所に集まるのは無理があるので複数箇所を選択してほしい。	02東京
413	仮の町	早く仮の町を双葉に近い所に作って欲しい。	02東京
415	ペット	ペットを自然のなかで育てたい。	02東京
417	コミュニティ	安全で自活できるコミュニティを作りたい。	02東京
419	故郷	海に面した土地に住みたい。	02東京
420	住まい	避難先は狭く一戸建てに住みたい。	02東京
423	町づくり	複数の性格の違う町を作る。（文化で町づくり）	02東京
426	仮の町	仮の町ってイヤ。双葉町に戻りたい。双葉町に戻ることを目指す。例えばシニアのまち。	02東京
433	自然	双葉町といえば豊かな自然、それがなければ双葉の仮の町とはいえない。	02東京
443	仮の町の考え方	仮の町とは、故郷に帰るまでのコミュニティの場。双葉町に帰る人だけの町なのか？	02東京
501	まちづくり	原発のない町に住みたい。	02東京
502	まちづくり	兵庫県のすずらん台のような山を開発したまちづくり。	02東京
525	職場の近く	職場が広野町で、休業しているので、いわきか職場の近い所に仮の町を作してほしい。	02東京
526	いわきに仮の町を	早く職場に復帰するためいわき市にできれば仮の町を作してほしい。	02東京
527	駐車場代	福島のように駐車場代のかからないところが暮らしやすい。	02東京
528	家は広いほうがいい	4DKは欲しい。	02東京
529	住みたい	いわき市など浜通り側にできれば住みたい。	02東京
531	復興町	国や東電は分断するような意図を感じる。みんなで暮らせる町を復興町でいいですから作してほしい。	02東京
532	福島に帰る	一日も早く福島に帰る所を作ってください。なるべく多くの人たちと一緒に。	02東京
533	仮の町	仮の町の場所を早く設定してほしい。	02東京
534	住まい	家は、庭付き一軒家がいい。	02東京
536	どこが？	仮の町を用意する主体はどこか？国、東電？	02東京
537	仮の町を早く	一日も早く仮の町を作ってください。そして早く生活の安定を望みたい。	02東京
538	安全	自分の元あった家程度でいいので、安全な場所に住みたい。	02東京
540	一緒に暮らしたい	家族がバラバラに生活しているので一緒に暮らせるようにしてほしい。	02東京

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
542	マンション	企業にマンションを作らせた方がいい	02東京
543	雪	雪が多い場所には住みたくない。雪降ろしはしたくない。	02東京
544	タイヤ置き場	夏、冬でタイヤを変えるので、タイヤ置き場が必要。	02東京
545	一軒家	今は県営団地に住んでいるが二年までなので、福島に帰ってから仮設でなくて一軒家に住みたい。	02東京
546	住む場所	住まいが決まらないと、他の福祉や教育の話は決まらない。	02東京
547	すまい	福島の知り合いの近くや子供の近くに住みたい。	02東京
549	車、駐車場	車でも便利な場所に住みたい。駐車場は大人一人あたり一台ほしい。	02東京
550	仮の住まい	東京都や区の借上げ公営、みなし公営はいつまで住めるのか。住めなくなるのであれば次に住む先を決めてほしい。用意する主体はどこか。	02東京
551	将来の町に	今は元気で体も動いて丈夫です。将来、仮の町になっても福祉に力を入れてほしい。	02東京
552	放射能	放射能、放射線のないまちをつくってほしい。	02東京
570	放射能のない町	放射能のない町をつくってほしい。	02東京
583	従前建物の撤去	いわき市は転居する際に従前地の建物の撤去を求めている。	02東京
588	住み場所	義父母と一緒に住みたいと言っているが、東京に住むのは大変。福島に戻りたいけど、どこに住んだらいいか。	02東京
598	双葉市	大熊、浪江、双葉の3町を合併し、「双葉市」をどこか似たような環境に作る。いわき市には住めないし。	02東京
602	放射線	福島県には放射線が気になり帰りたいけど行けない。双葉町は埼玉県に移してほしい。原発はまだ収束していない。あぶない。	02東京
606	仮の町について	町の機能は場所が違えばあるとは思えない。	02東京
617	仮の町	「I」という地域に仮の町ができるという噂が流れた。しかし、その地域の首長からは強い拒否の噂も流れた。受け入れる側に好ましく思われなければ行きたくないと思う。	02東京
627	故郷	帰郷した際、自然を見るとほっとした。自然豊かな町にして欲しい。	02東京
635	将来	子供がいて、双葉にも近い茨城県の筑波付近に土地を買った。老後は双葉に戻ることも考えている。	02東京
683	くらし	皆が行ったり来たりできる距離に住みたい。海がある所がよい。	03柏崎
685	土地	いわきの大王製紙の下の土地にまとまって住めるのではないか。	03柏崎
702	復興	災害復興住宅を早く建設してほしい。	03柏崎
740	暮らし	庭があるところで暮らしたい。	03柏崎
755	娯楽	スナックがほしい。	03柏崎
756	自然	自然が多いところに住みたい。	03柏崎
761	自然	山と川と海は必ず必要。	03柏崎
764	町づくり	仮の町を作してほしい。	03柏崎
787	家	アパートが狭いので広い家が欲しい。	03柏崎
790	住宅	狭い借上げ住宅にいる。子供たち（といっても成人）も自分の部屋が欲しいと言っている。	03柏崎
791	畑	野菜を作る畑があればいい。	03柏崎
818	仮の町の立地	何十年も慣れてきたので、海にも山にも近いのがいい。	03柏崎
819	他の町の人との合流	浪江の人と一緒にになったことがあったが、考え方の違うところがあった。	03柏崎
820	仮の町の規模	コミュニティはあってもプライバシーは守られることを希望する。	03柏崎
822	仮の町	長屋形式とか隣が近いのはいや。いままでは隣が100m離れていた。	03柏崎
830	趣味	施設の女の人も男の人も一緒に喋れる施設があるといい。	03柏崎
839	気候	双葉町に近い気象条件のところがいい。最優先の条件として入れたい。	03柏崎
868	帰りたい	いわき市か相馬市に帰りたい。	03柏崎
871	復興住宅	帰るのは絶対に無理があるので、せめて復興住宅をもう少し考えてほしい。	03柏崎
872	住めるなら	できればみんなでもとまって住みたい。	03柏崎
875	立地	自然の多い場所で、病院やスーパーなど多い場所がよい。	03柏崎
877	余力作業として	仮の町ができて、畑作業はしたい。	03柏崎
878	生活場所	生活できないと分かっている。なので、少しでも自宅から近い場所で生きたい。	03柏崎
879	生活場所	現状としては、5年間は柏崎市で暮らしたいと思っているが、先の事はまだ考えていない。土地、家を探しており、安心した老後を考えている。	03柏崎
904	今後の進む道	今後の双葉町の進む道、何年後に町に帰れるのか、仮の町は何年後の話なのか。個人の財物の補償、賠償、基準は何を持って算出するのか。国との協議はいつ頃なのか。	03柏崎
905	仮の町構想	場所、規模等を含めてどのようなものなのか。他の町との連携も必要だと思う。	03柏崎

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
952	農業	畑をつくりたい。	04加須
955	仮の町での仕事	今まで双葉町としてつながってきた。仮の町で生活するには、仕事が必要、それが持続性を担保する。	04加須
958	環境	放射能のない環境が必要。	04加須
960	大切なこと	まずは町民が一ヶ所に集まる事。	04加須
975	仮の町	仮の町をつくる財源がない。	04加須
977	仮の町	集約しニュータウンにしてしまうと、将来、子供たちが出て行ってしまい荒廃してしまう。	04加須
978	仮の町	高齢化で過疎化という問題がある。	04加須
979	仮の町	住居、生活の糧、生業、経済全てが整わないと仮の町にはならない。	04加須
982	仮の町	現実的な問題として娘、息子が戻らないと思う。	04加須
983	仮の町	双葉町に戻るのが前提。一ヶ所で学校、病院が揃った環境が良いが現実的には不可能。	04加須
1008	仮の町	仮の町、なあなあ町。	04加須
1035	利便性	病院、商店、役場等すべて身近にあり、どこも歩いて行くことができた。	04加須
1036	野菜づくり	趣味としての野菜づくりをしたい。	04加須
1040	まちの規模	今までと同じくらいの規模がいい。病院や学校ができる。	04加須
1041	集中型	医療モールや総合病院など、あちこち行かなくても用が足りるのが良い。	04加須
1045	野菜づくり	避難先では、水も野菜も味噌も全て買う生活になってしまった。土地を借りて、野菜を育てている。	04加須
1048	仮の町	老人が安心して暮らせる町。	04加須
1054	住めば都	絶対に海がなければということはなく、子どもが安心して暮らせるところがいい。	04加須
1056	まちづくり例	長野県佐久のようなまちづくり。このまちに住みたいと思うような環境を新しくつくるのが大事。	04加須
1058	立地	立地が決まっていないことが、考えること、想像を難しくしている。	04加須
1060	仮の町	個人的には、双葉町には住めないと思う。50年か100年か？早く仮の町をつくってほしい。	04加須
1061	意見が出しづらい	想像がつかない。どういう立地に仮の町ができるのかによって初めて意見が言える。	04加須
1067	意見	一か所は難しいので、三か所でしかたないのでは。	04加須
1083	環境	汚染されていない場所。	04加須
1085	生活	プチ双葉町を各地につくり、そこで生活を続けたい。	04加須
1087	北海道	北海道で新天地を。	04加須
1088	再生	国内で双葉町再生するならば、歴史、風土、気質などを考えると、北海道か離島しかない。	04加須
1089	北海道	北海道の西側は双葉町の地形に近い。	04加須
1090	新転地「北海道」	放射能がない。土地がある。双葉町民が一緒。人の気質が似ている。気候(涼しい)	04加須
1091	安全	安全が確保されないと復興はあり得ない。	04加須
1093	新双葉町	北海道の新十津川村みたいに新双葉町をつくる。	04加須
1094	コミュニティ	モデル的なコミュニティの再生ができれば、そこには双葉町以外の人、若者と集まって住めるようにする。	04加須
1104	恐怖心	海の近くでない方が良い。津波を見たため。	04加須
1105	放射能	今の双葉町は人が住める環境にはない。危険な放射能があふれている。	04加須
1106	新転地「北海道」	双葉町みたいに海と山があるので道がよい。	04加須
1107	放射能	20mSv/年以下は安全という話は信じられない。福島県に帰ってはいけないと思っている。	04加須
1132	戻るということ	福島に戻れば、除染という被曝をすることになる。被曝は避けたいと町長は言っている。そこを信頼している。	04加須
1134	放射能	放射能の影響を重くみているので県には戻れない。既存の数値に不信感。ICRPの基準も疑わしい。	04加須
1151	ふるさと	ふるさとに近い所に住みたい。	04加須
1152	場所	安全な場所に住みたい。	04加須
1154	自分の家	自分の家があつて畑のある生活をしたい。	04加須
1155	風土	双葉町の風土に近い所がいいと思う。	04加須
1166	住みたくない	海も好きだけれど魚も好きだけれど、海の近くのそばは津波が怖いので住みたくない。	04加須
1189	仮の町	例え、仮の町であっても町民は戻りたくなくなってしまう。	05いわき
1192	成長性	仮の町でコンセプトを止めてはいけない。都市の創造であるべき。	05いわき

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1194	特別養護ホームを	特別養護老人ホームをつくった方が良い、いわき市にて。	05いわき
1197	仮の町	仮の町が帰町の間地点になるとは聞いていない。	05いわき
1205	生活の場所	一つになって暮らせる町にしていきたい。病院、スーパーが近くにほしい。	05いわき
1208	環境	山の方へは行きたくない。広い場所で過ごしたい。	05いわき
1212	自立のために	自立志向の応援を今後の施策面で打ち出して欲しい。仮の町構想と同時平行で進めてください。	05いわき
1213	仮の町	いわき市には土地がない。早く仮の町構想をたててほしい。	05いわき
1215	離島に移住	住民受け入れ施策を実施している所(離島)に移住する。	05いわき
1221	住む場所	仮の町は山の方は嫌です。自分達は運転ができないので病院に通えないです。できれば雪の降らない所がよい。	05いわき
1222	仮の町	仮の町は、帰還のためだけの中間地点という所ではない。	05いわき
1223	不安	これから先何年帰れないか不安です。仮の町はどこに出来るのか。病院通いのため、できれば孫たちと一緒に場所に住みたい。	05いわき
1227	双葉町	双葉町に帰りたい人帰りたいくない人、自由に選択できる方向に進むべき。	05いわき
1230	仮の町	「仮の町」は何が特色なのでしょう。仮の家?仮の町?「仮」では全てが半端になってしまう。戻れるまで、本気で住む決意を持たないと、いつまでも状況は変わらない。「一歩」を踏み出すための支援、施策を。	05いわき
1232	島を買う	双葉町で島を買きましょう。	05いわき
1236	帰還	いわき市の方が便利なので帰らなくなってしまう。	05いわき
1237	家	以前のような大きな家はいらぬ。家族が近くにいる畑仕事ができる場所に住みたい。	05いわき
1240	高齢者に安心と生きがい	高齢者に余生を安心して生きられる場所として、病院や生きがいになるような子育てに関わることができればよい。	05いわき
1249	新しい双葉町	仮の町でなく、新の町に。日本に一つしかない双葉町ならではの町に。自慢、誇り、心のふるさとに。	05いわき
1256	仮の町	何十年も住むのは仮の町ではないのでは。	05いわき
1259	町づくりの手順	町の場所を一つに決める。そして町民に復興スケジュールを見える形で提示する。心がだいふ疲れているので、見通し、目標を持たせる。そして町民ひとりひとりが役割をもって町づくりをする。	05いわき
1262	役員	親子が離れているので、早く一緒に住みたいです。町長が見えないのが不満です。町員が見えないのも残念です。	05いわき
1275	仮の町	仮の町の名称は良くない。真の町にすべき。	05いわき
1276	仮の町	仮の町は、どこにできるのか。いつまで避難生活が続くのか。	05いわき
1280	仮の町	仮の町はどの地域につくるのか? 町全体で住めるのか?	05いわき
1281	帰らない	仕事、教育等で現在の居住地を継続したい。仮の町へ帰る事は考えつかない。	05いわき
1285	仮の町	仮の町に戻らない場合は代替地が必要。	05いわき
1286	仮の町	双葉町の名前のつく公共施設が欲しい。	05いわき
1288	仮の町	南の島に移住したらどうか。	05いわき
1303	仮の町の規模	仮の町は、全員が希望するだけの規模となれるのか。希望者は皆受け入れてくれ。	05いわき
1305	若者の生活	20代の子供が生活する場所ではないと思っている。他の町での生活を考えている。	05いわき
1306	仮の町	仮の町という場合に、年限をきちんと示してくれない限り、生活の設計が立てられないので困る。	05いわき
1307	暮らし	今、県営住宅で騒音の被害が大きくイライラする。これからの住まいでは、集合住宅は性能の良い住まいにしてほしい。	05いわき
1309	暮らし	できれば双葉町の人と一緒に集まって住みたい。	05いわき
1310	土地	一方所にまとまった方が予算が分散しなくて良い。幼稚園から高齢者施設まで。	05いわき
1320	暮らし	なるべく友達に会える所を望んでいる。友達と一緒に過ごせることを願っている。	05いわき
1334	いわきもいいところ	今住んでいる所(いわき)もたくさんいい所がある。	05いわき
1339	いいところ	温暖で住みやすい。 もう一度双葉町に住むことを願う。 海あり山あり川もきれい。 素晴らしい町。	05いわき
1345	定住先	早く定住できる場所を決めてもらわないと死んでしまう。	05いわき
1363	行政組織	双葉町という行政組織はなくともいい。	05いわき
1364	仮の町	仮の町に何の定義もない。	05いわき

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1365	行政	1つの行政の中に2つの行政があることは考えられない。	05いわき
1366	双葉町の場所	遠野の方でもいい。別の土地に双葉町をつくる。	05いわき
1367	生活再建	双葉町という小さな枠組みにこだわって生活再建を考えるつもりはない。	05いわき
1375	高層住宅案	30階建てなら2000人くらい入れる。高層住宅案も考えるべき。	05いわき
1381	汚染地域	汚染地域に戻ることはあり得ない。戻りたくない。	05いわき
1384	福島	放射能が怖いのはみんな同じ。でも福島を捨てられない。	05いわき
1386	双葉町	双葉町は帰れない。帰したくない。	05いわき
1389	仮の町とは	仮の町とは何か、定義が無い。サテライト？帰れる場所の手前？	05いわき
1390	水源	水源がもう汚染されてる。双葉町には戻れないだろう。	05いわき
1393	いわき市	いわき市民になった方がいい。双葉町に期待できるものは何もない。	05いわき
1412	仮の町	いわき市の仮の町、白紙になっている。	05いわき
1419	仮の町	仮の町について、関係者との意思の疎通を急いでほしい。	05いわき
1423	仮の町とは	仮の町でしばらく辛抱するの。10年20年・・・今までの1年半はどうなるの。	05いわき
1430	仮の町	いつまでも反対では進まないが、仮の町に何年いるのかわからない。	05いわき
1435	仮の町	「いつ」を知りたい。	05いわき
1438	人が集まる町	人が集まる活気のある場所に仕事生まれ、また人が集まる。そのためには、住民を町民だけに限定してはならない。他の市町村からの流入が経済環境を向上させ、仕事を見つけやすくさせる。	05いわき
1440	土地	「仮の町」→「真の町」は、一カ所につくってほしい。	05いわき
1442	帰還	放射能の影響が心配で帰還する気にはなれない。	05いわき
1444	住む場所、土地	住む場所ですべてが決まる。（魅力、経済的メリット、特色、進学、就職）他地区の人が住みたいと思える場所でなければ、避難先で土地を探しても見つからない。住宅にできる土地は限られている。かといって双葉町には戻れない。結局は放浪のようになってしまう。行政、国が土地を解放すること→用途地域の束縛を改定 移転先の土地基盤を整備すること→住宅用地の供給	05いわき
1458	住宅	1人100坪の一戸建てがほしい。	05いわき
1462	安住の地	安住の地がほしい。先が見える場所を決めてほしい。	05いわき
1463	暮らし	家族揃って住みたい。	05いわき
1469	暮らし	行政区ごとに集まって住みたい。	05いわき
1508	住居	仮の町、住居は庭つき一戸建、家賃なし。私の家と同じにしてほしい。	06郡山
1526	分散型	分散型の町が望ましいだろう。一ヶ所は難しい。	06郡山
1528	場所の提供	畑や田んぼができるような場所を提供してほしい。それに必要な機械も貸してほしい。	06郡山
1530	楡葉町のゴミ処理場	楡葉のゴミ処理場を再稼働できるようにしてほしい。仮の町がいわきだとしても、ゴミ処置、瓦礫処理、追い付かない。楡葉町でサポート!!	06郡山
1533	福祉サービス	お年寄りの福祉サービスが充実した町が良い。	06郡山
1534	仮の町	山の幸を自由に楽しく採れるような安全な場所に仮の町があればいい。	06郡山
1535	遊ばせられる公園	子供を思いっきり遊ばせられる公園をつくってほしい。	06郡山
1545	産業	長く続く産業が必要だと思うが、最終的には分譲住宅だけになってしまうのでは。上を目指すものでないといけない。	06郡山
1552	暮らし	アパートよりもやっぱり一戸建てがいい。	06郡山
1553	まちづくり	一刻も早く災害住宅を建ててまちづくりをする。	06郡山
1554	暮らし	4LDKで1部屋8畳～10畳でないと荷物が入らない。	06郡山
1555	家	安定できる家をもつ。仮設では希望がない。	06郡山
1559	暮らし	老人に優しい住宅をつくるべき。	06郡山
1560	住まい	仮の町、復興公営住宅、住居はどのようになるのか（面積など）知りたい。	06郡山
1564	仮の町	仮の町は高齢者をどれだけ支援してくれるのか。	06郡山
1569	仮の町	仮の町の規模、仮の町の住まいの環境。	06郡山
1580	仮の町	仮の町、浜通りがよいのはわかるが、学校、医療施設は作れるのだろうか。	06郡山
1582	仮の町	仮の町では、どんなにもがいても「仮の町」。仮の町には希望がありません。	06郡山
1583	新たな町作りについて	郡山市の方が集中型と言っているが難しいのでは？分散型しかないだろう。	06郡山
1585	仮の町	第一の町（双葉町）第二の町（仮の町）を近くに作って自由に行き来できるようにするのがいいのでは。	06郡山

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1592	仮の町	仮の町に、教育、医療機関は必要だと思うが、子供たちは戻らないだろう。（福島県内）	06郡山
1596	新しい町	集団で町がつくれるのか、分散してしまうのか、どちらを考えているのか。	06郡山
1602	まちづくり	まちづくりは、分散型か、集合型かで考え方が変わってくる。	06郡山
1607	仮の町	仮の町の規模が知りたい。仮の町の住む環境を整えてほしい。	06郡山
1611	国有地の開発	浪江町商工会が、阿武隈山の国有林を開発すれば、誰にも迷惑かからず町ができると言っていた。双葉町だけでは住宅ができるだけ。	06郡山
1623	仕事の場所	近辺に工場など働く場、事務所等をつくってほしい。	06郡山
1625	生活に必要なもの	仕事や生活に必要な箱ものをつくってほしい。	06郡山
1629	施設	病院や商店をつくってほしい。	06郡山
1630	買い物	大型ショッピングモールを建てて欲しい	06郡山
1632	建築願い	銀行、病院等の施設を建てて欲しい。	06郡山
1633	住宅の提案	低層のコーポラティブハウスを建てて欲しい。	06郡山
1638	役場	仮役場の近くに住宅をつくってほしい。	06郡山
1639	家庭菜園	家庭菜園などができる庭がほしい。	06郡山
1641	仮の町	交通の便などを考えると、仮の町はいわき以外の方がよい。	06郡山
1642	コミュニティ施設	仮町役場と、みんなで集まるコミュニティスペースのある複合的施設がほしい。	06郡山
1658	娯楽施設	公衆浴場がほしい。	06郡山
1659	公園	多目的に使える公園を充実させて欲しい。	06郡山
1665	復興	双葉町は町の復興に対して行動が遅すぎると思う。仮の町について、生活、仕事など必要な施設を整備してほしい。そのための補助金は多くしてもらいたい。	06郡山
1685	自分の畑	自分の畑がほしい。	06郡山
1689	安定を見つけた人	もう既に他の地で安定を見つけれられた人は、もう戻りたくないと思う。	06郡山
1690	仕事	仮の町に行くとしても、今の職場を辞めて、将来の年金や退職金の問題が心配。	06郡山
1691	これから	元の双葉町の暮らしに戻れないなら、それぞれの生活を始めたい。	06郡山
1692	生活施設	学校、病院、福祉、商業施設等が元通りにならないと安心して生活できない。	06郡山
1700	食べ物の安心	食べ物が安心して食べられる環境が良い。	06郡山
1705	支援	生活のパッケージがほしい。（住居、仕事、福祉）	06郡山
1707	生活	身の振り方を決められない。どこに住むのかまだ決められない。	06郡山
1716	安心して帰れるのはいつか	事故前の放射能レベルにならないと子供たちを連れて帰れないので、安心して帰れるのは何十年後になるのかははっきりしてほしい。	06郡山
1725	仮の町のイメージ	仮の町のイメージが全くわからない。	06郡山
1748	WG「6号班」メンバーより	私達は双葉町へ帰るつもりはありません。	06郡山
1749	これからの暮らし	仮の町は必要ない。	06郡山
1751	これからの暮らし	双葉の町民は、各々の県や市に移り住み、市民権を取得する。	06郡山
1781	将来	仮の町をつくっても、どれくらいの人に戻れるかわからない。	06郡山
1783	生活	暮らしを安定させたい。早く仮の町、土地などを決めないと、若い人は離れてしまう。	06郡山
1786	暮らし	早く落ち着いた場所に孫たちと住みたい。	06郡山
1787	支援	仮の町に行くつもりはないので、他に居住しても同じ支援があるようにしてほしい。	06郡山
1794	支援	どこの町で生活を始めても、双葉町民としての支援をお願いしたい。	06郡山
1803	まちづくり	町長は仮の町は、一ヶ所と考えているようだが、受け入れてくれる所はないし、こだわる必要もない。	06郡山
1809	仮の町	仮の町をつくってもどれくらいの人が行くのか。	06郡山
1818	分散型の仮の町	分散型の仮の町でもいいのでは。	06郡山
1822	仮の町	他町では、国県主体で仮の町の話が進んでいる。住民主体は大変良いと思うが、時間や経費がかかりすぎるのではないか。	06郡山
1823	帰らない	残念だが、もう双葉町には帰らないと決めた。	06郡山
1825	仮の町	仮の町をつくっても、老人の町になるのでは？	06郡山
1826	仮の町	仮の町をつくって、どれくらいの人が行くのか。	06郡山
1838	つくば	狭い仮設住宅に住んでいる人もつくばに来たらいいと思う。	07つくば
1842	住まい	（つくば公務員住宅）建物は手入れすればきれいになる。以前は誘いづらかったが、今はもっと他の人を誘いたいと思う。	07つくば
1843	住宅	（つくば吾妻）6棟あって2棟で11世帯しか住んでいない。利用できれば利用した方がいい。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
1847	補償	補償がクリアできれば、住民票をつくばに移す。	07つくば
1851	つくばでの生活	何とかして、つくばに居させてほしい。	07つくば
1852	つくばでの生活	つくばから出ていきたくない。交通が便利で人々が親切。	07つくば
1853	つくばでの生活	つくばは居心地がいい。出ていく3年後が不安。	07つくば
1858	それぞれの生活	復興とか仮の町ということは無駄。もうそれぞれに生活が始まっている。	07つくば
1859	今の生活	つくばが気に入ってきている。	07つくば
1860	仮の町	今現在が仮の町になれば良い。	07つくば
1868	仮の町	高齢者が多いので、何十年先などと悠長なことを言ってほしくない。	07つくば
1869	仮の町	仮の町をいわきに希望しない。	07つくば
1872	仮の町	福島県に仮の町をつくっても、戻りたいという人は半分もいないのでは。	07つくば
1874	議員	「仮の町を福島県に」と言っている町会議員は福島に住んでいない。	07つくば
1879	仮の町	仮の町を福島県内につくっても戻ってくる人がどれだけいるのか。	07つくば
1880	仮の町	近い将来仮の町構想には悩ましいものがある。	07つくば
1891	生活のパッケージ	復興のためには住宅、職場、サービスのパッケージが必要。	07つくば
1897	安心	安らげる場所を確保してほしい。	07つくば
1912	仮の町	仮の町を一つにまとめるなんて不可能なのではないだろうか。	07つくば
1929	災害公営住宅	災害公営住宅は誰でも入れる状況だが、双葉が集まって住める運営を考えるべき。	07つくば
1930	いわき市移転	いわき市移転の時の住まいの問題。	07つくば
1933	県外避難者	賠償が進むと、県外に住む人は今いる所に住宅や住まいを求めるようになるだろう。	07つくば
1934	仮の町の定義	仮の町って?いつまでも落ち着けない。	07つくば
1935	人とのつながり	人とのつながりがあれば双葉町である必要はない。	07つくば
1936	公務員宿舎の利用	空き部屋の多い公務員宿舎を利用すると早く復興できるかもしれない。	07つくば
1939	仮の町の場合	つくばは環境としても良い。県内に空きスペースを求めても難しい。	07つくば
1942	長引く避難生活での課題	ずっとこの町（避難先）にいるのであればよい。人間関係を継続させるのがよいが、今の生活では諦めてしまう現状がある。	07つくば
1947	今後の町としての支援	公営住宅に住む人について、タイミング的に早い遅いがある場合、そこに差があってはいけない。	07つくば
1949	仮の町について	新たにつくるというのは難しいと思う。公務員宿舎の空きがあると聞く。借上げてもらい、全国避難町民が住めるようにしたらどうか。	07つくば
1951	帰還	広野町、全町帰還宣言出ても、10人しか戻っていない。双葉町は仮の町で終わってしまうのか。	07つくば
1952	選択肢	複数の選択肢を用意し、個人が選べるようにすること。	07つくば
1968	お年寄りしかいない町	子供がいる家庭は県外に、お年寄りには埼玉に多いと聞く。彼らは動けないので、仮の町はお年寄りしかいない町になってしまう。	07つくば
1971	今後の町としての支援	県外にいる人が取り残されるような政策になってはいけない。県内・県外に差があってはいけない。	07つくば
1973	「仮」の定義	双葉町は、他町と違い放射線の影響が大きいため「仮」という定義が違う。	07つくば
1975	仮の町の場合	人とのつながりがあれば、場所が双葉町でなくても良いとも思っている。	07つくば
1981	仮の町への疑問	仮の町はどれくらい期間をみているのか。	07つくば
1982	仮の町への疑問	仮の町とは、役場機能の利便性を考えてのものなのか。町は何人集まる見込みなのか。税収、インフラ、まちづくり・・・見えない。	07つくば
1984	仮の町の定義について	仮の町＝災害公営住宅なのか、疑問。	07つくば
2000	仮の町	仮の町といっても、1年8カ月も過ぎると引越しも大変。(高齢者)今住んでいる所で仮の町としてほしい。行政ももっと目を向けてほしい。	07つくば
2002	仮の町	コンパクトな町を大字区を基礎に複数つくる。	07つくば
2003	若い家族の現状	若い家族は子供の将来が心配。仕事、住む所・・・双葉町のことも大切だが、現状は厳しい。	07つくば
2004	帰還希望	もう一度双葉町でのんびりと暮らしたい。	07つくば
2005	仮の町に住むかどうか	仮の町をつくっても、そこに行って住めるかわからない。家族離散状態では無理だと思う。	07つくば
2006	仮の町	家族と一緒に住める仮の町づくり。	07つくば
2007	原発事故対策住宅	団地、マンションタイプを建てるなら、地下に放射能から避難する部屋をつくれればいいと思う。(スイスには実際にある)	07つくば
2008	つくば市	国家公務員住宅とリフォームする財源を国が保障してくれないと、つくば市ではなかなか人を受け入れることはできないだろう。	07つくば

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2009	年代による考えの違い	年寄りには双葉町に戻りたいと思っている。でも若い人は戻りたくないだろう。話がかみ合わなくてもやもやしてしまう。どうしたらいいかわからない。	07つくば
2013	仮の町の住まい	家の家賃はもう少し考えてほしい。	07つくば
2025	仮の町の場所	海のない埼玉がいい。津波が怖かったから。(子供もそう言っている)	07つくば
2034	帰還希望	双葉町に帰れることを前提に話し合いたい。	07つくば
2037	原子力安全対策	東京電力原子力発電所の安全対策をきちんとやってほしい。安心して住めない。	07つくば
2054	働く場所	仮の町をいわき市につくって、働く人の生活環境を確保できるのか。	07つくば
2055	これからの生活	子供たちは先が長いから帰らせたくない。	07つくば
2064	仮の町での生活	仮の町がいわき市にできて、移ることになっても、家が狭くなるのは困る。物を捨てなければいけない。	07つくば
2067	今の生活	畑つきの一戸建てがよいが、なかなかいい物件が少ない。	07つくば
2068	家族との暮らし	親、子供と一緒に暮らしたい。	07つくば
2069	住宅転用の提案	木造の仮設住宅を転用してみてもどうか。	07つくば
2071	仮の町	役場を移して町営住宅をつくっても、移らないのでは。	07つくば
2072	仮の町への移住	今落ち着いているのに、時間が経つと動かなくなるだろう。	07つくば
2074	住まいの確保	安い物件は、遠くにあり、病院も商店も近くなる、ボロボロである。私たちはどこに住んだらいいのか。	07つくば
2088	土地の代替	もし帰れないのなら、同じような土地を代替してもらうのがよい。	07つくば
2090	仮の町	双葉町、新双葉町には住んでもいいが、仮の町には住めない。	07つくば
2097	仮の町の情報	仮の町を早くつくって、情報を色々知りたい。	07つくば
2116	住宅供給	新しく町をつくるより、現在の公務員宿舎を改造(リノベーション)すれば、立派な住宅になる。	07つくば
2119	住環境	南相馬の2戸一棟くらいならよいが、マンションタイプは辛い。	07つくば
2122	新たな娯楽	新双葉町では、温泉を掘り当て、各家庭に配管して24時間入浴できるようにすれば最高!	07つくば
2134	お年寄りの住環境	新双葉町は、お年寄りが一緒に生活可能な住環境にしてほしい。	07つくば
2146	帰還希望者	双葉町の将来は非常に厳しく、隣の自治体と合併する選択肢もあり得るが、帰還者の把握が必要。	07つくば
2151	分散型	色々な場所でいくつもの復興まちづくりがあるべき。	07つくば
2152	まちづくり	つくば市並木で復興まちづくり。	07つくば
2153	官舎再生	官舎を再生して、町民による住宅づくり、町づくりを。	07つくば
2158	つくばのインフラ	つくばは学校、病院、公園が近くにあって良い。	07つくば
2159	つくばのインフラ	つくばは社会インフラが充実している。(学校、医療、公園など)	07つくば
2160	支援	つくば市内の大学の支援が充実している。	07つくば
2162	公務員住宅の利用	松代のような公務員住宅をリフォームして有効活用した方が良いでしょう。	07つくば
2163	住宅の供給方法	住宅整備する際に、単に人数に応じた機械的な仕様はやめてほしい。ニーズに応じた供給を。	07つくば
2164	仮の町の単位	皆一つは無理にしても、数十人など、ある程度まとまった単位で仮の町を整備してほしい。	07つくば
2165	町民がまとまる	町として、町民がまとまって生活できる場所、家を用意してほしい。	07つくば
2166	町民がまとまる	ある程度、町民が集まった形の仮の町がいい。	07つくば
2167	町民がまとまる	仮の町、場所にこだわりはない。双葉の町民がある程度まとまるのが大事。	07つくば
2168	災害公営住宅の家賃	災害公営住宅に家賃を取られるなら、移る人は少なくなるのではないかと。	07つくば
2169	災害公営住宅の家賃	災害公営住宅に家賃を取られることは、生きていく以上しょうがないのではないかと。	07つくば
2170	住宅	一戸建てがほしい。	07つくば
2171	町民がまとまる	警沢を望んでいるのではなく、町民が集まってちゃんとお互い生活できるような環境に住みたい。	07つくば
2172	ばらばらに生活	地方で仮の町に1カ所にまとまって住むのは難しい。それぞれの好きな場所に住むことになるのでは。	07つくば
2177	自然環境	これまでの自然に恵まれた双葉町に戻りたい。	07つくば
2178	気候	福島には戻りたいが、中通りはいや。理由は雪。	07つくば
2183	分散型仮の町	仮の町を福島県内につくることに反対しないが、つくばに「支店？」のように仮の町ができることを認めてほしい。	07つくば
2191	家の広さ	仏壇の置ける家に住みたい。	08全体
2192	住む場所	94歳の父が海のある所に帰りたいたいと言う。	08全体
2194	住む場所	皆と一緒にあればどこでもいいから、皆と一緒に住みたい。	08全体

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2195	やっぱり双葉に住みたい！	どこでも当面は住めるが、終着駅は双葉町がいい。	08全体
2196	真の復興とは？	復興はふるさとに帰ってこそ。仮の町は復興でない。	08全体
2198	せめてもの願い	帰る見込みはないが、せめて補償をしてほしい。	08全体
2199	見えない恐怖	放射能のない町に住みたい。	08全体
2202	早く仮の町を！	帰りたいけど帰れないので、仮の町であれば福島県内にこだわらない。	08全体
2204	公営住宅の活用	エレベーターをつければ、公営住宅を活用して暮らすことができる。	08全体
2207	公営住宅の仕様	公営住宅で、同じ住宅の中で若い世代と高齢者が共存できる仕様になっていけば、同居が可能になる。	08全体
2210	今後の双葉町	短期的であれば今の方が良いが、町へ帰れる見込みが30～40年先であれば、どこか一カ所に集まれる場所がほしい。	08全体
2211	引越しが大変	東京にいるが、仮につくばに仮の町ができても行かないだろう。これからまた引っ越すのは難しい。	08全体
2212	新しい町をつくる	30～40年先まで帰れないのなら、新しい町を探してつくっていくことも可能。小さい単位からスタート。	08全体
2213	避難先で継続して暮らす	双葉町に帰れる見込みがなければ、仮の町へ行くよりも、今の避難先にいた方がよい。	08全体
2214	今後住む場所	当面は現在いる所に住みたいが、20～30年先は分からない。	08全体
2215	字単位で集まる	字単位で集まれるような場所をつくってはどうか。	08全体
2216	引っ越しは大変	既に5回引っ越しているので、当面は今の避難場所にいたい。	08全体
2217	仮の町への移住	双葉町に帰れる見込みがあって、初めて仮の町に移り住むことを検討できる。（何度も引越してはできない）	08全体
2218	現在の暮らし	今住んでいる所に慣れてきたので、今後引っ越すことを躊躇している。	08全体
2219	戸建とアパートの違い	一戸建てで庭造りができるとよい。東京のアパート暮らしは辛い。	08全体
2221	近くに知人のいる暮らしを望む	近くに知人がいるので今はいいが、いなくなってしまった時が不安。	08全体
2222	現在の暮らし	妻は今の場所での暮らしに慣れて、動きたいと思わなくなっている。	08全体
2223	帰還を希望	40年経たなければ帰れない。どこにでも住めるが双葉町に帰りたい。	08全体
2224	暮らす場所	広野で仕事を復帰した。最終的には双葉町がいいが、当面はいわきがいい。	08全体
2225	住まい	自分の家があって別につくるのは納得しない。3年で今の家は期限が切れる。	08全体
2226	住まいの違い	双葉町では一軒家だったので、定年の年になって都内のアパート暮らしは辛い。	08全体
2228	継承のために	学校・文化継承を考えると、もっと多くの人数が集まるべき。	08全体
2230	高齢者の暮らし	一人暮らしの高齢者を助けたい。高齢者長屋のようなところがほしい。	08全体
2232	高齢者の住環境	住居＋デイサービスを併設した住環境が必要なのではないか。	08全体
2233	高齢者の住環境	借上げ住宅で高層階に住んだ高齢者が、民間の賃貸に移った。災害公営住宅でも、5階建てでもエレベーターをつけるべき。高齢者への配慮が必要。	08全体
2234	双葉町の文化継承	若い世代は、今は放射能が心配だが、高齢世代になったら双葉町に帰りたくなるかもしれない。その時のためにも、双葉町の文化は残すべき。	08全体
2235	住む場所	せめていわき市に住みたい。	08全体
2237	住みたい場所	福島でも年寄り若く若い世代が離れて暮らしている。とにかく放射能がない場所がいい。	08全体
2238	いわきへの移住	いわきはもう空きがなく、山でも切り崩さない限り移住は無理だろう。	08全体
2239	仮の町の規模	出だしは小さくてもいいが、双葉町に帰るまでには、1000～2000人が住める場所が必要。	08全体
2240	住みたい環境	駅と病院が近くにある場所に住みたい。	08全体
2245	役場のいわき移転	役場はいわきに移るが、住民は住めない。ばらばらのまちではどうなのか。	08全体
2249	仮の町について	仮の町をつくっても、果たして町が機能するかがよくわからない。	08全体
2254	現状の生活と新しい町	住む町をどう議論するのか。まだ先が見えるので、新しい町より現状のままがいい。	08全体
2259	復興とは	みんな帰りたい。復興とは自分の場所に帰ること。仮の町ではない。	08全体
2266	あいさつのできる環境	ご近所でお互い「おはよう」「おかえり」といえる環境に住みたい。	08全体
2267	災害公営住宅について	災害公営住宅は高層でなく低層の建物がいい。土の上で暮らしたい。	08全体
2268	仮の町の規模	例えば、いわき市などに1カ所の大きな仮の町をつくるのは難しいのでは。	08全体
2272	日本人らしい暮らし	日本人古来の、土と共にある生活がしたい。山古志村の住宅はとて面白いと思う。	08全体

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2275	住宅の性能	長期的な避難が必要な双葉町にとっては、仮設住宅は適切ではない。	08全体
2277	避難先のコミュニティ	避難先でコミュニティ(自治体)がいくつかに分れているが、これは現状の調和として必ずしも悪くない。	08全体
2285	つくばでの暮らし	つくばは住む環境がいいので、次のステップを考える余裕がある。	08全体
2293	集合住宅の良いところ	一軒家もとても良いが、集合住宅も声がかかりやすいという良いところがある。	08全体
2297	仮の町の場所	いわき市が「市内に大きな町をつくってくれるな」と言う気持ちはわかる。	08全体
2307	避難先の選択	放射能の少ない加須市に避難したことは正しかったと思う。	08全体
2308	地域との融合	つくばで働き、住み続けていくためには、地域との融合は必要である。	08全体
2313	公務員宿舎	国家公務員宿舎の払下げを希望する。	08全体
2314	真の町	子供、若者が住みたいと思われる町にしないといけない。無理を強いることはできない。	08全体
2317	民間分譲	昭和40年代社宅だったところを民間分譲しようと考えている所は首都圏にも他にある。	08全体
2318	温泉	新町双葉町には温泉を掘り当て24時間入浴可とする。	08全体
2320	関東	東京、神奈川、千葉付近につくばのような集まって住む場所が欲しい。	08全体
2323	学校	子供の学校(特に高校)の定着からそうそう移動はできない。	08全体
2325	継承	伝統・文化継承をする為、鎮守の森を造ってほしい。	08全体
2327	つくばの環境	つくばは良いところなので、ぜひ来てほしい。つくばに迷惑はかけずに。	08全体
2337	つくば	つくばはいいところ。ぜひ来て欲しい。ただし、迷惑はかけないという気持ちを忘れないで。	08全体
2345	仮の町を希望する具体的な場所	いわき市。働いていた会社がいわきに再開しているので、いわきに行けば仕事に復帰できるから。	東京G
2346	本当の町であれば	次の町が、本当の町で、場所が設定されれば、事業を再開したいと思っている。	東京G
2349	仮の町を作ることにについて	自立している(またはできる)若い世代は仮の町を作ってもそこには住まないと思う。また、そこに先祖の墓や家があるわけでもないのに、行ったりする理由もない。	東京G
2350	双葉町以外の場所に住む事について	住む上で必要なものが今現在あれば、また移動するのは面倒。	東京G
2351	仮か真か	仮の町ということであれば、その仮の期間(例えば5年)でも安心して過ごせる「家」がほしい。	東京G
2352	仮の町の場所	仮の町(役場移転の場所もそうだが)は、加須につくるべきではないのか?では、なぜここまで避難してきたのか?ということになる。	東京G
2354	復興公営住宅の仕組み	復興公営住宅は購入になるのか、賃貸になるのか、権利を持つということになるのか。	東京G
2355	新しい町とは	仮の仮設住宅ではなく「住みたい」と思える場所を町として整備すべき。	東京G
2356	ドイツ・ロスブルグ	ロスブルグは3000人の村なのに、温泉があり自然に囲まれたプチホテルがあり、世界中から人が集まる町。このような町にしたい。	東京G
2357	エネルギー自活	エネルギーの自活について、電気発電機を個人が持っているようなヨーロッパの町を参考に考えてもいいと思う。	東京G
2358	ドイツ・レヒ村	テレビでみたのだが、環境や景観を壊さずに町が作られており例えば地下にホテルがある。そんな観光の町ができればよい。	東京G
2360	仮の町へ	仮の町には、最初から行きたいと考えている。	東京G
2361	復興住宅	復興住宅をすばらしいものにし、小から大に町を作っていく。	東京G
2362	新しい町に必要な機能	新しい町には、ケアホームが必要。	東京G
2365	今度どうしたいか	なるべく早く、できるだけ町民みんなが福島県内に戻りたい。	東京G
2366	仮の町を作ることにについて	何も無いところに仮の町を作っても、仕事、商業、学校などの施設がない。何も無いところに部落的なものを作るのではなく、既存の同じ町の中で点在して住民が移り住んだ方が、仕事、商業も揃っていて生活しやすい。	東京G
2367	仮の町を作ることにについて	他の土地に仮の町を作る事は、周囲の現在いらっしゃる住民の方々に迷惑がかかる。	東京G
2368	仮の町を作ることにについて	お年寄りの仮の町は加須市でもよいのではないかと?	東京G
2369	双葉町に戻れないと思う理由	双葉町に戻りたいが、基本の水が汚染されている、30年は無理だ。	東京G
2370	双葉町に戻れないと思う理由	住むことは出来ても仕事場、食べるものがない、帰る事は困難、また病院通いなどを考えると田舎には帰れない。	東京G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2371	双葉町以外の場所に住む事について	双葉町の土地でなくても、顔の見える人が周りにいれば住める。	東京G
2372	双葉町以外で住んでもよい場所	役場がいわき市に移るが、公共交通で行けるので今の所より便利。	東京G
2374	仮の町を作ることに ついて	仮の町はお年寄りには必要だが、働ける世代は自立すべき。生活再建するための賠償を早急にしてもらう方が、仮の町を作る事よりも先決。	東京G
2413	仮の町の移転先	以前働いていた会社がいわき市にあり、戻れば受け入れてくれるのでいわき市がよい。	東京G
2414	職場、仕事について	まだ働けるので職がないのが困る。仮の町という移転先で、自分に適して自分でできる良い仕事があればいいが、もしそうでないなら元いた職場に戻って働ける方がいい。	東京G
2416	墓の移動	双葉町に戻る気はないし、他に移住するとしても墓の移動が問題。移住先が決まれば墓も移動したいので、長く住める方向で考えられる場所が良い。	東京G
2417	集まって住むことについて	近い所に知り合い（双葉町民）がいるというのはよいと思う。都会の人とはなかなか慣れるわけではないので。	東京G
2418	行政区単位に住む	今までの行政区単位で住めるようにするほうがよいと思う。	東京G
2419	仮設を出る	仮設ではなく集合住宅でよいので、早く住める場所に行きたいという声を多く聞く。	東京G
2420	仮の町に対して	仮の町に行くことはないだろうと、近い人（同じ行政区だった人達）は言っていた。（メリットは何か？）	東京G
2421	仮の町に対して	双葉町ではなく、よその町に住むのであれば、双葉町町民が集まって住むことは意味がないと感じる。	東京G
2422	住居の種類	一戸建ての方がいい。わざわざ集合住宅に移るなら、今住んでいるところにも住み慣れて来ているし、今のところから移る必要性を感じない。	東京G
2423	警戒区域解除になったら？	警戒区域が解除になったとしても、収束していない原発が（政府は収束宣言しているが実際はしていないと考えている）近くにある状態で、そこに戻る気はない。	東京G
2424	除染をしたら？	除染で放射線量自体が下がったとしても、まだ危険な状態の原発が近くにあることには変わりがないので、完全に廃炉になって安心できるまでは戻る気はない。	東京G
2425	仮の町の移転先	東京に移住して1年9ヶ月経ち、東京の生活に慣れて来た。もしも仮の町が茨城や福島にできるのであれば戻らない。仮の町が東京または東京近郊で一戸建てという条件なら、そこに住みたい。	東京G
2426	仮の町をつくばとした場合	つくばは利便性がよくない。交通手段、買物、娯楽施設等があり、理想的ではあるが生活していく上で不便を感じる気がする。	東京G
2427	原発からの距離	とにかく原発の近くはいやだ。仮の町を作るならとにかく原発からできるだけ離れているところがいい。最低でも福島原発から東京くらい離れている距離感がないと不安。	東京G
2428	現在の居住先からの移転	現在東京に移住している人は、東京ないし東京近郊に仮の町を作り、現在つくばに移住している人はつくばに仮の町を作ればいい。双葉町民全体でどこか1カ所にまとまろうとするのではなく、事故から1年9ヶ月経つ現在、すでに今のところに住み慣れてきてしまっている人が多いと思う。それなら、各エリア単位で考えていけば良い。	東京G
2429	多摩平、並木地区などのモデル地区をみて①	町の構想としては理想的ではあるが、そのエリア外へ行く場合の交通手段、交通網などの充実度が気になる。その町そのものは理想的であっても、町自体がぼつんと孤立した位置にあるのでは不便だし淋しい。	東京G
2430	多摩平、並木地区などのモデル地区をみて②	理想的ではあるが、小さなものでいいけれど、やはり一戸建てにこだわりたい。集合住宅がいやだ。	東京G
2431	双葉町に戻りたいか？①	当初は戻るかもしれないと思っていたが、事故後1年9ヶ月、状況が変わらない事と見通しが長い事、今もまだ危険だと言う事がわかってきた今となつては、もう戻る気はない。	東京G
2432	双葉町に戻りたいか？②	当初は戻りたいと思っていたが、一時帰宅を重ねるごとに廃墟のように変化していく町を見ていると、再生は不可能だと感じる。もう人の住めるところではないと実感するので、最近はおきらめがついた。	東京G
2433	双葉町に戻ることに	双葉町は線量が高く、戻るなんて考えられない。	東京G
2435	町、町長の考え	やはり町としての復興の考えを聞きたい。双葉町に戻つての復興なのか？仮の町はどうなるのか？	東京G
2437	双葉町に帰らない前提で考える	帰る前提でなく、補償をもらい、住む場所を選択できるようにして住みたいと思える場所に住めるようにしたらよいのではないかと。	さくらG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2439	10年かかるなら国が借上げ	10年かかるのであれば、国が借上げてほしい。	さくらG
2441	意思決定をする際に	仮の町、場所が決まったら皆は、場所を実際に見に行ってから判断すると思う。	さくらG
2442	まずは場所を決めてほしい	役場なんかはどこにあってもよい。仮の町がどこになるのか早く決めてほしい。	さくらG
2444	仮の町への懸念	仮の町といっても、年寄りだけの町になってしまうのでは？	さくらG
2449	別天地に移住	北海道伊達市の例など、双葉町だって昔は何人かが集まって来た町と聞く。別天地に移住する考えもあるだろう。	さくらG
2450	双葉郡として双葉市をつくる	双葉郡として「双葉市」をつくれればよい。山を崩して開発すれば除染もできるのではないか。	さくらG
2451	長期化した場合の懸念	病院や学校は作られるのだろうか。また、仮の町が何年後か長くなればなるほど、さらに戻らない人が増えると思う。	さくらG
2452	仮の町の定義	仮ではなく、終の棲家であってほしい。	さくらG
2453	どこが作るのか	仮の町はどこが作るのか？	さくらG
2454	災害公営住宅について	災害公営住宅の基本プランはあるのか？面積は？家賃について？	さくらG
2455	高齢者対応の建物仕様に	公営住宅にしても、仮の町にしても、行く人は60代以降の人しかいないだろう。だとしたら、スロープがついている等老人ホームのようなつくりの住居にしないとだめだと思う。	さくらG
2456	行政単位で住めればよい	行政単位で住みたい。今はバラバラなので。	さくらG
2457	仮設では初対面の方がかりだった	仮設では、初対面の人ばかりだった。同じ町に住んでいてもそんなものであり、行政単位で住む事には、あまりこだわらなくてもいいと思っている。	さくらG
2465	若い人達の意見	こういう会議に、若い人達や小中学生の子供達は集まりにくいのだろう。もしも、20年後に双葉町に戻ったとしたら、それまで住んでいた地の方が「地元」になってしまうのは当然。新しい場を開拓していった方がよい。	さくらG
2484	今後の双葉町について	昔双葉郡に移動して、双葉町ができた。皆で大移動して他で双葉町をつくれれば良い。	さくらG
2485	今後の双葉町について	川内村は受け入れてくれると言っている。双葉市にする。	さくらG
2492	仮の町について	仮の町について、行政ではどう考えているのか教えてほしい。	さくらG
2493	仮の町について	あの世で仮の町をつくれと言うのか。	さくらG
2494	仮の町について	仮の町は近い将来戻れる場所のことを言うべき。仮の町思想はあってはならない。	さくらG
2495	仮の町について	仮の町はつくっても仕方ない。無駄なことにお金をかけない方がいい。	さくらG
2527	仕事、就職について	これからどこに住んでよいか分からないから、仕事にもつけない。	日和田G
2528	仮の町を決める上での希望	町の方針が決まれば、仕事も腰を据えて探せる。	日和田G
2530	仮の町を決める上での希望	仮の町はどこがよいかは、賠償の内容で決めたいが、賠償の内容が決まらなると土地や家を求めることはできない。（計画できない）	日和田G
2532	仮の町を決める上での希望	双葉町の持ち家は、荒れ果ててもう住める状態ではないので、福島県内の仮の町について方針を示してほしい。	日和田G
2537	仮の町を決める上での希望	郡山市に今住んでいる町民は郡山市に住みたい（寒いけど）。	日和田G
2538	仮の町を決める上での希望	会津はちょっと無理。気候が厳しい。（雪、寒さ）	日和田G
2539	現在の生活について	日和田仮設は結露の問題が酷い。天井から水滴が落ちてくる。業者に尋ねると「郡山は当たり前」と言われる。双葉町の気候のよさが分かった。	日和田G
2547	仮の町を決める上での希望	コミュニティの再生は復興住宅が遅れれば遅れるほど困難になる。	日和田G
2548	現在の生活について	仮の町の場所を決めて貰わないと、将来の計画ができない。	日和田G
2549	賠償	とにかく、何よりも賠償問題の解決が先。それが決まらなると住まいも考えられないし、仕事も見つけれない。	日和田G
2551	仮の町を決める上での希望	双葉町が仮の町（場所、仕事の場など）の整備方針を具体的に示したら、そちらに移住したい。	日和田G
2552	仮の町を決める上での希望	双葉町が好きだったから、仮の町を作ってくれたらそちらに住みたい。町の人たちにも会いたい。	日和田G
2553	仮の町を決める上での希望	仮の町は「いわき市」、「郡山市」に作ってほしい。	日和田G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2554	仮の町を決める上での希望	復興住宅は戸建てにしてほしい。小さな畑をつけてほしい。以前の生活環境を保障してほしい。	日和田G
2555	仮の町を決める上での希望	郡山市に公営住宅をつくってほしい。	日和田G
2556	仮の町を決める上での希望	今（郡山市）住んでいるから、新たな町に行くのは大変。	日和田G
2557	仮の町を決める上での希望	復興住宅はコミュニティ（双葉町なら双葉町、大熊町なら大熊町など）毎に作ってほしい。	日和田G
2558	仮の町を決める上での希望	できれば、浜通りには住みたくない。大きな地震が発生したら原発4号機が心配。	日和田G
2559	仮の町を決める上での希望	いわき市には住みたくない。原発や東海村があるから怖い。郡山市は避難ルートが多い。	日和田G
2560	仮の町を決める上での希望	復興住宅は郡山市にも建設し、双葉町の町民である程度まとまって住みたい。	日和田G
2561	仮の町を決める上での希望	郡山市に復興住宅をつくるにも、希望をちゃんととって希望戸数は準備してほしい。	日和田G
2562	仮の町を決める上での希望	郡山市にある程度1年以上住んでいるので（郡山に住んでいる）700人に希望をとって、希望者の戸数準備してほしい。（集合住宅ではなく戸建て（双葉町に住んでいた頃と同じ条件）にしてほしい）	日和田G
2563	仮の町を決める上での希望	身よりの無い人もいるので集合住宅も必要。復興住宅の建設には町民の意見を一件一件聴いてから建設してほしい。	日和田G
2564	仮の町を決める上での希望	復興住宅は20年住めるしっかりしたものにしてほしい。中途半端な品質の住宅をつくるくらいならその予算がもったいないので予算を町民に分配してほしい。	日和田G
2565	仮の町を決める上での希望	現在郡山市にいる双葉町町民は高齢者が多いので、郡山市の場合は復興住宅が団地では、とてもじゃないけど住めない。	日和田G
2566	仮の町を決める上での希望	高齢者の復興住宅は集合型の戸建がよいと思う。あとは戸建のものと併せて、一つの地区で高齢者を支えながら暮らすようなものを作ってほしい。	日和田G
2567	仮の町を決める上での希望	集中型の復興住宅は、後々お化け屋敷（空室が多い）のようにならないように考えなければならない。	日和田G
2570	仮の町を決める上での希望	「仮の町をどこにしてほしい」と言われれば郡山市がよい。	日和田G
2573	仮の町を決める上での希望	高齢化が著しいので復興住宅の中にグループホームが必要。	日和田G
2587	仮の町を決める上での希望	具体的な国の補償を明確に決めてほしい。（それを踏まえてから自分で決められる）	日和田G
2594	復興住宅	復興住宅をつくる時にも、ワークショップをやって町民が参加しながら考えていくのが良いと思う。他の町でやっているのをテレビで見て、とてもよいと思った。	日和田G
2606	現在の生活について	仮設住宅（城前）はとにかく狭くて気分的にも辛く、住居という感覚ではない。今の心境は「いつまで仮設住宅を我慢できるか」。今までは50坪の家2つに600坪位の畑があった。	会津若松G
2609	仮の町を決めるうえでの希望	もし家を一軒建てられる補償がでるのなら、浜通りに住みたい。	会津若松G
2610	仮の町を決めるうえでの希望	「仮の町」を〇〇（地域）にしますといわれれば、浜通りや中通りなど何カ所かあると思うので、そのどちらかに移動するつもり。	会津若松G
2611	仮の町を決めるうえでの希望	仮の町をどうするかではなく、どの地域の仮の町がよいか「選ぶ権利」がほしい。	会津若松G
2612	仮の町を決めるうえでの希望	仮設住宅での生活はいよいよ限界なので、仮の町の場所を早く決めてほしい。	会津若松G
2613	中間貯蔵施設について	中間貯蔵施設が双葉町にできるとすれば、双葉町での生活は困難だと思う。であれば「仮の町はココとココとココ！」と複数箇所決めて早く取り掛かってほしい。	会津若松G
2614	仮の町を決めるうえでの希望	双葉町町民の元の生活環境（戸建や集合など）を調査して、その条件に類似したものを丁寧に準備してほしい。皆そんなに器用ではないから生活様式が変わると困惑する。（仮設で痛感した）	会津若松G
2615	仮の町を決めるうえでの希望	仮の町を早く決めてほしい。待っている人が大勢いるので、いつまでも決まらなるとみんなバラバラになってしまう。仮の町に移住しても、双葉町の人が少ないのはさみしい。	会津若松G
2616	仮の町を決めるうえでの希望	孫が2人おり、娘は双葉町には帰らないといっている。別々になってしまうのは嫌なので娘次第になる。	会津若松G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2619	仮の町を決めるうえでの希望	会津はやっぱり雪がひどいから、高齢者世代はみんな「住みたくない」といっている。しかし娘など若い世代には「こどもの教育環境がよい」と人気である。	会津若松G
2622	仮の町を決めるうえでの希望	原発が収束していない（4号機の燃料棒など）のに浜通りへの移動に不安がある。風向きによっていわき市も危険である。	会津若松G
2623	仮の町を決めるうえでの希望	使用済み核燃料が山積している（第2原発も含む）。あれだけの地震を受けて全くダメージが無いはずがないので、浜通りは危ないと思う。	会津若松G
2625	双葉町への帰還について	帰るのに20年以上かかるのであれば「仮の町」ではなく「移住の町」である。帰れないならばはっきりいってほしい。	会津若松G
2627	仮の町を決めるうえでの希望	仮の町にこだわらず、空いてる地域にドンドン復興住宅を作ってから学校とか公共施設の整備を考えたほうがよいのではないか。	会津若松G
2628	仮の町を決めるうえでの希望	理想は、仮の町で双葉町の人たちとある程度集まって住みたい。	会津若松G
2629	仮の町を決めるうえでの希望	仮の町にしても、高齢者だけが戻ったのでは町としての機能はないので、若者の雇用の場なども一緒に考えて決めないといけないと思う。	会津若松G
2630	仮の町を決めるうえでの希望	1年以上たって、孫も新しい学校でやっと友達ができたので、もう移動したくない。	会津若松G
2649	仮の町を決めるうえでの希望	皆の顔が違うように希望も皆違うので、仮の町を作り、補償を決めてもらい、町民が選択するようにしてほしい。	会津若松G
2651	生活再建するうえでの要望	将来については、自分たちの選択肢を入れる条件を設定してもらわないと決められない。仮の町に行くのか、個人で決めた生活再建の場に行くのかを決めるために、国や県や町が早く決めてほしい。	会津若松G
2654	仮の町を決めるうえでの希望	再建に向けての町民の希望（集合住宅、戸建、立地場所など）はさまざまなので、それぞれの希望条件毎に再建の準備を進めてほしい。	会津若松G
2656	仮の町、集まって住むことについて	国がある土地を買い上げて、整備してほしい。いくつかエリアのパターンがあればそれぞれが選択するだろう。完全に（双葉町が）1つでなくてもよいと思う。	会津若松G
2663	仕事・就職について	娘も仕事を探しているが未だ見つからないようだ。就職先が見つかったら、ここから移動するのもまた大変。	北幹線G
2664	仮の町を作るうえでの希望	復興住宅に住むとしたら、福島市は寒いので、もう少し暖かいところがいい。	北幹線G
2668	仮の町	いわきに土地を購入したが、建てるのに1年待ちという話を聞いた。そのような状態でいわきに仮の町は無理だろう。	北幹線G
2671	住まいの再建	すでに、自分たちで借金をして、土地と家を購入して新しい生活を始めている。自分は、震災の翌日には、もう帰れないと自己判断していた。老後のためにと貯めてきたお金があったので、何とか自分たちで再建できた。そういう人も中にはいるけれど、そういう人ばかりではないので、みんなが救われる方法を考えてほしい。	北幹線G
2686	仮の町ではなく移住の希望	最低でも10年は帰れない（長期）ということは、「仮の町」という話ではなく「移住」だ。	北幹線G
2692	7000人の復興会議について	7000人の復興会議といっても「10年帰れない」では何も決めようがない。だから復興会議ではなく、福島県内のどこかに町営住宅や一戸建てをつくること、社協や学校などをつくることを進めるべきだ。	北幹線G
2706	仮の町を作るうえでの希望	双葉町が一番良いが、現在福島市にいたので、できれば福島市に居たい。また新しく友人をつくるのも大変なので、またバラバラになるのは嫌だ。	北幹線G
2715	双葉町への帰還について	一時帰宅で自宅に行ったが、ネズミの糞がひどいし、障子はボロボロ、家の傷みがひどくて帰りたいとは思わない。	北幹線G
2717	東電の補償について	息子たちが長野県や宮城県で新しい生活をしている。一緒に暮らしたいので、補償をもらえれば息子のところに行く。現在も息子たちには「一緒に住もう」と言われるが、経済的に負担がかかることが気にかかっている。	北幹線G
2718	東電の補償について	賠償問題が決着しなければ、次の生活を始められないので早く決めてほしい。うちは線量が高くて40マイクロシーベルトもあるので帰れない。	北幹線G
2719	双葉町への帰還について	うちの線量は20マイクロシーベルト、お墓のあたりは40マイクロシーベルト位あるので、帰って住むことは考えていない。	北幹線G
2720	双葉町への帰還について	地震では壁が落ちたが、すぐに直せないから家はどンドン傷んで住めなくなる。牛が物置をあけて漬物を全部食べていた。糞もある。もう帰って住もうとは思わない。	北幹線G
2722	双葉町への帰還について	うちの畑は、黄色い花が咲く草が生い茂って、畑も使い物にならない。	北幹線G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2723	東電の補償について	東電の補償が決まったら、息子が生活している近くで暮らすつもりだ。	北幹線G
2724	双葉町への帰還について	帰ってみたいって生活できないのだから、新しい場所での生活を想像している。双葉町に帰りたいが現実的に無理なのだから。	北幹線G
2729	双葉町への帰還について	一時帰宅で家を見たがすごかった。地震が起きた時のままなので、もう足の踏み場もない。	北幹線G
2730	賠償手続き	賠償の申請を弁護士に依頼しているのだが、まだ、もらえていない。（月10万円も）途中で弁護士からは、何も連絡がこなくなり、こちらからお願いをして、月に一度は電話で進捗を報告して欲しいとお願いをして、ようやく電話がくるようになった。自分では何も分からないので弁護士にお願いしているのに、何も解決できないのでは困る。引っ越しをしたくてもお金が必要なので、早く手続きを進めてほしい。	北幹線G
2736	仕事・就職について	家から通える仕事があればいい。役場、農協、病院、お店があって、、、。やっぱり双葉にいたときのようなのがいい。	南台G
2742	仮の町を作るうえでの希望	現在、南台仮設に暮らしている人の中には、便利は悪くてもここから動きたくないという人もいる。ずっとここで良いという人もいる。	南台G
2744	仮の町を作るうえでの希望	仮の町の場所について、今まで何回も転々としてここ（南台仮設）に来たので、できることならもうこの地域（いわき）から動きたくはない。	南台G
2745	仮の町を作るうえでの希望	復興住宅に住む場合、いわき市はいわき市でもここ（南台仮設周辺）では、不便で住みにくい。子どもを育てる場合などは、さらに大変なので若者の生活は難しい。	南台G
2746	仮の町を作るうえでの希望	復興住宅に住むとして、希望をきいてくれるのなら、いわき市か広野町に住みたい。	南台G
2749	復興住宅	今の仮設の場所に、今のまま復興住宅だけができては不便である。	南台G
2753	福祉	双葉町は力を入れていたと思う。前と同じように、デイサービスやショートステイ、老人ホームもあって、それでも家で皆とられるお年寄りが一番しあわせかも。	南台G
2766	双葉町への意見	仮の町は、帰れることが前提なのだから、帰れないのならば新しい町の構築を考えなくてはならないのに、町長が国と話をしなければ何も進まない。	南台G
2770	仮の町	仮の町は戻れることが、前提だと思います。120年～150年戻れないのであれば、仮の町は無意味だと思うので。仮ではない町そのものをつくってもらえないでしょうか。	南台G
2771	中間貯蔵施設と仮の町	大野と双葉の地名をそのままに、中間貯蔵施設を受け入れて、その代わりに、（新しく作る）町の場所を国に買い取ってもらって、そこに（新しい）町をつくれればよいと思います。	南台G
2772	仮の町	（新しい町は）県内がいい組と県外がいい組と二カ所の双葉町をつくってもらって、姉妹都市として交流するのはどうでしょうか。	南台G
2773	双葉町の再建について	双葉町の復興には、働ける場所（企業）が必要だと思う。男性社員が多い企業ではなく、女性型の企業が必要だと思う。男性は多少遠隔地でも働くので、企業に男性従業員が多い町は人口が増えない。	さくらG
2774	介護と暮らし	福島市では、特別養護老人ホームの空きが少ない。自分（60代）は他に頼る家族がないので、母親（90代）の介護を1人で面倒見ている。自分の住まいにできるだけ近くの施設に入れないと、通えない。ようやく自分で探して、〇〇の仮設住宅に引っ越しをしたのも最近だが、もう3カ月もすれば施設を退去しなければならない。次の場所を探したくても、母親の面倒を見ながらなので、探すのはとても大変。どこを頼りにしていいかわからない。ケアマネージャーがいないので相談できない。まだ、自分が元気なので良いが、何度も転居するのは90歳の母親にとっては負担が大きい。早く、落ち着いて介護できる生活が送れるように町にお願いしたい。	さくらG
2775	福祉施設が必要	仮の町ができたら、老人ホームのような施設がないとダメ。	さくらG
2780	双葉町への帰還について	双葉町は、現在も20マイクロシーベルトもあるのだから、子どもや若い人（親の世代）はとて住める環境には戻せないと思う。	さくらG
2782	双葉町への帰還について	例えば双葉町に帰るとして、帰らない人もいるので、廃墟になる家もある。そんな廃墟になった家の隣りに自分の家があったとしたら自分も住むのは嫌だ。	さくらG
2783	双葉町への帰還について	墓の管理をしていたお寺もどこに行ってしまったかわからないので、今後、親戚が他界したらどうするか。早く今後の生活拠点を決め、お墓も移さなくてはならない。「双葉町」は第2の故郷になると思う。	さくらG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2784	今後の双葉町町民の課題	役場機能はいわき市植田にもってくる。3月の年度末までには埼玉県から役場職員が全員移動してくるが、職員の家はないし、単身赴任になるしかない。福島県へ戻るのが遅れたから、職員も町民も条件は悪くなってしまう。	さくらG
2785	仮の町の場所や条件について	大熊町などでは、復興住宅を会津若松など複数に決めている。避難している町民が定着して「ここでいいよ」となっているようだが、双葉町町民のだいたいは同じような意見になるのではないかと。	さくらG
2786	双葉町への帰還について	もともとどの持ち家はもう住めない。傷みが激しく、イノシシが入り込んでいるし、泥棒も入っている。直して住むことは困難だ。	さくらG
2787	双葉町役場移転後どうするか	いわき市勿来に役場機能が移動してきても、ここ福島市に住もうと考えている。いわき市に（役場の近くに）住みたいが、土地は高騰しているし繁華街は遠いし、生活する環境はよくない。	さくらG
2788	双葉町役場移転後どうするか	いわき市勿来に役場機能が移動し、私が福島市に住んでも、今は住民票なども郵送でとれるし、普段役場に行くこともそれほど多くないので、大きな不便はない。	さくらG
2790	現在の生活改善についての要望	仮設住宅は押入れがない、収納スペースが少ない、狭くて不便が尽きないので、早く次のところ（仮の町など）に行きたい。場所はどこでもいいから、早く仮設住宅を出たい。	さくらG
2791	仮の町の場所や条件について	現在は周囲の人がみんな知らない人ばかりなので、仮の町をつくるなら、双葉町の人がある程度まとまって住めるようにしてほしい。	さくらG
2794	暮らし	多少不便であっても、家族が集まって住むことができ、車が4台おけて、あたりまえの生活を早く取り戻したい。	さくらG
2804	双葉郡の町村による復興について	富岡町町長が、双葉郡が各町村いがみ合っているのではなく合併して、そのうえで意見を集約して復興を目指すしかないのではないかと？と語っていたが、その通りだと思う。	さくらG
2805	双葉郡の町村による復興について	双葉郡が全部集まったとして7万～8万人の人口で、その辺の市よりも小さいのだから、合併は不可能ではないと思う。	さくらG
2832	子供の学校	子どもや若者は「学校に慣れた」とか「仕事」の事情で、早くしないと現在の場所に定着してしまうと思う。	南台G
2833	仮の町について	ニチバンの社長（近隣の土地を所有している）は、双葉町のためになるのなら借りてもらってもいいと言っている。であれば重要かつ緊急に対応すべきは、まず学校をつくることだ。	南台G
2835	双葉町への帰還について	加須で大学教授が言っていたが、1マイクロシーベルトまで下がるのに160年かかるそうだ。だから双葉町に帰ることは難しいと思う。	南台G
2836	仮の町について	双葉町にはもう住めないと思う。だから別の場所に双葉町をつくるのが（大変だけど）一番早いと思う。だから複数箇所双葉町をつくるのがよい。	南台G
2837	仮の町について	双葉町は壊されたのだから、弁償してもらわなければならない。だから新しい双葉町をつくるための予算を国に出してもらわなければならない。	南台G
2838	双葉町役場移転について	なんで双葉町庁舎を植田につくるのか。ここ（いわき南台仮設）に200世帯以上あるのに、いずれここから引越す場合、高齢者が一番困るので、ここに集団で生活できる住宅と庁舎と学校をつくるのが最も良いと思う。	南台G
2839	暮らし・住まいについて	補償金をもらって生活再建するにも、双葉町町民が好きだからみんなで一緒に住みたい。だから早く公営住宅なり集合住宅なりをつくるなど、計画をまとめてほしい。	南台G
2840	双葉町役場移転について	ここ（南台）は、半分位のスペースが空いているので、役場の職員さんの仮設もつくれると思う。そしてこの一角に学校などもつくれば良いと思う。	南台G
2841	双葉町役場移転について	南台周辺への仮の町構想は、いわき市が反対している。以前ここを整地する町づくり計画があったことに加え、復興住宅をつくっても、果たして入居するかもわからないのに容認するわけにはいかないと思う。	南台G
2842	仮の町について	南台への仮の町構想は、国や県にも協力してもらい、せめて現在借りている一角だけでも復興住宅や学校の建設ができると思う。	南台G
2843	双葉町への帰還について	一時帰宅したとき、自宅はネズミの糞だらけだった。あそこに住むのはもう無理だ。でも朽ち果てていくのは悔しいので、土地、建物は手放したくない。帰りたいけど帰れない（住めない）のが実態。	南台G
2844	仮の町について	賠償・補償の問題と安心して住める住まいの確保は別。補償とは別に、まず先に、双葉町町民がまとまって暮らせる公営住宅や団地などをつくるべき。	南台G
2845	仮の町について	皆さん、まとまって住みたいと思っているので、それに向かって行動していただきたい。	南台G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2846	仮の町について	まとまって住みたいということは、例えば借上げ住宅ではなくて、いわき市とか〇〇市ではなくて、新天地に双葉町をつくってほしい。規模などについては双葉町のほうから先に提案を出してほしい。	南台G
2847	仮の町について	ただ家を一軒つくるのではなく、町の機能そのものがないとだめなので、双葉町をどこかにつくってほしい。「こういう町なら私はいきます」というアンケートでもとって取り掛かってほしい。できれば仕事もそこで生まれるような町ができればいいと思う。	南台G
2848	仮の町について	仮設ではなく、核となる復興住宅があり、その周辺に一軒家があり、町機能があるものを早くつくってほしい。	南台G
2849	復興の進め方への意見	双葉町は「帰れる」としても「住める」わけではないと思う。第2の故郷をつくって早く生活を始めないと、どんどん年をとってしまう。それぞれの項目別のアンケートをやってどんどん進めてほしい。	南台G
2868	今後の復興の進め方についての意見	インターネットで確認すると、例えばつくば市に居る人は「すごく広くて、住民も情があって、住みやすいよ、皆さんどうですか？」ということがある。別な土地の人は「ここはいいよ」と言っている。皆子どもの学校や仕事の問題もあるのでバラバラになる。早くやらないと仮の町はできなくなる。仮の町が実現しなくなるので早くやってほしい。	南台G
2869	今後の復興の進め方についての意見	仮の町も決まらない、コミュニティの場所もない、なんたかわからないうちに今の避難先に溶け込んで、なんとなくそのまま住んでいる、とならないように早くやらないといけないと思う。	南台G
2871	今後の復興の進め方についての意見	早く仮の町をつくるのであれば、全国に点在する町民が相互に意見を出し合える雰囲気や早く整えて、個々のバラバラな意見を言い合う環境を整えるべき。どうしていくかについて、若い人の中にリーダーシップをとって双葉町のことを引っ張っていく人もでてくるのではないかな。	南台G
2873	国や県との対応についての意見	一時帰宅するたびに家が傷んでいるし、避難する際、灯油満タンにしてあったことが心配。私もパトロールで行ったが人が足りないので、双葉郡全体でやるとか県の支援を貰うとか、国にはこれ、県にはこれという風に、支援内容を取り決めていくべきと思う。（補償はその後でもいいから）家がどんどん傷んでいっては帰る希望も失せてしまう。	南台G
2880	仕事について	息子は今仙台で仕事見つけたようだが、いずれ家族皆で暮らすため、いわき市に家を建てようと計画しているので、仕事も曖昧な状況で今働いている。	南相馬G
2888	ふるさと双葉町について	自分は浜通りに家があったので、津波で家族も失ったが、家もお墓もすべてを失った。 帰りたいという町民は、帰る家があるのに帰れないから。帰るところがない私にとっては、双葉町に帰りたいとは思わないし、「双葉町」という場所についてまでもこだわっていても仕方がないと思う。双葉町はなくても良いと思っている。その上で、原発の後処理のために国に買ってもらえばいい。 双葉町に帰ることはあきらめた方がよい。	南相馬G
2895	双葉町への帰還について	仮の町というのは「仮」だから、やがて双葉町に帰るということだが、帰れないと思うので、町民がある程度まとまって暮らせる新しい双葉町をつくるべきだと思う。	南相馬G
2897	補償についての要望	「帰りたい」という人は、20年～30年がんばって生きてもらい、高齢者は現実帰るのは難しいので、復興住宅で暮らすとか家を建てるとか個々の希望で再建する。そのためにも早く補償を決めてもらいたい。	南相馬G
2898	復興への取組みについて	いわき市に復興住宅の建設計画が出ているようだが、2年先では待ってられないので、自分で土地を買って家を建てるとつもりだ。そして津波でなくなった家内に早く仏壇をつくってあげたい。	南相馬G
2899	双葉町への帰還について	双葉町の自宅は地震の被害はほとんどないが、ネズミの被害がひどい。〇〇年後に帰るとしても生活を始めることは難しい。今すぐ戻れるならまだしも〇〇年後なんて想像できない。	南相馬G
2921	今後の生活再建に関する希望	娘や息子の仕事の関係もあり、離ればなれになるのは抵抗がある。それに買い物なども便利なので白河に住みたい。	郭内G
2922	今後の生活再建に関する希望	現在、仕事をしている息子たちのことを踏まえて生活再建を考えているので、白河に住みたい。	郭内G
2923	今後の生活再建に関する希望	私も息子が白河で仕事をしていて近くに居るので（同居ではない）、この地域での生活再建を考えたい。	郭内G
2924	今後の生活再建に関する希望	仕事のある場所に拠点をもって家族が集まるのは自然なことだし、世帯ごとで希望は別々だと思う。現在はまだ具体的に決められない。	郭内G
2926	仮の町の場所について	病院に通院している人で、通院が大変など、個人個人で細々した状況があるので、柔軟に対応してほしい。	郭内G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
2927	次の生活の拠点について	次の生活場所をどこにするか？と聞かれば、いわき市（浜通り）がいい。	郭内G
2928	仮設住宅生活から次の生活をする際に住みたい場所について	今までの気候（双葉町）に慣れているので、いわき市に空きがあればいわき市に移りたい。	郭内G
2932	次の生活の拠点について	役場機能がいわきに来て、私が白河からいわき市に移ることに問題はない。周囲の町民も同じ意見の人が多と思う。	郭内G
2934	生活再建について	補償について、個々の条件を満たすのは困難なのであれば、お金よりもむしろ普通の生活ができる復興の町をつくり、家などを提供してほしい。	郭内G
2935	役場機能移転後の自身の生活の場を考えた場合について	現在いわき市で住みたいと思っているが、役場機能がもし町はずれの生活に不便な場所であれば、役場の近くには住みたくない。	郭内G
2936	これからの生活を考えた場合の希望について	役場が植田に来て、復興住宅がどこかにできても、学校ができても、それは全てその時の自分の財産などを勘案した上での選択肢の一つだ。	郭内G
2944	生活の拠点を県外に求める場合の支援の希望	現在、子どもの学校の関係があるので、3年間はここ（白河）に居ようと思うが、3年以上ここ（白河）に居るわけではないので、移動する場合しかたなく県外へ出ることも想定される。災害救助法により、県外への移動の補助は認められなくなる点を寛容に対応してほしい。	郭内G
2945	仮の町の場所について	身軽な人とそうでない人がいるので「仮の町」が一カ所だけになった場合、引っ越せない人もいると思う。現在の（各市町村の避難者）状況を良く考えてほしい。	郭内G
2946	仮の町の場所について	役場に2時間も3時間もかけて行くことも想定されるので、自分たちの住む近くに支所や出張所があれば嬉しい。なので、現在の町民の避難状況がある程度考慮してほしい。	郭内G
2947	今後の生活再建に関する希望	現在も白河市の住民の人たちに大変お世話になっているので、私は白河での生活再建を考えたい。	郭内G
2948	今後の生活再建に関する希望	福島市に息子がいるので仮設住宅を出て、福島市に行こうかと考えている。	郭内G
2949	仮の町の場所が決まったら近隣で生活するか？について	仮の町の場所を根拠にというよりは、親戚や家族の生活の場がどこにあるのかによるところが大きい。	郭内G
2950	復興住宅を建てる場合の希望	復興住宅を建てるならば、一戸建て（元の条件と同じ）に住みたい。	郭内G
2951	仮の町の場所について	この先県内に住むとは限らないので、県外にも（仮の町を）作ってほしい。このような細かい対応ができないのであれば、仮の町をつくる予算を町民の生活再建のために振り分けてもらい、自分で住みたい場所に住めるようにしてほしい。	郭内G
2977	双葉町に対する要望	基盤となる住宅がないのに「仕事」は決められないので、補償の確定を急いでほしい。	郭内G
3000	これからの生活場所について	主人は双葉町の会社に勤めていたが、「3.11」により職場が被災した。会社が転勤の対応をしてくれて、白河市に生活している。主人の仕事があるので、白河市を離れようとは思わない。	白河婦人会H
3001	これからの生活場所について	主人が白河市で仕事が見つかった（元の会社の関連会社）ので、白河市で暮らしていきたい。	白河婦人会H
3002	これからの生活場所について	主人の仕事の関係で白河市に来た。定年まで白河市にいて、両親が生前住んでいた家が福島市にあるので、そこに住むことを検討している。	白河婦人会H
3003	これからの生活場所について	避難生活中に母が病気になり、地元（白河市）の人たちに良くしてもらっているの、白河市で今後も生活しようと考えている。	白河婦人会H
3004	これからの生活場所の希望	子どもが早々に家を出てしまったが、両親は白河市に居るし、福島県を離れたくない。希望する地域はまだ想定していないが、安心して年を取りたいので、医療がしっかりしているところに住みたい。	白河婦人会H
3005	これからの生活場所の希望	震災にあった人たちが安心して余生を送れるところ（病院・社会福祉など）を判断基準にしたい。	白河婦人会H
3012	双葉町の子どもたちの対策について	双葉町には現在学校がないので、町民のコミュニティをある程度の規模にすべきだと思う。そのコミュニティの中で、学校やその他インフラを整備してほしい。	白河婦人会H
3013	これからの生活場所の希望	10カ所目の避難先が白河だったが、住めば都で「白河」がいい。	白河婦人会H
3014	これからの生活場所の希望	娘夫婦が白河にいたので、「白河市」がよい。	白河婦人会H

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3015	これからの生活場所の希望	白河市は、買物などが便利。でも両親がいわき市にいたので、白河市かいわき市がいいと思う。いわき市とはいっても外れの地域は希望しない。	白河婦人会H
3016	これからの生活場所について	いわき市を探しても土地が見つからなかったし、弟がもっている土地（南相馬市）に家を建てることにしたが、大工さんが多忙で着工が遅れている。南相馬市に住もうと思う。	白河婦人会H
3017	これからの生活場所の希望	双葉町に数年以内に帰れるなら、双葉町の近隣の地域を希望するが、長期間双葉町に帰れないのなら、中通りに家を求めて生活したい。	白河婦人会H
3018	これからの生活場所の希望	双葉町に戻れたとしても、子どもたちは戻らないと思う。なので、子どもたちが帰って来られる中通りに家を求めたい。	白河婦人会H
3019	これからの生活場所について	双葉町に愛着はあるが、なにがなんでも双葉町！とは思わない。私も子どもがいるので、盆と正月に子どもが帰ってこれる場所に暮らそうと思う。新幹線の通っている場所が現実的なので、双葉町町民が皆で住むことに参入しようとは思わない。	白河婦人会H
3020	これからの生活場所について	中通りは生活に便利だが、冬の寒さが厳しいことに少し不満がある。いわき市なども考えているが、希望をまだ決められない。	白河婦人会H
3021	これからの生活場所について	最近、いわき市の地価が高騰していることを考えると、白河がいいかなと考え中。	白河婦人会H
3022	これからの生活場所の希望	子どもが孫を連れて帰って来られる場所に住むことを考えている。医療機関や生活の利便性を考慮しているが、現在どの地域に定住しようかはまだ希望地を決めていない。除雪の不要な地域を想定中。	白河婦人会H
3023	これからの生活場所の希望	私も子どもがいるので、気軽に帰って来られる場所に住もうと考えている。	白河婦人会H
3024	高齢者福祉施設の建設	避難者は、これからますます高齢化が進むが、国民年金生活者も多いので、いくつかの地域に福祉施設を考えてほしい。福島市、郡山市、白河市など主要都市への建設を考えてほしい。	白河婦人会H
3029	住む場所と仕事の確保	仕事の面接で一番最初に聞かれるのは、「もし帰れるようになったらこの仕事どうするか。」腰掛けだと働けないので、住む場所を決めてから仕事をみつけない。	埼玉G
3033	小単位でも集まって住む	土地に関して、何軒かでも近くに住めれば、お互いに助け合うことも出来るし、子供の代になっても繋がってられる。全員一緒になくても、知り合い何軒かで集まれば、全く知らない土地でも多少でも心強いと思う。	埼玉G
3034	希望する仮の町の場所	高齢者が病院に行くために、公共交通機関が充実した都市に近い所が望ましい。	埼玉G
3036	分散型の町	浪江町や大熊町のように、双葉町も分散型になる傾向にあると思う。一カ所に集めるのは不可能だと思う。	埼玉G
3037	役場機能の移転	いわきに役場が移っても、自分は行く気はない。年齢のこともあり、ここで仕事を探すのも一苦労なのに、いわきで探すことを考えると難しい。	埼玉G
3038	まとまって住む	自分たちの生活にメリットがなければ、行く人はいないだろう。放射能がない土地、分散じゃなく双葉町でまとまって住みたい。	埼玉G
3039	帰還を希望する人もいる	自分は、もう放射能があるところに行く必要はないと思っている。でもどうしても帰りたい人もいる。今まで一緒にいた双葉町の人間として、そう思っている人のためにも役に立ちたいという思いがある。	埼玉G
3040	仮の町の場所	帰りたい気持ちは皆一緒だから、双葉町が近いところに町らしい町が出来たならば、行こうと思うかもしれない。	埼玉G
3041	仮の町の場所	いわきは双葉町の気候に似ているけれど、生活のちょっとしたことでここは双葉町じゃないと思ったら、その精神的ショックは大きいと思う。だったら最初から割り切って別の場所に住む方が回復は早いと思う。	埼玉G
3042	若い家族が希望する場所	若い人は福島には帰らないと思う。自分も子供は絶対に連れて行かない。	埼玉G
3043	放射能の影響がない場所	福島に住むことは考えられない。年中身の回りに放射性物質がある生活はできない。	埼玉G
3046	計画の期間	現状はそれぞれ土地を見つけたら、子供の学校の方が大事。7000人といっても、まとめるのは不可能に近いと思う。実際何年かかる計画なのか。	埼玉G
3047	仮の町の実現性	お金がないからここにいる。そういう状況で仮の町に希望を言って、実現してもらえるのか。	埼玉G
3053	帰還の可能性	双葉町に帰れないとはっきり分かれば、仮の町に行く人が多くなると思う。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3055	仮の町ができる時期	仮の町ができるまで、ずっとこうしていいのか。仮の町とは、最終的に双葉町がなくなるということではないのか。そうになったらどれだけの人が行くのか。行きたいと思っても、3年後、5年後では帰れない人が出てくると思う。	埼玉G
3059	仮の町の方向性	仮の町の場所を早く示さないと、遅くなればなる程若い人は自立していく。小学校、病院、幼稚園をつくると言っても、人が集まらなければ意味がない。早めにある程度の方向性を示してほしい。	埼玉G
3064	終の棲家を希望	双葉町の家は難しいと思うが、出来ることなら、避難所ではなくて自分の家で最期を迎えたいと思っている。国や行政はどのように考えているのか。何も進んでいないように見える。	埼玉G
3070	仮の町への移住	全員帰るとなればついて行くが、今の土地に慣れてきた所でいわきに行くよりは、このままの方がいい。	埼玉G
3073	高齢者の生活	年配者で一人の方は、医者も何でも揃っている騎西高校にいるのが一番安心。	埼玉G
3078	仮の町への希望	今娘の所にて、元気なうちは手伝いができるが、できなくなったり何かあったときに迷惑をかけられない。町で高齢者の介護つきの住宅をつくってくれれば、そこに入りたい。	埼玉G
3079	仮の町への希望	今は便利な所に住んでいるので、自分で買い物や暇つぶしができる。元気なうちはそれでいいと思っているが、今後双葉町として、高齢者の生活に配慮した仮の町ができるのであれば、町民として戻りたい気持ちはある。	埼玉G
3080	新地での生活の不安	もしいわきで一人で暮らすことを考えると、福島だといっても全然知らない場所なので、抵抗がある。今までは慣れた土地に何十年も住んでいたのに、一人になっても声かけてくれる人がいて、老人もそれらしく暮らせてきたのだと思う。	埼玉G
3081	仮の町への移住	仮の町ができても行かない。	埼玉G
3082	仮の町の環境	仮の町がいわき市だけでなく、分散型で、郡山市や福島市になると冬の寒さが厳しいので、暖かい所がいい。	埼玉G
3090	これからの生活場所	今の避難先の方は、とても優しく挨拶をしてくれ、今のところ楽しい。でも、どうしても双葉町から離れたくない気持ちがあり、いわきに行くことを考えてしまう。	埼玉G
3094	高齢者の自立	仮の町より先に、お年寄りが自立して生活できる場所が必要だと思う。	埼玉G
3097	これからの生活場所	仮の町が福島にできたら帰りたい。息子の家族は郡山に借上げ住宅を借りて、息子はいわきの会社の寮から原発に通っている。なので、帰るまでいかにして健康を保つか考えている。元気で帰りたいと思っているし、こういうことは気持ちようでも明るくないと明るくならないと思っている。	埼玉G
3098	これからの生活場所	もし埼玉県内で、ある程度集まって住める土地があれば、残って住みたいと思う。	埼玉G
3099	これからの生活場所	商売ができるのであれば、日本中どこでもいい。	埼玉G
3100	つくばの住環境	つくばは、一人暮らしの人はマンションになるらしく、そこに入ろうと誘われたことがある。家族2、3人で住むには本当に良いらしい。	埼玉G
3101	仮の町について	多くの方が、今避難している地域に留まるだろう。もし仮の町が4年後にできるとしても、待ってられないのではないかと。年寄りなら待つ人もいるだろうが、50代くらい若かったら待たないと思う。	埼玉G
3103	これからの生活場所	つくばに誘われた。就職のことを考え、つくばなら国になんとかしてもらえたんじゃないかという期待もあった。	埼玉G
3111	仮の町に住む条件として	住居、住むところがあれば、仮の町が出来たら行く。住むところが最初で、仕事は後から。	埼玉G
3114	仮の町に住む条件として	仮の町はまだ町として計画は出てないが、土地が決まらなければまず仮の町もないだろう。まず自分の行きたいところかどうか。行きたいところではなくては行かない。	埼玉G
3118	仮の町が成り立つ条件として	やっぱり若い人は帰らないでしょう。結局、おじいさんおばあさんが戻っても都会に子供がいたら行ってしまふ。20年もすれば誰もいなくなってしまう。	埼玉G
3121	仮の町の場所	町がどこかに復興するとして、各町村が合併する可能性も高いけど、原発自体が今の段階で大丈夫なのか。ただ水を入れて冷やすだけではダメだと思う。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3125	仮の町に住む条件として	福島県内にできたとしたら、娘には行きませんと言われるだろう。放射能があるところには行かない。	埼玉G
3126	仮の町に住む条件として	若い世代は仕事があって住宅があるので、住宅を先に決めるより仕事を決めるだろう。土地の問題より、どこでこういう仕事をしてということで住む所を決めると思う。今更仮の町に住みたいという若い世代はいないと思う。	埼玉G
3128	仮の町が成り立つ条件として	これから先はどうするのか、集中型か分散型か、町長さんか課長さんに、話を聞いて欲しいなと思う。それなりのことはしてくれるのが国じゃないかなと思う。	埼玉G
3130	移住の権利	自分の好きなところに行ってもいいと選択する権利はほしいが、ただある程度生活の保障は国にしてもらいたい。	埼玉G
3131	移住の権利	選択肢があり、そこで仕事などの支援があれば、若い人は早めに行き先を見つけられるのでは。そういう支援が必要かどうか、見えない部分もあるが。	埼玉G
3139	放射能の影響への不安	子供の親になれば住めないと思う。影響が出るのも何年か経ってからと聞く。	埼玉G
3140	放射能の影響への不安	5年後というが、それも定かではない。それまで5年間、不安に過ごすことがストレスになる。福島市で子どもとストレスを抱えて過ごすよりは、他に行った方がいい。	埼玉G
3141	放射能の影響への不安	福島、郡山みんな線量が高い。除染をしているけど、子供がかわいそうだと思う。早く除染して、中間処理場を持って行くべきかなと思う。いつまでやっていてもまとまらないし。まとまらなかったら、あの福島の子ども達はどうするのか。	埼玉G
3164	仮の町を進めるのは国	仮の町のことも、本当であれば国で動いてもらいたい。東京電力さん＝国のですから。	埼玉G
3165	仮の町を進めるのは国	本当だったら国が動くべき。国は分散型だって言っているのか？	埼玉G
3166	仮の町を進めるのは国	双葉町を持って行くとしたら、国に土地を用意してほしい。井戸川町長さんが集中型と言っているのなら、集中型の土地を用意するのが国。国が何もやらないから（町長は）いらだっている。土地が決まれば集中型かいろんな構想も練れるだろう。	埼玉G
3167	仮の町への一人一人の考え方の収集方法について	土地についても、町民の意見を聞いてからだと、7000人がどうこういったら何も決まらないだろう。	埼玉G
3168	仮の町への一人一人の考え方の収集方法について	仮の町を考えるのなら、個人的には合併が一番理想だと思う。皆さん個人的にいわきに土地を買ったという方もいる。今度、仮の町ができれば戻るか戻らないかアンケートをとるといつたのはいつなのか。早くみんなの意見を聞いてほしい。	埼玉G
3170	仮の町への一人一人の考え方の収集方法について	買った人ではなく、仮の町に戻らなくてはならない人がどこに戻るのかということ。戻りたいという人が何人いるか、まずアンケートをとって、それからこういうところ、ああいうところって聞いた方がいいのでは。気候がよくて双葉町と同じようなところに住みたいかと聞けば、自ずと縮小してくるだろう。まずは聞くこと。双葉町に戻るか、戻らないか。戻るとしたら気候が暖かいとか、海のそばとか。	埼玉G
3175	役場と住む場所を合わせて作ることについて	植田に行くのだから、住む所もつくるということもある。	埼玉G
3177	役場と住む場所を合わせて作ることについて	団地をつくれれば、行くのではないか。	埼玉G
3178	役場と住む場所を合わせて作ることについて	避難先で生活が成り立っていれば戻らないだろう。	埼玉G
3180	役場と住む場所を合わせて作ることについて	いわきに役場があればそこに行くと、若い人はなかなか思わないと思う。そもそも役場が動くから一緒に動く選択がない。役場が転々とするから困るっていうのが何も困ることはない。役場が移動するからつられて移動するっていうのもなんだかおかしい話。結局、しがらみというか、しばられて動けない方、年配の方の問題ではないか。	埼玉G
3181	役場と住む場所を合わせて作ることについて	これらいわきは、廃炉作業のために他県から来ている労働者がいるので、少し治安が悪くなるだろう。	埼玉G
3196	仮の町が成り立つ条件として	病院や学校が全部あっても、成り立つかどうかは不安。双葉町も7000人といっても、他の町村、隣町に病院があったりした。	埼玉G
3207	除染・仮の町	国に見てもらわなければならないと思う。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3221	まちづくり	若い世代のコミュニティをどうつくるかが大事。若者が主体となって魅力的なまちづくりを考えることから、持続可能で高齢者の支えにもなるまちへつながる。	埼玉G
3225	つくばの環境	つくばに行ったことがある。とても良い気候で、皆畑を持って花や野菜を育てている、良い生活環境だと思った。	埼玉G
3226	つくばの環境	ビニールハウスでの花の栽培は、双葉町より寒いいわき市では経費がかかるが、つくば市なら暖かいので良いのではないか。	埼玉G
3236	福島には戻らない	うちの家族の場合は、弟夫婦も同じ路線に住んでいるし、母は運転もできず、買い物に行くにも一人では難しいため、福島に帰ってもメリットがないと思っている。しかし、母は帰りたいたいという気持ちを持っている。	埼玉G
3237	仮の町について	しっかり除染されて、自分の元の町、土地まで帰れるだろうなと思うことがわずかな希望。双葉町の近くに、仮の町ができれば、双葉町に通うことも出来るかなと思っている。少しでも（双葉町の）近くに住めるのであればそれでいい。	埼玉G
3240	仮の町について	私自身は将来は双葉に帰って家を建てて住み、地域の文化等を地域の子供に伝えていきたいって考えていたので、家を買わずにいた。もし仮の町をつくるのであれば、同じ集落の人たちが一緒にまとまっていなければ意味がないと思っている。小さいときから、地域の人たちが見守ってくれて、育ってきて、小さいときからお祭りやイベントに参加して、それがばらばらになってしまって、私は悲しくて悔しい。	埼玉G
3255	双葉町の場所	双葉町は1つに固まっていたい。例えばいわき市とか。ここで商売が成り立つなら埼玉も良い。	埼玉G
3256	ある程度集まって住む	仮の町の分散はやむを得ないと思うが、ある程度の人数のまとまりがほしい。	埼玉G
3258	希望する町	2~3万人位の人口の小さい町で、平凡に暮らしたい。	埼玉G
3260	安定した暮らしのため	土地が必要。じっくり構えなくてはと思っている。74歳(家内73歳)	埼玉G
3262	これからの生活場所	加須は加須でだいぶ慣れたので、この近くで皆と仲良く暮らしたい。	埼玉G
3265	家の広さ	前の家はたくさんあった。それを望めないとしても、4部屋くらいはほしい。	埼玉G
3270	埼玉に住み続けたい	自分は埼玉に住みたい。孫が小さいので、もう自分の家のようになった。	埼玉G
3271	家族一緒に暮らせる家	農家だったので、広い家で12部屋あった。今は家族ばらばらなので、一緒に集まれる家がほしい。	埼玉G
3274	町長の判断は正しかった	福島に残っている人たちは、安全とは言い切れない。この埼玉に来て安心している。町長の選択は正しかったと思う。	埼玉G
3318	福島へ戻ることへの疑問	役場機能がいわき(県内)に戻ることに対しては、確実に安全な場所というのなら良いが、なぜ、わざわざ放射線が高い県内に戻すのか疑問。(集まって住みたいと思うかどうか)	埼玉G
3319	仮の町の場所	役場も仮の町も埼玉の騎西にできるならそこに住み続けたい。埼玉は海も山もないので安全だと思う。いわきではまた大きな地震がきたら危ない。わざわざ危険な場所に帰る必要はない。	埼玉G
3320	いわきでの生活の不安	いわきの農産物だって、安全とか言われても全ての農産物を検査してるわけではないだろうし、安全かどうか分からないから、いわきに戻っても食も水も心配。	埼玉G
3322	安全な加須を選択	今、旧騎西高校にいますが、次に住む所をいろいろ探していた。結局県内では自分で確実に安全だと思える場所を見つけることが出来なかったで、諦めて安全な加須にすることにした。	埼玉G
3324	介護の問題	旧騎西高校には60才以上の人がほとんどだが、そういう人にとっては介護などの問題が一番心配。自分が1人では生活できなくなったとき、東京にいる子どもたちは、一緒に住めばいいと言ってくれても、やっぱり迷惑はかけたくない。自分たちも親の介護をしてきたから、その大変さがわかっているのではなおさら。そういうときに、やはり頼るのは役場になる。役場と一緒に福祉施設が整うのなら県内に戻ることを考える。(でも、安全な場所。年寄りだって放射線のことは心配なのに変わりない)後は、少しでも家族が近くにあるいは一緒に生活できるようになることが望ましい。	埼玉G

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3342	これからの生活への希望	できれば、双葉町の人と集まって住めたら良いと思っている。	埼玉G
3343	これからの生活への希望	埼玉で畑と家を持って暮らし続けられたらいいなと思っている。	埼玉G
3352	映画の感想	映画を見て、自分は福島に戻ることに賛成できなかった。	埼玉G
3383	つくばの公務員宿舎	つくばの公務員宿舎には、住める環境があるのに何故アピールしないのか。この環境を知ったら、つくばに来たいと思う人はもっとたくさんいると思う。	つくばG
3385	つくばを仮の町に希望	今の町（つくば）を仮の町にしたい。	つくばG
3387	住宅供給について	あるものを活用する。新しいものをつくるのではなく。現実を考えたらそれも一つの方法。	つくばG
3388	住宅供給について	仮設住宅を作るのにお金を使うなら、つくばの公務員住宅をリニューアルしたほうがいいのか？と思った。	つくばG
3393	復興交付金の使い道	復興交付金の使い道として、集まったお金で家を！	つくばG
3395	つくばを仮の町に希望	つくばを仮の町へ（双葉郡内の方々の！）	つくばG
3396	住まいの希望	吉沼の中古住宅がよかった。	つくばG
3400	住宅供給について	今から新しい物を作るのはエコじゃない。	つくばG
3402	つくばを仮の町に希望	今の町を仮の町でいいと思う。	つくばG
3403	公務員宿舎の活用	公務員住宅にもっと受け入れるといい。	つくばG
3404	住宅供給について	つくばで、公務員宿舎を活用してリノベーションにより住まいを整備したいという声が大きくなれば行政にも届く。	つくばG
3405	つくばを仮の町に希望	つくばの公務員宿舎を直して住めばよい。	つくばG
3407	住宅供給について	公務員宿舎をリニューアルすればよくなる。十分に生活できる環境である。	つくばG
3409	仮の町の場所について	（みんなでまとめた意見） 時間軸に沿って「今の町」「仮の町」「ふるさとの町」と、3つの町の名前を考えた。 意見を出し合い、今日の参加者の希望が“「今の町」を「仮の町」としたい”と1つにまとめた。 つくば市には、公務員住宅等で多数の空き家があるので、一定割合の町民が希望していることを町長に強く訴え、実現性を早急に検討してもらいたい。実現性が高まれば、希望者は増える。	つくばG
3410	住宅供給について	（みんなでまとめた意見） 必要戸数の空き家をリノベーションにより「質の良い賃貸住宅」として蘇らせる。（賃料負担無し） 町民は家を買うことはせずに「質の良い賃貸住宅」で安定した暮らしを営み、長期戦で「ふるさとの町」への帰還を待つ。	つくばG
3411	コミュニティ形成について	（みんなでまとめた意見） 空き家の公務員住宅のリノベーションが実現すれば、双葉町ばかりでなく、浪江町など「双葉郡」の他の町の人も含めたコミュニティができると思う。	つくばG
3412	住宅供給について	（みんなでまとめた意見） 質の悪い改修を避けて、リノベーションにより上質の住宅とする。将来、一斉に「ふるさとの町」に帰還したとしても、つくば市民の方などに歓迎される上質の住宅や周辺環境を残してゆく。	つくばG
3416	公務員宿舎の活用	仮設住宅をつくるのではなく、つくばの公務員宿舎に原発被災者の人を受け入れたほうがいいと思う。	つくばG
3422	帰町について	ずるずるせずに、何年は帰れませんと決定してもらえれば、変に双葉町に執着しない。着の身着のまま家から離れてきちんとお別れできていないから。未練が残るのかも。	つくばG
3423	定住確定→仕事再開	まずはつくばへの定住が決まるのが前提になり、その後のステップとしてできるのは、こういうように暮らしを改善するために何かができるか話合うことだと思う。	つくばG
3428	つくばへの定住を希望	帰る所がないので、つくばに居させてほしい。つくばに居られる確約がほしい。 確約があれば、より良い生活環境を考えたり、庭を作ったり色々なことをしようと思える。でも、その確約なしに、目の前の生活以上のことは考えられない。もし、出て行けと言われてたら、私たちは出て行くしかない。	つくばG
3430	仮の町の場所について	もし、仮の町が福島県内にできて、そこに行けと言われても行くつもりはない。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3431	つくばへの定住を希望	つくばに居られると確約してもらえれば、今ある古い住宅を再利用したり、自分たちで手入れし直して住みたいということは考える。	つくばG
3432	つくばへの定住を希望	今日の話し合いでも1つ「ここ（つくば）に住みつづけたい」という共通の意見でまとまっていることが確認できた。	つくばG
3433	つくばへの定住を希望	全ての意見に賛同していなくても、共通意見を持った人やグループがいれば、1つの目的でまとまっている。	つくばG
3434	つくばへの定住を希望	つくばに住む双葉町民の意見としてまとめることができる。	つくばG
3436	早急な定住確定を希望	つくばに住み続けられる確約があれば、私たちはここで復興する、この思いでまとまることができている。	つくばG
3440	仮の町について	つくば並木でも避難している人は若い人はほとんどいなくて、高齢者ばかりなのが現状。	つくばG
3447	リノベーションに賛成	今すぐ定住が決まればやる気にもなれるが、3～5年後になってしまえば、自分たちはもう動けないと思う。	つくばG
3448	つくばの暮らしについて	仮の町をつくっても、全国に避難者がいる状況で移住する人はどれだけいるのか。	つくばG
3449	リノベーションに賛成	つくばに住み続けられるのであれば、古い住宅（今の公務員宿舎など）を直して暮らすことや、お年寄りが住みやすいように直すことにも賛成。	つくばG
3450	リノベーションに賛成	つくばは、地区ごとにきちんと「まち」ができていて、しっかりした病院や学校があり安心して生活できる。商業施設もあって便利だと思った。	つくばG
3451	若者と一緒の生活を希望	リノベーションというものについて、初めて学んだが、古い住宅を利用して住むことは、主婦のもったいない感覚からも自然なことで納得できた。	つくばG
3452	コミュニケーションのある住環境を希望	リノベーションという考えには賛成、つくばにはたくさんの公務員宿舎の空き家があるので、新しいものを建てるより、むしろ、古いものを直して暮らしたい。	つくばG
3453	「持ち家」と「賃貸」について	若い人は年輩者には思いつかないような発想や行動ができるから、若い人と接することができる暮らしがしたいと思う。	つくばG
3454	つくばの住環境を活用	一緒にいるとエネルギーが得られるし、子供たちの自然な発言が参考になると感じる。	つくばG
3455	他地域の避難者への配慮	リノベーションについての先進事例を見て、貸し農園のようなものを作って、その区域の人ばかりでなく、近隣の人を受け入れたり、レストランが誰でも入れるようになっていたりすること、コミュニケーションのとれる住環境があることはとても良いと感じた。古い家を直して住むこともいいと思った。	つくばG
3456	「持ち家」と「賃貸」について	「持ち家」なのか「賃貸住宅」なのかで判断が異なってくると思う。	つくばG
3457	つくばの住環境を活用	双葉町では、部屋数の多い戸建住宅で暮らしていたために、集合住宅には抵抗感がある。部屋数の不足や音の対策など、満足できないのではないかと感じる部分もあった。	つくばG
3458	戸建住宅への思い	自分の場合は賃貸住宅に住むということは一生無いと思う。	つくばG
3459	高齢者に配慮した住環境を希望	つくばの住環境はとてもいいと思うから、双葉町民以外でも被災者のなかで住まいに困っている人に提供するのは良いと思う。	つくばG
		双葉町以外の避難者のことも考えるべきだと思う。	つくばG
		現状、双葉郡の町村の人達が混ざっているの、日常的に会話をするのもあるので、同じ思いを持つ人同士、コミュニティを作っていればよいのではないかとと思う。	つくばG
		この話合いに集まっている人達の考えが、つくばに住むことについて一致しているとしても、「持ち家」か「賃貸」かは、両方の判断があるとと思う。	つくばG
		今ある古い住宅を再利用するのはよいと思う。	つくばG
		被災者が入る予定で、改修が行われたところもあるが、再び閉鎖されている。	つくばG
		つくばに住み続けたいと思っているが、今より大きい戸建住宅に住んで家族に残したい。	つくばG
		でも、つくばの持ち家は5000万円くらいするので、贅沢かもしれないと悩ましく考えている。	つくばG
		賃貸にも賃貸の良さがあると考えているので、否定はしない。	つくばG
		団地リノベーションの先進事例を見て、団地内に若者と高齢者が自然と一緒に集まれる食堂のような共有スペースがあるのは良いなと思った。	つくばG
		車を運転できない高齢者が病院にいたりするための、巡回バスもあればいいなと思う。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	会議会場
3460	今後の生活場所について	福島に戻りたい人は別の気持ちもあると思うが、自分は子供のことがあるので戻るつもりはない。	つくばG
3461	つくばの環境について	つくばで暮らして約1年程経つが、暖かくて福島の浜通りのような気候で住みやすい。	つくばG
3462	つくばの環境について	初めてつくばに来たとき、つくばエクスプレスの窓から見える田んぼや畑の風景を見て、双葉町に似ているなどホッとした。関東平野に山が見えるのも、双葉町の景色に似ていて、つくばに来て良かったと感じた。	つくばG
3463	つくばの環境について	会津に避難したお年寄りも、寒さや雪かきが大変で気の毒。ヘルニアになった人もいると聞く。「双葉町に帰れないなら諦めがつくけど、それも言ってもらえないから…」と言っていた。そのような人も、安心してつくばのような暖かい気候のところに来られればいいと思う。	つくばG
3469	空家に介護・医療施設を設置	福祉施設ができれば、今まで福祉施設で働いていた職員もいるので、そういう人たちの働く場所としてもよいと思う。	つくばG
3472	つくばへの定住を希望	しばらく帰れないと考えているので、やっぱりつくばに安心して住めるように（住み続けられるように）になりたい。	つくばG
3474	つくばへの定住を希望	つくばに住み続けたい。さらに、もしそうなっても高速道路無料化はつづけてほしい。	つくばG
3475	つくば定住に向けた行動	ここつくばに住みたいという要望を出していくべき。まちは、住宅や仕事、病院、学校が揃っていないと成り立たない。ここならそれを心配する必要がない。線量が高いので、双葉町には100年、200年帰れないと思っているので、移住するしかないと思う。	つくばG
3476	つくばでの生活への迷い	自転車で行ける場所に何でもある、つくばのようないい環境は他にはないと思う。ただ、そこに甘えてはいけないと思う。今まで持ち家だった人が、軒先を借りるような状況でいいのかと感じる。	つくばG
3479	現在の生活での不安	初めて話し合いに参加してみたので、これまでの話し合いの経緯はわからないけれど、つくばに住みたいと思っても、本当に自分たちが言って実現できるのか不安だし、そうなるとは思えない。	つくばG
3481	団地住まいは希望しない	高齢者が多いので、あまり長い期間は待ってられないのと、今まで双葉町で一戸建てに住んでいて、今も一戸建ての公務員住宅に住んでいる。団地住まいは望んでいない人が多い。	つくばG
3482	公務員宿舎に住み続けたい	今の住まいに継続して住み続けたいということが、第一の希望。今の住まいをリノベーションして、ここでコミュニティをつくって暮らしたい。	つくばG
3483	公務員宿舎の改修を希望	復興財源を有効に使ってほしい。ここは広くていいが、結露や断熱がよくないから、そこを改修するのに使ってほしい。	つくばG
3484	戸建と集合の選択肢を	公務員住宅の中で、戸建てと集合と選択肢をつくる考えもあるとすれば、今住めない状態の住宅がある土地を、団地タイプの集合住宅に建て替えて使えばいいと思う。	つくばG
3485	空家に介護・医療施設を設置	高齢者が多いので、空いてる家を活用して、介護施設や簡単な医療を受けられるような施設をつくってもらえるととても助かる。自分で遠くまで出ていくのも大変だし、個別訪問してもらうより効率がいい。皆で集まれる場所ができるのも嬉しい。	つくばG
3487	並木での計画	並木での計画を進める場合、希望に応じて幅はあるが、並木の中での戸建は上限を考えたほうがいいのかもかもしれない。	つくばG
3488	戸建と集合の比較	戸建てに上限を設けたとした場合、集合住宅を設けることも考えなければならぬが、その場合、戸建てと集合を比較してアパートタイプ（集合）はお得なのか？	つくばG
3489	コーポラティブハウスについて	先生の話で紹介があった、コーポラティブハウスについて、市販のアパートと価格差は？	つくばG
3490	公務員宿舎の耐用年数について	並木の住宅（公務員宿舎）を有効活用する場合、現状の耐用年数はどうか？	つくばG
3491	公務員宿舎の耐用年数について	鉄筋だから大丈夫なのでは。	つくばG
3492	払い下げについて	並木の戸建は払い下げしてもらえるのか？3丁目を全部買えば、お得でいいのではないのか。	つくばG
3502	仮の町でなく永住を希望	仮の町でなく永住できる所を計画してほしい。	つくばG

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイノート
1	7000人の復興会議について	7000人の復興会議、町民の皆様個々のご意見を聞かせていただき、非常に良いことと思う。双葉町を離れてこれまで一度もなかったことであり、是非対話会に私も参加していきたい。 私自身、将来は双葉の地に戻りたいと思うが、今すぐ放射能に汚染された双葉町に戻りたいとは考えていない。一定期間経過後放射能を除去し、それからが良いと考える。それまでの間、どうするか。やはり仮の町は、放射線を感じることをなくのびのび暮らせる所がよいと考える。いろいろ放射線量について言われているが、年間1ミリシーベルトは厳守。町民がまとまって住める場所、町としての機能があるコンパクトシティ、町人口から考えるとできれば1ヶ所と考えるが、2ヶ所もやむを得ないと考える。ただ、町としての機能はそれぞれに持ちたい。 子供達がのびのび学べる教育施設、病院を核とした健康福祉施設、にぎわいをもたらす商業施設、働く場としての農工業施設、町をリードする行政施設、交通弱者のための交通手段、等々検討していかなければならない。 何年になるか分からないが、仮の町とは言うものの生活の上では仮を感じさせないコンパクトシティであるべきと考える。 行政としてこれから取り組まなければならない、仮の町への法整備、受け入れていただける市町村との連携等、多くの課題はありますが、お待ちしております町民の皆様喜んでいただけるシティづくりをしていきたい。そのためにも7000人復興会議を成功させたい。	ノート
3	分散型か集中型か	ここ数年先を見ると現在住んでいるところに分散型であった方が良いと思われるが、双葉町に戻れるのは何年先かわからない。 こんなことからスタートは中々集まらないが、双葉には何年かかっても帰れるのだ、と考えると集中型でつくっておきたい。 スタートを考えた場合、2ヶ所になるかも知れないが、県外の放射能のないところ、県内でも放射能の低いところがいい。	ノート
4	自分として住むを考えると	自分として住む。以前は何があっても双葉と考えていたが、帰れないのが分かってくると、当面は生活ができる場所であればどこでも良い。サラリーマンだったためか。でも双葉に戻りたい。後40年か。	ノート
18	仮の町について	仮の町構想がありますが、本当に仮の形なのか疑問があります。東電の現状を考えると、仮ではなくなくなってしまいそうな気がします。何年をもって仮の形とするのでしょうか。私には永遠の様な気がします。	ノート
22	仮の町について	双葉町にはしばらくは帰れないと聞く。それなら、双葉にいた時と同じように1軒家に住みたい。仮の場所を早く決めて下さい。アパートはつらいです。	ノート
24	仮の町について	仮の町を早く作って下さい。今のアパートは2階で階段の乗り降りが大変です。	ノート
26	仮の町について	仮の町は福島でなくとも良い。埼玉でも良いのではないかと。非常に住みやすい。	ノート
33	仮の町について	仮の町を作ることは無駄だと思う。仕事を持つ人は仮の町へ移れない。移れるのは高齢者、町の職員など限られた人だけ。現在のように住んでもいないのに仮設住宅を借りる人がでてくるだけだと思う。	ノート
37	仮の町について	仮の町、復興住宅といっても皆が殺到したらどうなるのか。すでにいわきは満員状態。抽選で決めるとしても不満がでると思う。	ノート
38	双葉町での生活と同等の生活	双葉町での暮らしと同等の生活ができるよう、町に取り計らってもらいたい。同等の土地・家屋の代替地を調達してほしい。	ノート
39	福祉施設	年とった時入居できる施設がほしい。双葉町民だけの施設である必要はないが、双葉町民が優先して入居できるようなものがあればいいと思う。	ノート
47	町に対して	役場は1つあればいいと思う。インターネット・電話・運送が発達している現在、複数の支所は必要ないと思う。	ノート
48	仮の町へ移る事が出来ない人への支援	仮の町ができた時、そこに移ることができなかった人にも同等の補助なり支援が必要なのではないかと思う。	ノート
55	仮の町について	仮の町は、いわきだけでなく、原町・相馬も考えてほしい。	ノート
60	不動産情報の提供希望	不動産情報（特に浜通り）を提供してほしい。	ノート
64	長期的に住める復興住宅を	ここは夏が暑く、冬は雪が積もる。浜通りの気候がいちばん過ごしやすかった。 仮設住宅の短期ではなく、長期にわたって住める復興住宅を作って欲しい。 離れてわかった双葉町の良さ。ふるさととの大切さ。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
69	仮の町について	以上のことから、仮の町の案もあるが、仮の町を作る予算措置が、はたして取れるのでしょうか。仮の町を作って、住めるようになるまでかなりの期間（何年？）と費用（〇〇〇億円？）がかかると思うので、仮の町構想は、好ましくない（難しい）と思います。それよりも、各町民毎の考えで、希望する市・町へ移転し、各々新生活をスタートして行くことが、現実的だと思います。そのために、その賠償をするべきです。	ノート
70	浜通りは不安な地域	地震発生も多く、最近震度5弱、4と大きな地震も発生しました。福島浜通りは、地震のことからも今後について、不安な地方ですので、帰宅することはどうかと思ってしまうます。	ノート
78	避難生活について	賠償を早く支払ってほしい。復興住宅を早く決めてほしいです。町役場を早く福島に戻して欲しい。	ノート
92	仮の町について	どんな町を想定しているのか等、議論がない中でイメージが湧かない。仮の町については集中型であれ、分散型であれ、相当の議論が必要である。双葉町だけではなく関係町村と広域的に考えたほうがよいのでは。仮の町に集まる方は、介護を要する人、ひとり暮らしの方、生活弱者等限られてくるのではないか。	ノート
101	仮りの町づくりについて	いわきに仮の町をつくる方針を立てられ、地理的に双葉町に近く好都合と考えます。しかし仮の町が存続することが出来るのでしょうか、懸念を抱きます。福島県外に避難している方が人口の1/2でこれから3~5年は仮の町に住むことが出来ないと考えますと勤務先、子供の教育その他の条件で帰りたいたと思っても帰れない人が多いのではないのでしょうか。実際に仮の町で生活できる方がどのくらいなのか調査をした上でよりよい方向に取り組んでいただきたいと思ひます。	ノート
109	仮の町について	町には、帰れないと思うので早く仮の町及び復興住宅を考えて下さい。	ノート
110	暮らしについて	他の町での避難生活は、西も東もわからなく、大変苦勞しています。寿命が縮まるまいにちです。放射線のない所で（外部、内部被ばく）生活したい。	ノート
142	7000人の復興会議に関する「見解」について	双葉町の復興に尽力されている皆様に感謝いたします。町から、意見を述べるようにと資料が送付されてきました。自分の「生活」を再建するのにいっぱいです。年もとってきました。残された人生を周りの事柄に影響されずに 生きていきたいと考えています。 以下に意見を述べますが、残念ながら「批判的な意見」になってしまったので、送り返すのをためらいました。それでも、何も語らないのは失礼と感じ送ります。 結論は、もう双葉町に帰還して生活する意思は持っていません。 参考にならないと称して、「破棄」されるもよし。「参考」にされるもよし。ご自由に「扱い」ください。	ノート
150	双葉町には戻らない	拝啓 年月の経つのは早いもので、また寒い時期となりました。お仕事に励んでおられると思いますが、双葉町民のために、骨折って下さっていることを心から感謝いたします。将来に対する見通しや見込みが確実に出来ない現状ですので、双葉町に戻る意思は全くありません。様々な会議や活動にも参加できる状況にありませんでした。ノートは白紙のままです。悪しからず、皆様お体に気をつけられますように、 敬具	ノート
155	仮の町について	一時帰宅するたびにもう双葉町に戻って生活する気にはなりません。まして若い人達、子供達は戻らないでしょう。私達だって5年~10年先を待っているわけにはまいりません。将来がぜんぜん見えてきません。福島県内のどこかに仮の町を作ってほしいです。	ノート
156	病院、福祉施設のこと、健康のこと	これから先暮らすには、便利が良くて、病院関係近くにある所に住みたいです。	ノート
158	双葉町の場合	徐々に放射能が低くなっているとはいえ、いつかまた爆発しかねません。とても安心して住める町ではありません。私は戻るつもりはありません。	ノート
159	生活する場所の気候風土のこと、放射線などの安心安全にかかわること	私達 原子力のある近くの町には住みたくありません。放射線の影響のない安全で安心して住める場所で生活を送りたいです。そのためには早くこれから先の事、先に進まない町民はどんどん離れていき双葉町はなくなってしまいます。福島県内に仮の町を計画してほしいと思ひます。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
167	個別のことについて	(1)双葉高校を存続させること。 (2)墓地の復旧と今後の維持管理。 (3)新しい避難区域の指定に当たっては放射線量だけでなく、原発からの距離も勘案すべき。 (4)医療施設は震災以前の水準（厚生病院）を確保するよう関係者に強く要請すべき。 (5)仮の町の構想は、設置数を可能な限りしぼること。 (6)中間貯蔵施設は慎重に考えるべきだが、復興を進めるためには避けて通れない問題であり「自分の町だけは認められない」ということは通らない。最小限、条件を付すなどして受け入れを容認せざるを得ないのではないか。 (7)若者の雇用の創出は極めて重要である。企業の誘致について国県とも十分協議して積極的に進めてほしい。	ノート
170	老人世帯の援助	自立によって老人世帯（1人、2人暮らし）が一番大変で、かつ、一番先に解決しなければならない事だと思う。（騎西の避難所特に！）仮の町着工時には、考慮し、自立した生活が送れるよう、早く役場機能を県内移動し、土台を築かなければ何も始まらないと思う。	ノート
185	仮の町について	除染方法の開発をして除染に力を入れてもらいたい、故郷に戻りたい、仮の町をつくるより、現状で戻れる日を待ちたいと思います。帰れる工程表を早く示してほしい。	ノート
187	仮の町について	仮の町は全員が希望するだけの規模となれるのか。希望者は皆受け入れてもらえるのか。何年間そこに住まなければならないのか。その後は、どのようにするのか、年限をきちんと示してくれないと、生活の設計が立てられないので困る。未来が描けない、希望がもてない、前に進めないでいる。毎日このような生活をしていたら、体がどんどん弱って行き、ここを出られる様になった頃には、動けなくなってしまいます。	ノート
190	娯楽	TSUTAYAなどレンタルショップがほしい。本もレンタルしてるといい。本屋、CDショップがほしい。	ノート
191	買い物	大きいスーパーがほしい、買い物が楽。服屋もほしい。しまむらなど。	ノート
193	老夫婦二人での暮らし	今は老夫婦の二人で暮らしていますが、何かあったらと不安の中で生活しています（突然の病気とか地震等）ので、子供達が働いている所の近くで住みたいと思っています。	ノート
202	ところでみんなでまち作り...	私はこれから5年後それとも10年後、私には高齢で何にも考えられません。まして役場そのものが埼玉にあり、来年植田あたりに来るとかいわき市から遠すぎて私達には何にも望みもありません。やる事が遅すぎて、いわきに住んでいる私達のような者には何の支援もなく自分のことでいっぱいいっぱいです。双葉町を作るなんて土地もない、これから一箇所を作るなんて出来ないと思う。郡山、福島、いわきに何ヶ所かになんていうことは双葉町はなくなります。遅くなれば待ちきれない人は自分で土地を求め家を作ります。	ノート
206	双葉へは戻れない	私は双葉へは戻れないけど多分皆さんも望んでいない人が多いと思います。早く双葉を処分して新しい住宅を求められるよう努力して下さい。皆さんが望んでいます。	ノート
216	これからの生活	私は、H23.3.15以降、神奈川〇〇市を経て、同4月より埼玉県〇〇市の県営住宅に御世話になり避難生活を続けております。避難生活は不便な点もありますが、双葉町の自宅で生活が出来ないさみしさ等以外は家族も大きな問題もなく過ごしております。 震災以降家の状況（三度の一時帰宅）及び発電所の状況、国及び東京電力の対応等いろいろ考えますと福島県双葉郡の未来の展望について、とても希望のもてる状況ではないように思えます。結論から申しますと、我々家族は双葉郡が原子力発電所の事故以前の状態に戻らない限り、自宅に帰る事をあきらめております。 今回復興会議により、町民の意見提案の募集という事ですが、町民それぞれ事情、意見があり、統一する事は非常に難しい事と思われまふ。もとの生活に戻れるならば、それにこした事はありませんが、その為には長い時間と大きな問題を解決していかなければなりません。私もH25.3月には60才となります。新しい人生をスタートしなければならないと思っています。	ノート
225	広報「ふたば」をみて	町からの「ふたば」を見て。双葉町高齢者大学の皆さんのなつかしい顔を見て安心しました。久々に見る顔々、元気な姿で良かった。会いたいです。町の皆さんと。早く仮の町ができ、皆さんと会いたいです。涙がでてきてペンをはしらせることが出来ませんゴメンナサイ。	ノート
243	自然のある町がよい	やっぱり自然のある町が良いと考えますね。農業できる方は、田畑を確保し、大きな木、森林ある。住宅ばかりある町じゃなく、そんな町を描いています。	ノート
244	双葉町そっくり大移動できるのか	双葉町そっくり大移動どうでしょうか。川や山が変わっていても、となり同志が... 部落がそのままの形でお引越みたいなの... そしたら何も悩まずいられそうです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
246	見慣れた風景と近所の人々	年齢がいつているお年寄りはやっぱり見慣れた風景と近所の人々です。元の姿で再開を望んでいるでしょうけど、2~3年間会わない近所の人なんて初めてだと思います。浦島太郎じゃないけれど、いつ会える事やら…。	ノート
253	放射能の無い海にしてみらいたい	震災前の何もない放射能の無い海にしてみらいたい。私、震災前は何も起こらない町でした。私達の海は六選に選ばれた町に住み40年近く、双葉町で商売を営んできました。でも何も無い町でも人情深い町の人が好きです。自然に大変恵まれて私大好きです。山の幸、川の恵、海の恵にめぐまれて、大変大好き！！山は苦手だけど、海釣りは大好きで、シーズンになれば夜中だろうと早かろうと苦になりません。でもその趣味も奪われ、地元に戻る事もできない。それもこれも、東京電力、国、政治が憎らしい。私達の落ち着いた住めるところを早くみつけてほしいです。早く、元の双葉海水浴場にして、日本全国から来てくれる日を待っています。いつになるか分からないけど。	ノート
256	私の一人言	早く孫達と原発が無く、放射能も無い場所で暮らせる日が私が生きてる間に夢が叶う事がいつ来るか分かりません。私自身ではむりかな...と思っています。毎日、今の住んでいる所は、どんよりとした天気や雨や風、雪で来年3月頃まで太陽は出ません。もうこんな生活はいやです。早く孫達と暮らしたいです。国と東電は一番憎いです。	ノート
257	私の一人言	今、私は怒っています。なぜならば、国や東京電力や町長、双葉町議会議員に言いたい事です。本当に私達町民の事を思っているのなら、解散選挙をやっている場合じゃないと思います。私だけだか分からないけど、雪国で生活したことのない私にはもう雪かきは大変です。一日も早く町全体を安全な双葉に近い環境に移してください。このままでは、日一日一一体が弱って、郷里の土をふめないで、あの世に行っても死にきれません。早く復興住宅をつくって下さい。東電の対応が非常に悪いです。日がたてば、こんな変わるのかな...	ノート
258	住みたいところ	子供達が安心して育てることができる放射線の影響のない安心な土地に住みたい。私、60才をこえているのでこれから未来に自分の子供、孫、ひ孫、玄孫が安心して放射線のない町で元気で生活を送ってもらいたい。国政は本当に無責任だ！！	ノート
265	仮の町と除染	仮の町を作るのか、除染して双葉に帰還するのかの二者択一ではなく、どちらも強力に進めることが大事。どちらか...ということでも争うべきではない。	ノート
271	廃校の利用	古殿町の廃校の施設は新しくて立派なので使える。双葉郡の仮の町といわき市南西部に作れば、バスでの移動も可能か。交通渋滞でも方向が逆になる。	ノート
272	仮の町に必要なもの	仮の町には、ショッピングモールがあるといい。人も集まる。生活にも便利。雇用も生まれる。ただし、双葉単独では不可能。郡内他町との協力が必須。	ノート
273	居住する地	地域再編によって町民が不利益を被らないようにして欲しい。津波被害の地域がなぜか線量は低いが、帰って住めるはずがない。	ノート
282	そもそもの順番	原発 ・目視可能な状態になる（現状の確かな把握） ↓ ・政府からの指針、廃炉工程発表、除染計画 ↓ 予算を出す（莫大な金額） ↓ むしろ立入禁止にして、時間が経ったら中間貯蔵を移す頃に除染した方が？ 町民 ・町民として残る意志表示 ・仮の町（県内なら手を上げてくれる地域を県を通じて行う） ・町民間でのアンケート、協議 ・仮の町の決定（除染等を見ながら） ・帰る、帰らない 決める	ノート
288	会津地区の集合団地について	会津地区に集合団地の話があるそうですが、旧財務局の宿舎が空いたままであります。十分な広さもあり、銀行・スーパー・バス（300m以内に）大きな道路にも面していてとても便利です。私たち家族が、以前住まわせてもらい、雪の大変な会津では年配の方にはとても住みやすいと思います。建ててから45~6年経っているので改築は必要ですが、何卒考えてみてください。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
299	双葉町の将来を考える	避難生活も終えて地元双葉町へ戻った後に、現在の双葉町の人口の半分の人口が戻るか問題。我が双葉町も人口50%減になると「町」から「村」へと町の呼び名も変わって行くと考えます。やはり将来は双葉郡はいわき市の様に一つの市になるか、また、二つにして（仮名）南双葉市、北双葉市にしなければ双葉郡の町村はやっていけないと思う。双葉市（仮名）制度にして振興を考える事も大切だ。	ノート
300	新天地を考える	避難の期間が長ければ長い程、町民が戻らないと考える。避難して1年6ヶ月あの荒れ果てた家屋敷、田畑を見た時、これから5年戻らず過ぎたら、庭先に親ゆびの太さをこえた木も生え茂げる。戻っても元へ戻す「力」があるか… いっその事、新天地を求めて町を離れるか。子供や孫達が新天地へ職を求め、新天地に家を建てれば町へは戻らない家庭が多くなると考える。	ノート
309	仮設の町について	新聞、TVなどで「仮の町」の話がありました。実現は大変むずかしい。どこの地においても、7,000人の双葉町民の居所を1~5ヶ所に住む所を見つける事は大変な事。例えば、一に双葉町役場の行き所もわからない現在、大熊町の様に会津若松市に役場を置き市内の仮設住宅に地区毎に、入居させたあのやり方は最高だと思う。これから5年戻らないのであれば、やはり双葉町もある程度、集まる方向を出さなくてはやがて戻る人も少なくなっていくと考える。 仮の町 夢の町で終わるな！ 全損賠償も良いけれど、戻る人が少なくは財産（不動産）の賠償を貰って、他の地へ「さようなら」では困る。	ノート
318	10.7 民報 「仮の町」にも法の壁	避難者受入れに対し土地や行政サービスの問題 集中型の「仮の町」を作るには土地の問題が生じるという。 我々避難者は何処へ行けばいいのかわからない。やはり「仮の町」はムリか。仮設・借上げ住宅3年間とあって、今だに何も進まない。 6年避難していたらどうなる。 帰る人も少なく、国も除染して早く。 一年でも、早く戻す事も考える。 全損賠償というけれど、国や東電は全損補償するお金があるのか。 やはり一に除染二に除染で事を進めなければ、ダメだと思う。 60% 80%の賠償でやむをえない。期間が早ければ戻る人が多いと考える。 東京電力も賠償よりも廃炉が大変だ	ノート
321	5年後の双葉郡の振興 は企業の工場会社の再生から	双葉郡の富岡、大熊、双葉、浪江の各町が戻ると話を聞くが、戻ってすぐ会社が再開出来る訳ではない。地元の企業を始め、国でもこの双葉郡に進出してくれる企業には、特例処置をとって免税し進出にあたっては国の補助も考えてほしい。 農業も戻っても3年5年は農作物も作らないので、若い人達が戻っても収入の道、働く所がなくてはならないと考える。戻っても若い人達が一番先に戻らなければ 若い人達のいない 将来性がなくてはならない。 双葉の工業団地は中間貯蔵地の問題から再生出来ないで、町内の何処かに工業団地を作って若い人達が安心して暮らせることが大事だ。 <u>白河市の「工業の森」を見て思った。</u> 1. 若い人達が、安心して住める町 2. 働く所がある町 3. 夢と希望のもてる町 水沢の西側の山 羽鳥の北側の山 山の上を均して工場敷地を作り、高台に工場を建てる。 これからの町づくりは工場誘致第一だ。 若い人働く人が生活する事だと思う。	ノート
330	不安	山を均して、小さい工場が良い 町民みんなが一からスタートだ。 1. 双葉町が戻れような環境になるのか 2. 今は避難しているが、今後、仮設・借上げ住宅が3年後どうなるのか 3. 自分で土地を探し住宅を確保しなければならないのか 4. 今後、仮の町を作って避難している人全てが入居できるのか 5. 学校（小学校、中学校、高校）などの子供達が入学できるか 6. 子供達が学校の為に、家族バラバラになって避難先に入学や就職すれば、双葉町への帰還は減る一方、町の人口低下となる。 ●3. 11新潟県へ避難した、孫と嫁の3人 中学校高校に進学。それぞれ学校を終えるまで、頑張ってもらいたい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
352	仮の町と子供達（学童を含む）	これから先の問題だけれども、これからの町の構想の中でもし仮の町が出来た場合、現在全国に避難している子供達が、仮の町が出来てその仮の町に双葉町民がより集まった場合、仮の町に幼稚園、小学校、中学校、高等学校とその学校校舎まで建てられて運用されるのか。仮の町を作るといっても、そのような問題が生じると思います。現在の様に家族バラバラの生活はもう沢山です。家族の気持ちまでバラバラです。高校生を持つ親は子の学校の関係で仮の町にも寄れないと思います。	ノート
354	福祉	前みたいに、買い物、医療機関が近くて、家族と一緒に生活できる場所を作ってほしい。年寄がいるので福祉関係は充実してほしい。	ノート
355	暮らし	双葉町に帰る事ができるのかわからないので、仮の町に不安が残る。双葉町の近くでもいいのですが…？	ノート
356	暮らし	家族と一緒に安心して住める住宅がほしい。場所は未定ですが、福島県内に帰りたいです。	ノート
357	暮らし	親せき、知人、友人と身近に感じられる生活に戻りたいです。今の状況では何かと不便が多く、連絡がとりにくいです。仮の町の場所も早く決めてほしい。	ノート
358	暮らし	仮の町に戻れなくても、同じ支援をしてほしい。なかなか期待できる所が少ないと思う。双葉町民が全員もどれるだけの場所なのか？	ノート
366	暮らし	これから先何年帰れないのか不安。仮の町はどこに出来るのか不安。行政、国が土地を解するのか。用地地域の改正をすることが大切ではないのか。今後、双葉町の進む道。何年までに町に帰ることが出来るのか。財物の補償・賠償が真に遅い。その他多種有り。以上。	ノート
367	双葉には戻れない	先日一時立ち入りをしてまいりました。1時間半程度の滞在時間、(室内1時間屋外30分)2人での立ち入りでしたが、それぞれ3マイクロシーベルト、4マイクロシーベルトでした。地区は下条。年間量にすれば、20ミリシーベルトを若干超える程度でしょうか。汚染されていない土地で年間1ミリシーベルトであるとすれば、20ミリはやはり高いと思う。“双葉町からのお知らせNo. 400”の木村真三先生の講演記事を読みました。線量のばらつきが大きいので住めないのではないかとのご意見でした。被災した原子炉をかかえる発電所から3kmという場所は、今後廃炉に向けての作業の中で仮に事故が発生した場合、その時双葉に帰還していたら、再度避難を強要されるはず。除染は山田石熊等、山間部の汚染が高いことを思えば町の中を処理できても川を介して再度汚染が進みそうで効果は疑問ではと感じます。以上のことから個人的には双葉には戻れないと思う。	ノート
368	住めば都	仮に帰還できるとしてもそれは直近のことではない以上、町民は生活のため仕事をし、かつ子供は就学する必要から自然にその地に同化することになると思う。住めば都。10年もすれば子供たちは独立し、代替わりも徐々に進行し、双葉に帰還する必然性は薄らぐ。	ノート
369	新たな生活の支援	個人的には双葉には戻れないと思っているため、自活独立できる方は独立いただき、老人などそれ以外の方には住居を含めた町のフォローが必要だと思う。震災時双葉町に住んでいた人が優先で入居、入所、利用できる住宅、老人ホーム、介護施設などがあればありがたいと思う。学校、病院等はその地域のものを利用していただき、あまり大がかりな投資にならないように、かつ経済弱者が利用しやすい施設を作っていただきたい。前述のとおり、自活できる方々は自活いただき、それが難しい方のための施設を優先して考えるべきと思う。	ノート
370	帰還の危険性	国は避難指示解除地域を徐々に増やし帰還の促進、賠償の打ち切りをすすめるであろうし、町の仮の町構想も帰還が前提だと思う。仮に除染が順調に進み避難指示が解除されるとして、それが何年後なのか。その後のインフラ修理にどれだけの期間が必要なのか。それを思いつつ自分の年齢(50代後半)を勘案すると、戻れないだろうとも思う。仮に避難が解除されるステージに達したとしても、震災前の双葉より放射能汚染は高濃度であろうことでしょう。そこに50歳代の私が戻るならまだしも、幼児や小学生を帰還させる行為は、国の認めたことだし、判断も別れるだろうし、それぞれの家族の事情だろうけど、双葉町民を危険にさらす行為に私には思える。	ノート
374	町民優先の施設	個人的には線量の高いところには住みたくないの、老人や経済弱者のため住居、老人ホーム、介護施設など、双葉町民優先の施設が用意できればうれしく思う(加須や福島県内に)。そして基本は賠償などをとにそれぞれが自活すること、と現在思っております。	ノート
378	戻る気はない	自分たちも双葉町に家を新築し、1ヵ月しか経ってないので、夢や希望などを残してきているが、今回の件でつらい思いもしている。小さな子どもも居るので申し訳ないが双葉町に戻る気はない。早く賠償が進み、次の生活に移りたい。それだけです。	ノート
414	慣れ	子供達が少しずつ生活にも慣れ、しばらくは地元に戻らない。	ノート
419	仮の町	町単位での移転。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
420	仮の町	部落ごとの移転。	ノート
421	仮の町	郡単位での移転。	ノート
423	疑問_町はこうあるべきと決めることについて	私の考えは正直言って地元に戻りたいです。しかし、双葉町に戻るとは不可能に近いと覚悟しています。何年先に地元に戻って生活できるのか、除染しても地元に戻って生活できるようになるまでは途方もない年月が必要であることを考えた時、はたして今の若い人達がそれを望んでいるのか、やがて福島出身というだけで結婚など差別されるのではないだろうか等、不安材料があるわけで、果たして若い人達のために、町はこうあるべきと勝手に進めることが良策なのか、疑問に思っています。	ノート
436	復興まちづくり_それぞれの生活のリズムに合わせて選択	それぞれが自分に合った自分の生活のリズムに合わせて住む場所を選択できる方がなじみやすい気がします。	ノート
440	町の将来性	いわゆる「除染」と町民の将来について。国の「除染」するからいずれ元の場所へ帰らせてやるという方針は住民の生活を無視しています。子供等若い世代が戻らなければ町が成り立たないからです。このような町の将来を描けない状況に陥れた東電と国に要求していただきたいことは、「それぞれの町民の選択を保障」して欲しいということです。	ノート
452	公園	10月の空は青い。すみきってる空。福島空もこうかなあ!小高い山にうず巻くように町が頂上に登って行く。団地のようにビルがならび、病院、学校、遊園地、グルグルまわる。ゴバンの目、フランスの公園のように、だれでも自由に太陽の下でのんびり出来るような場。身体が運動になる。鉄棒や遊具がそろえてある。子供も大人も気楽にたのしめるような公園があったらいいのに。	ノート
453	理想の場所	子供から老人まで遊べる。具材、手、足、腰、背すじ、すべて、身体によいもの。声を張り上げて人も人に邪魔にならない遊びもの。働く場所が町の中にあり、ボタンで通じる、連絡し合える機械。風力、水力。電気を蓄えられる機械。夢は果てしない!!	ノート
456	だれでも住める町	先祖様の墓が気になる。県や医院からの書類が年老いて、重なった。年取った者たちにはめんどくさい。わからない。気がもめる。手の届く事など何もない。出来ない。話し合いも書類等ももっともつと分かるように書いてほしいし、なるべく簡単に行える様に、作ってほしい。助けて頂けるなら手をさしのべてほしい。甘えが胸いっぱい。足が前進しない。良い町はどうしてこう頭に浮かばない。でも難しくではなく、だれでも住める町にしてほしい。	ノート
458	まちづくり	百姓を野菜など沢山作りたい。夢の人。工場、工業で働きたい人。食品、食堂を作りたい人。デザイン、建築をやりたい人。子供を育てることのすきな人。集合体の好む人。これがあちこちにあるのではなく、1つの集合体に生まれ、むだな時を場所を作らない。そんな町。	ノート
459	自分の未来	思い切って自分なりの未来!! しかしどこへ住む。何を。仕事ない!! 部屋代、家賃、いつ出なきゃならないかと落ち着かない。ゆっくり住める、生活出来る家がほしい。どこへ作るのか。先が全然見えない。	ノート
460	住み続けられる家	モンゴルや寒さの強いきびしい国でも生きられる人間。家、住宅に過去をあまり考えず、地下、大地の使用法を考えて建てる。楽しみで設計できたら、今しかないのではなく、これからが生きられる、気の楽になる建築。丸くても三角でも暮らせる住まい!!	ノート
461	自然と科学の町	雪や霰を貯められる生かし方。池、湖に出来て、水にもどせて再使用が出来る町。電気を溜めておける。マグネシウムと塩と水で自動車を動かせる時代に入り、いわきの発明人のニュースを見ました。科学の研究が出来る町があったら良い。	ノート
464	理想の町	町の中心からヘリが飛べる日。町で蓄電、畜水、畜農できる日。町で神様を集合させられる日。まっています。	ノート
468	避難生活	家族一緒に暮らしたい。友人達に会いたい。孫の顔が見たい。眠れない。体の調子が悪い。仕事なくなる。	ノート
470	安全な場所に暮らしたい	いまの双葉町は放射線の影響があり生活の場ではない。これから先が不安です。よその安全な場所に行き暮らしたい。	ノート
471	仮の町の場所	仮の町は気候のいい浜通りに作ってほしい。できれば小さくても一戸建てがいい。	ノート
474	娯楽施設	あまり楽しめる場所が周りになかったので年中通して楽しめる施設があればいい。	ノート
478	情報を明確に流してほしい	仮の町を作ると言っているが、いつ頃、どこに、どのような町を作るのか、はっきりとせず、子供がいる私にとって今後の生活に支障が出てくるのではないかと、とても不安であり、心配です。子供の成長は早いので、生活の基盤を早く作りたい。	ノート
485	仮の町について	福島県内がいいと思いますが? (県外でも良いと思う)。どのくらい人が仮の町にすむんでしょうか? 仮の町にすむ人は少ないと思います。放射線の影響で少ないと思う。5年先か10年先かわからない。10年か20年か? 先が見えない。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
486	放射線	福島県内は放射線など高いので本当に安心なんでしょうか。子供が安心して生活できるんでしょうか？心配です。安全な土地にしてください。役場と仮の町は県外でも良いと思う（福島県内は放射線が高いからダメ）。	ノート
490	家族と一緒に	現在借上げ住宅で避難生活を3人（私、子供2人）でしています。家族3ヶ所に分かれて生活しています。家族全員でいっしょに住みたい！ 避難してから家族全員でいっしょになった日はありません。	ノート
494	生活しにくい	今住んでいる所は暑い。冬は雪が多くて寒い。生活していくにはとても大変です。（冬は雪かきが大変です）。子供は双葉町はとても生活しやすいと思っています。子供の健康な食べ物、安心して生活できる場所で暮らしたい。戻りたい。	ノート
498	仮の町の指針	とくに、年配の人達が暮らしやすい仮の町にしてほしいです。若い人達は、仕事、子育て…それぞれに、いろんな所で暮らし始めています。若い人達は、新しい所でもその土地になじみ、対応するのが早いです。でも、年老いてくると、そうはなかなかいきません。知っている人達がいるから…話相手がいるからと、仮設に、若い人達とはなれて、くらしている人もいと聞きます。私達も、そんなに若くありませんが、年老いた人達が、楽しくて、安心してくらせる様な仮の町にしてほしいです。たとえば、すぐそばにお医者さんがあるとか、ちょっと行って、買い物ができるとか、車、自転車の心配なく、ゆっくり散歩できる公園があるとか。	ノート
518	どこに住むか	双葉町には帰れないと思っています。どこに住むか早く決めて落ち着いて暮らしたい。そのためには、財物の補償が必要です。他の町村と話し合いし、足並み揃えて進んでほしいです。	ノート
521	家族で住める環境を望む	娘夫婦、孫、みんなで安心して住める環境を望む。	ノート
524	仮の町_1ヶ所に住めるように	仮の町の件について出来れば1人でも多くの町民が1ヶ所に住む事が出来る様をお願いしたい。また1日も早く仮の町が出来なければ町民は“双葉町”から離れてしまう様な気がする（双葉町民でなくなってしまう）。そんな気がする。	ノート
536	仮の町は、分散型でも、復興公営住宅を	今の双葉町には住めない。できれば町民が一か所に集まる事がよいが、それは無理でしょうから、たとえば、分散型でも復興公営住宅を作ってほしい。	ノート
537	安心して戻れる故郷でなければならぬ	子供や孫が安心して戻れる故郷でなければならぬと思います。双葉には帰りたいたとは思わない。	ノート
557	いつまでこの暮らしが続くのか	このような生活がこの先の位続くのか、年のいった親のことと思うとかなしくなります。早く親子一緒に暮らさせてあげたい。	ノート
560	仮の町	将来的には除染が進んで10年くらいで双葉に戻れるのであれば戻りたい気持ちはありますが、若い人達の事を考えると自分達ばかり戻ってもどうしようもありません。20年～30年以上かかればもう無理でしょう。仮の町については、震災以前のような近所づきあいができるかどうかもわかりませんので、今はどうしたらいいのか、答えが見つからない状況です。ただ、仮設住宅に住んでいる方には一日も早く安心して住む事のできる仮の町が必要ではないかと思えます。	ノート
561	福島に帰れる所がほしい	一日も早く福島に帰れる所がほしい。	ノート
562	いわき、相馬市方面に行きたい	いわき市、相馬方面に行きたい。	ノート
563	家族一緒に暮らしたい	家族とバラバラなので、一緒暮らしたい。	ノート
566	復興住宅	早く復興住宅ほしい。安心暮せるように。	ノート
575	災害復興住宅	TVでやってのを見て、お年寄りの方々にはいいと思った。仮設住宅とは違い孤立しないですむ。ただ“仮の町”というものを造るのであれば早く場所を決めて進めていかなければならないのでは…？	ノート
588	離れられない	ご先祖が何百年かけて守って来た土地をはなれることは出来ません。	ノート
590	安心	安心して生活できる住宅がほしい。	ノート
599	町の機能	町の機能は場所で相違があるとは思えない。	ノート
600	落ち着く場所	自分たちが最終的にどこに落ち着けばいいのか？	ノート
603	元の生活に戻れるまで住宅費は無料としてほしい	元の生活にもどれるまで住宅費は無料としてほしいものです。	ノート
614	産業再生	家族ばらばらの状態であるが、息子夫婦の仕事が失われた状態での同居は不可能。早く相双地方の産業再生し、元の生活に戻してほしい。	ノート
620	双葉町に戻ることの現実性 _仕事、ライフライン、若い人	放射能の汚染が双葉町はひどく最低10年以上は戻れないと思う。悲観的な見方だと40年～50年位は戻れないのでないか？現在、原発はまだまだ危険な状態だ。原発が真に収束宣言をしライフラインも整備し全ての生活基盤、文化基盤も整備されなければ人も戻って来ない。特に若い人は戻って来ないと思います。むしろ、企業も商店も役所も戻って来ない。そんな所に仕事はありますか？そんな所に町民は戻れますか？	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
629	提言	<p>しかし愚痴ばかり言っても前進はありません。そこで私と妻〇〇は二人で提言を致します。</p> <p>①東京電力第一原発の真の収束宣言！！最も大事なことはこの真の収束宣言です。これが解決出来なければ町民は安心して戻ってこれません。国、東電は加害者です。私達は何も悪い事はしていません。各国の力なども借りながら全力をあげて真の収束を一刻も早く実現して頂きたい。</p> <p>②双葉町が元通りに町民が戻れるには・・・。現在、町長、町議員が仲違いをして揉めております。今このような大事な時期に一刻も早く止めてお互いに力を合わせてやっていくべきではないでしょうか。町長は双葉郡内の町、村長との関係、国、県との関係にも車し車楽があります。町のトップがこれでは町美人は不在。早く、関係諸機関と和解し、町民のため双葉郡内のため、施政を行って頂きたい。中間貯蔵施設の問題も郡内各町村長と仲良く話し合いベストの方法で決着を図る。私達の意見としては各町村の放射性廃棄物は自らの町村で中間貯蔵施設を作る以外に方法がないのではないかと考えます。これが決まらなると先へ進めません。</p> <p>③我々の次代を担う若い世代の方々が安心して戻って来て頂く為には放射能の心配のない住環境を作ること。そのためには前述の通りまず真に原発の収束宣言を国ですることとあります。それからインフラの整備、そして全ての社会基盤の整備であります。例えば役場、役所、学校、病院、働き場となる各企業、団体、諸機関、商店外商業施設、アミューズメント、公園等々であります。</p> <p>④双葉郡内を二つの町（または市）に統合する案。一例として下記に分ける。</p> <p>a、仮の名称 北双葉町または市（浪江町、葛尾村、双葉町）</p> <p>b、仮の名称 南双葉町または市（富岡町、大熊町、楢葉町、広野町、川内村）</p> <p>上記に統合した町または市を作る場合、放射能セシウム数値の低い所で都市機能が充足出来る場所を選定する。郡民が先祖伝来の土地を離れ大移住をするわけだから皆様の財物を東電、国はしっかりと賠償する。上記案にすると行政、諸機関はかなりスリム化される。しかし働き場の確保も大事な条件になるはずで。この案は10年～15年程度で達成する。</p>	ノート
636	我が家	<p>平成2年に双葉町に家を見て息子を二人育て上げた思い出深い我が家です。息子達はそれぞれ自立し家を離れております。息子達がいつでも帰ってこられる家として日々小さな庭に花々や木、小さな畑に野菜を育てて大事にしてきた我が家です。震災時、家の中はメチャクチャになりましたが、家そのものはしっかりと残っております。原発事故さえなければ・・・残念でくやしいです。</p>	ノート
637	現実	<p>大切にしてきた家だから、戻れるものなら戻りたい！帰れるものなら、帰りたい！しかし、現実とは違います。原発は収束していないし、またいつ何時、何が起きるかわからずとても恐ろしいことです。線量も高く、孫を遊びに来させることも出来ません。私達の終の住処と思っていたのですが、もう住むのは無理だと思っています。</p>	ノート
638	今後	<p>原発がきっちり収束し、町のインフラが整備されるにはどの位の年月がかかるでしょうか。私達夫婦には時間がありません。一日も早く、終の棲家を探さねばなりません。</p>	ノート
639	提案_仮の町でなく定住できる復興住宅を	<p>仮の町って何ですか？仮、仮では必要ないと思うのですが、仮ではなく復興住宅として、定住できるようにしていただきたいです。県内あちこちでそれぞれみなさん自立して住んでおります。復興住宅も県内に何か所かに分けて作っていただきたいです。</p>	ノート
642	町長へ	<p>町長は、町民を放射能から守るために埼玉へ移動したのでしょうか。それはわかるとしても、ある程度落ちついた時点で福島へ戻るべきだったと思います。大熊、浪江、富岡、みんな県内でがんばっていたのですから。遠く離れていたなら町民の生活状態などわかりませんね。はじめての土地でどこにゴミを出すかもわからず気がねしながら何一つ情報もなく苦しい日々でした。各個人の連絡先などは早い時点でわかっていたはずで。 「元気でいるか」「生きてるか」その一言でもいいから電話一本もらえたらどんなに心強く思ったろうに・・・見放されたという気持ちでずっと過ごしました。自分の家のことは自分でやるしかないと思ったりもしました。あの時の淋しさは今でも思い出すと涙が出ます。二人の息子達が、盆暮れに帰ってこれる家がほしいです。どんなにせまくてもいいから、息子達がゆっくりできる家がほしいです。それと私達夫婦の終の住処としても早急にほしいと思っています。</p>	ノート
647	仮の町構想について	<p>他の近隣町村では既にいわき市とか動いていますが、双葉町はどう考えているか。いちばんズリになってしまう。その為には、役場を早く県内に戻すしかないのでは。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
649	双葉町に戻るかについて	まず、区域割りがはっきりしないとだめだが、5年以上ともなれば戻れないと思っている。家も壊れるし、インフラ整備にも多大の時間とお金がかかる。	ノート
650	双葉町に戻れない場合	復興住宅、仮の町、何でも良いが、住宅確保が一番心配。年もとってくるので、買い物や、医者等が近くにある所が良い。	ノート
652	家について	出来ればわが家（家・土地）が良いが土地の購入・家の新築には、ペラボウなお金がかかる。夫婦2人なので、小さな家で良いが、家は500万程度の格安平屋でも良いので、お金がない人の為の対策があるとうれしい。	ノート
656	双葉町の今後について	町長は仮の町等、1ヶ所に作りたい。または双葉町に皆で戻ると考えているようですが、現実的ではありません。それぞれがバラけてしまって何年も各地にいとその地域に根ざして戻れないと思います。現在の川内村でさえ、村民のほんの一部しか戻っていません。まして人口7,000人の双葉ではどうか、放射能も大熊同様高いので、5年後解除されても1割も戻らないのでは。	ノート
657	双葉町の今後について一言	私達からすれば自分の生活が大切です。たまたま震災前に同じ地域（双葉町）にいたというだけです。自分が生活出来る地域共同体は、今後戻れるかどうかかわからない双葉町でなくても良いと思う。（わざわざ危険な双葉でなくても）	ノート
662	生活する場所	仮の町は気候風土の所で家族そろって放射線なく安心安全で過ごす所。子供や孫末代まで生活出来る場所で人生を送りたいのが親として安心の場ですね。	ノート
663	子供達について	子供の健康・食べ物のこと？安心して生活ができる場所で生活を送りたいのです。子供達の未来まで心配ですからよ？	ノート
664	自分達より子供達	老人はどうなってもいいから、心配なのは、子供達を安心して育てる事ができる事が第一です。放射線の影響のない安全な土地に住みたい。	ノート
690	現実	これから寒くなる中、仮設住宅に入っている人達は寒さのぎにはたいへんだと思います。早く避難している人達が安定した住宅を建て頂きたいと思っています。今日の新聞では、戻れることは10～20年と書いてあり本当に残念です。	ノート
754	要望	老人2人（1人は避難中骨折して歩行困難）障害者の私、非常に家探しが困難。介護施設には入りたくないというし。早くなんとかしてほしい。90才を過ぎて終の住処が避難所ではあんまりだ。お金はなんとかできるので探してくれるだけでもいい。いつまで人様の世話になっているのだ、と親戚に責められるのも辛い。	ノート
755	仮の町について	いわき市に仮の町をという意見が多いようだが、地震があると大丈夫だろうかと思ってしまう。	ノート
764	暮らしについて	子供達が手を離れたら、のんびり農業をやって暮らしたいと思っていたがまさかの避難生活でこれから先が不安の毎日だ。現在の避難生活はただ生活しているだけの毎日で生きがいが無い。仮の町も他の町行政にくらべて遅れているしできるだけ役場の近くに町がまとまっておられるのがいちばん良いが離れては今までと変わらない。	ノート
765	福祉について	仮の町にはぜひたい必要な病院や福祉施設など、老人がひとり暮らしになっても不安のないように役場の近くにあれば安心だ。	ノート
777	要望・質問 _現状の放射線量、放射能影響、補償 等	・双葉町内及び周囲町村の詳細な汚染状況を調べる。 ・上羽鳥公民館前にあるモニタリングポストの線量を公開する。何か秘密にする必要があるのか？ ・汚染の高い所を除染する。可能か？山、田、畑、つり、河川敷、家、庭・汚染水は、線量が高い山から川へ流れ込む。除染は可能か？ ・山から流れた水は田畑に入る。そこで作った米、野菜は食べられないと思うが。 ・山には、キノコ、山菜等がある。食べる事が可能か。また食べられるまで除染をするのは可能か。 ・ライフラインの復旧はいつまで完成するのか？ ・家に帰れる時期は何年先になるのか？ ・水道水は本当に「のめる」のか？ ・家、土地の補償を完全に実施する ☆未登記の家は補償できないのか？ ☆庭木等の補償は？ ☆田、畑の収穫の補償は？ ☆お墓の補償は？ ・町の復興には、病院、お店等の生活にかかせないものがある。旧双葉町には可能か？ ・子供達が生活できるのか？学校等。 ・双葉町から避難している人達への国、東電からの補償が少ないのでは？補償金・期間 ・避難者の自由をうばったのでは？	ノート
778	仮の町について	・個々人の要望にそった町づくり ・一戸建ての「5LDK」が良い（100坪ぐらい） ・浜通りが良い ・病院、店屋が近くに。 ・旧双葉町には長期間（40～50年か）住めないと思う。土地、家等の買いあげがあれば良いと思う。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
782	復興会議に参加して	双葉町町民参加の「7000人の復興会議」の集りがPM新宿駅の新宿パークホテルの2階で開かれた。参加人数は少なくて少しがっかりした。双葉町の人をもっと参加してほしい。今回参加した人は5人でさびしかった。私は今回で3回目、来週での全体会議で4回。希望としてはふるさとの双葉町にはもう帰ることはできないとは思わないであきらめてはいない。役場が来年3月に福島県のいわき市に移るとのこと。やがては私も仕事上いわきに移住するつもりだ。	ノート
783	復興会議に参加して	今日は東京秋葉原UDX4階で双葉町町民参加の7000人の復興会議の全体会議が13:00から開かれた。参加者は全部30人くらいだった。私は予定より早く秋葉原駅に着いたのですが場所がわからなくて係員に電話をしてようやく会場についた。井戸川町長も参加しての4時間。参加者の意見を聞くと双葉町にはもどりたいけどもどれないのでさまざまな意見がでた。役場が来年3月にはいわき市に移転する予定。そのあとは少しずつ町民が移るので私もいわき市に移ると思っている。いわき市に移れば会社が双葉郡〇〇で再開して仕事をしているので会社に復帰できるのでできればいわき市に希望して早く町民が安心して住めるようにしてほしいです。私は今の県営団地はあと1年10ヶ月その間に町民が住めるようにしてほしいです。	ノート
797	質疑	仮の町として、どの辺に土地がありそうだとか遊休建物や病院があるとかが等 ある程度の見通しがなければ、先に進まないと思うが、その辺の検討はされているのか。	ノート
799	今後について	今後5年近くも待ってられないと思う。生活の基盤となる財物賠償で避難先で新たに生活を始めることも考えている。（賠償額次第かも）	ノート
806	仮の町_シルバー、女性も仕事ができるように	復興に向けた町づくり一般、そして成し遂げた「仮の町」「双葉町」にて、シルバー、女性も仕事ができるようにしていただきたい。	ノート
808	仮の町か永住出来る町か	双葉町民の中には、原発事故、震災により双葉町に帰りたくても帰れない人が沢山いる。仮の町構想が進んでいる中、永住できる町についても策定してほしい。そして、「仮の町」と「永住できる町」どちらが良いのか、町民が選択できる方策をとってほしい。	ノート
811	要望（賠償）	町民の中には、家屋、土地を長期間放置しているため、放射性物質と風雨、地震等により損傷が進み、将来家に戻れない人もいる。東電の提示する賠償金では新たに家屋、土地を購入するには、余りにも少ないため、新たな家屋、土地を弁済してほしい。	ノート
816	放射能汚染のない町に住みたい	双葉町へ戻って1年余り、自然豊かなのんびりできる場所でも今はない。放射能汚染のない町へ早く住みたい。	ノート
818	元の町に戻れるのか？	12月12日民友新聞より山田地区の放射線量が毎時0.1マイクロシーベルト以下まで（安全）に165年（除染しない場合）かかるとの発表。仮の町を作ったとしても元の町に帰れるのは無理ではないのか？	ノート
833	仮の町について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2、3年後に除染を始めて最終的に帰町を目指すというなら仮の町は必要ない、という意見も一理あると思います。何度も引越しをするのは大変ですし、現在の避難先から新しい場所の地理やら何やらまた一からやり直しです。双葉にあった病院や学校が無いなら、結局仮の町がある自治体に頼らなくてはなりません。仕事もまたさがさなくてはなりません。費用もかかるでしょうから、じっくり検討して半永久的な町を造った方がいいと思います。 ・ 一ヶ所に、学校も病院もある町を作るのが難しいとしたら（多分、無理でしょう？）警戒区域が解除された町、これから解除される町にも災害団地を作ってはどうでしょう。たとえば、小高とか浪江とか。双葉に近いから住みたいという人もいるかもしれません。 ・ 避難先で仕事をみつけて仮の町にも移れない人のために、住基カードを発行して、災害団地と同じ額の家賃を払うようにして頂けないでしょうか？避難先の自治体との調整が難しいでしょうが、今まで家賃が発生していなかったのにこれからどうなるのかと不安がっている人は沢山います。 ・ 仮の町の場所、住居の形態（家賃も含めて）や間取りなどくわしいことがわからないと仮の町に住みたいかどうか決められません。宮城県などの災害団地と同じなのでしょうが？構想だけでも、広報でお知らせ願えませんか？一人暮らし用の間取りとか、大人数用の間取りとか・・・新築でステキな環境に、みんな期待するかもしれません。少しでも希望が持てればと。 ・ 仮の町に住むとしたら私が心配なのは仕事です。震災前はフルタイムで働いていましたが年齢的にも、仕事先の場所に不慣れなのもあるのでしょうか、短い時間の仕事しか求人がありません。ヘルパー2級の資格があるので仮の町の団地に住む高齢者の訪問ヘルパーとか雇用をつくって欲しいと思います。仕事があれば私は確実に帰ります。その場合、ハローワークでなくとも求人がわかるように情報が入ればと思います。 	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
834	小高の知り合いより、避難指示解除後の暮らしを聞いて	小高の知り合いから電話がありました。「自由に自宅に立ち入りできるのだからうらやましい。」と私が言うと、水は飲めないし（ミネラルウォーター持参とのこと）住めるようになっても病院や買い物に原町まで行かなきゃならないし、道路にはゴミが回収されないでゴミ袋の山だ、となげいていました。これは双葉が解除されたら私達が経験することなんだなあと思いました。小高の人も若い人や子供がいる人は「もう帰らない。」とキッパリ決めている人もいます。原発に近い双葉町では帰らない人はもっと多くなるでしょう。帰れない、と決断した人でも双葉町民でいられるような措置を考え出して下さい。人間はわがままなもので、有利な方向に動きます。仮の町の場所が決定してなくても、住まいの快適さや、雇用の確保など青写真でも見せて下さい。絵にかいたモチでは、また、町民が文句を言うでしょうから、先行している県や町の例を調べて発信して欲しいです！！	ノート
840	要望	将来的には、双葉郡を統合して、仮の町、復興について考えるべきだと思います。きれい事では前には進めない。そう思います。文句を言う嫌な人だと捉えず、真剣に考えて欲しいです。	ノート
853	住まい	埼玉に住んで2年これからどうする？これから・・・また住む所をさがすのがたいへん。自分達で探すのはおかしい。福島には家があるのに。	ノート
855	住まい	一軒家が良いが難しい。姉妹や親戚がいるのでこちらで住む方向を考えている。	ノート
856	仮の町より戻れるか戻れないか	仮の町より、実際に戻れるか戻れないかを先にはっきりすべきだと思います。仮の町には行きません。	ノート
858	仮の町ではなく除染につかってほしい	仮の町にお金を使うのあれば除染もしくはみんなに配ってほしい。	ノート
876	町村合併	思い切って何町村か合併し、前へ進むしか道はないのではないかな。	ノート
882	意見	双葉町単体での再建は無理ではないか？双葉郡で足並みを揃えた方が前に進めそうな気がする。コミュニティーも双葉町だけではないし、親類縁者は他町村にも多数いる。双葉に戻るといふより、自分の家に戻りたい。賠償が進まないと、新しい生活も考えられない。	ノート
884	要望	透析のできる病院が近くになれば生きてられません。どうか町を創るのなら、病院の整備、設置をお願いしたい。双葉は帰りたいけど、まず無理だと思うので、これから先、住む家を早急に準備できるだけのものが、ほしいと思う。新築のまま、おいてきた家を想うと、苦しい。	ノート
891	新しい双葉町を	双葉町は出足がおくってしまったと思います。120年～130年は帰る事ができませんという話もききました。であれば、仮ではなく、双葉町をどこかに、つくるようにしなければならぬのではないのでしょうか？たとえ、村からの出発になるとしてもできるだけ早く手をうたなければ皆、自分の生活の場ができあがってしまい、「帰る」（新しい双葉町～）という選択は、なくなってしまうと思います。	ノート
894	姉妹都市について	姉妹都市の考え方はどうでしょうか？県内がいい組と、県外がいい組と、二ヶ所を国に買ってもらって、そこに双葉町をつくるのです。そして、お互いに交流をもっていけば、ばらばらのままなくなってしまう事はないのではないのでしょうか？	ノート
895	要望	仮の町がそのまま町になるのならば、仮の町設置場所に、ぜひ、透析のできる病院をつくってもらいたいと思います。そうでなければ、私たちは、ついていく事ができなくなってしまいます。大野病院は、県立ですよ。双葉、大野、富岡、浪江など八ヶ町村の、もどれない人が全部あつまると感じてもいいので、そこに、大野病院や厚生病院の先生や看護婦さん、希望してくれる先生方にあつまってもらって、まず、病院をたててほしいです。	ノート
896	町のイメージ1	みたいな感じで、中央の公園はイベント会場にもなるような感じ  みたく感じ 中央の公園はイベント会場 にもなるような感じ	ノート
897	町のイメージ2	家の間にも公園有…ドッグランのような所もほしい。道路は放射状に延び、花みずき・せんだん・もくれん・さくら等、通りごとに花木を、根本は草花を植えて、海が近ければとてもいいと思いますけど、なければ公園に池があるようなのがいい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
898	町のイメージ3	ごぼんの目もいいなあ、みたいな？	ノート
903	仮の町について	先の分からない段階の復興は、どこかに「仮のまち」を置いて住みやすいように取り組む方法を協力して構築することが初期的な方法であると思います。	ノート
904	住民の呼び寄せについて	県外各地に避難している住民を県内に呼び寄せていくことが重要であり、その条件づくりに努めなければならない。そのような配慮がないと、人口減になってしまう。	ノート
905	仮の町について	空室の住宅借上げは必要ですが、これに頼り過ぎると仮のまちは完成できない。まずは宅地づくりから始めて、皆を呼び寄せる手段を講じなければならない。	ノート
906	仮の町について	国有地、国有林の活用を図り、仮のまちをつくれれば便利である。	ノート
907	仮の町について	集中型か分散型のいずれがよいのか、検討する	ノート
918	双葉町の復興	双葉町の復興ですが、まずどこに町をつくるかということ。私は双葉町の元のような、環境は100%望めないと思いますが、それに近い住む場所があればいいと考えます。	ノート
925	住居について	現在の宅地に住めないため、別居住地となると、都会並みに、集合団地のような住まいを作る。	ノート
926	希望	田園があって、春には青だたみのような水田	ノート
969	要望	今まで農家やっていたので野菜買って食べる時が、なんでこんな目に合わなければならないのかなと一瞬考える時があります。体が動いていた時は、いっぱい野菜を作り、友達に持って行ったりして、自分の住みなれた所はいいです。もう、帰れないともなれば早くの町を作ってもらいたいです。	ノート
970	要望	先祖の墓を守りたいし、近くに双葉町、仮の町を作ってほしいです。	ノート
980	仮の町	早く仮の町、新しい双葉町として、一つになって暮らせる町にしてほしいです。	ノート
984	この先_災害復興住宅が整備されるのか、町としての独自の仮の町を待つのか	現在、借上げ住宅制度を利用できていますが、この制度がいつまで続くのか明確な情報がない事で不安を感じます。避難先の地域において、災害復興住宅が整備され次第、そちらに入居できるようになるのでしょうか。それとも、町として独自に仮の町が整備されるようになる時まで待つことになるのでしょうか？おおよその方向性を、なるべく早く示して頂けると、このような不安によるストレスも軽減されるのではないかと感じます。	ノート
1005	要望1	一町村ではどんなにもがいても無理であるので、県や東電、国が用地を確保して欲しい。	ノート
1025	要望	町づくりにも従来の行政単位ぐらいの範囲で生活したい。	ノート
1038	町民のつぶやき_行政に格差はあってはならない	避難者は県内県外が約半数になっているが、特に行政では格差があってはならないと思う。	ノート
1058	町づくりでは	集合住宅であればよい	ノート
1059	町づくりでは	広場やサロンがほしい	ノート
1063	帰りたくても帰れないだろう	帰りたくても帰れないのが現状だと思う。子供達とその両親が信頼して住める環境を取り戻すことが町の復興の前提だと思う。町ぐるみ集団移転を実施するのが理想だが、町ぐるみ集団移転する広い場所があるかどうか、絆づくり、土地の区分け、役場、学校、病院、下水道の設備、老人ホーム、介護施設など考えただけでも数年はかかる様に思う。折角できて若く人は帰れないと思う。子供の教育、仕事面などで。	ノート
1066	双葉町への希望_仮の町	双葉町としての老人ホーム、介護施設と幼稚園など合同して一か所に作って欲しい。避難地域毎でもよいと思う。名前は双葉ホームなど双葉町の名前のつく公共施設が欲しい。 ※優先的に元双葉町民なら入れて頂けるという条件で双葉町に帰りたい。帰りたくない人が自由に選択できる方向にお願いしたい。	ノート
1071	働きたい	安定した仕事、地域の活性化につながる仕事、たくさんの人と関わりのもてる仕事。希望はたくさんあるが、住む所が定まらないのに、長く勤務できる仕事を決める事ができない。	ノート
1074	仮の町があればうれしい	自分の地元、田舎がほしい。仮の町があればうれしい。	ノート
1081	安心、安全な場所で暮らしたい	地震、津波、放射能の心配がない所で暮らしたい。	ノート
1085	避難生活のストレス	現在埼玉県借上住宅に住んでいるが近所には知っている人もなく会話は家族だけでストレスがたまる。早く仮の町の場所を決めて復興公営住宅を作ってほしい。	ノート
1086	仮の町への要望_医療福祉施設	現在要介護の人が居るので借上住宅もデイサービスの受けやすい所と思って借りた。仮の町にも医療機関、介護施設を作ってほしい。	ノート
1089	仮の町への要望_複数でもよい	仮の町は複数あっても良いが仮の町。病院、買物などバスを運行してほしい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1091	仮の町への要望__運動場	仮の町に運動場を作ってほしい。健康のため体を動かしたい。双葉にいる時は畑仕事をしたり、田んぼの草刈りなどをして体を動かしていたが今は何もやる事が無いので、食っては寝の生活でメタボになった。震災後避難生活で太った人が多くなったような気がする。	ノート
1094	仮の町について__復興公営住宅を作ってほしい	仮の町については町民が一か所に集まることが大切だと思うが、複数の仮の町作りには費用がかかりすぎると思う 学校、病院・・・etc・・・復興公営住宅を作ってほしい。できるだけ早く。	ノート
1113	住まいについて	持ち家（土地）だった人にはそれなりの家と土地を提供してほしい。なぜ東電のためにアパート暮らしにならなければならないのか？今住んでいるアパートを探した時、不動産屋に、もっとボロな所に住んでいる人だっているんだから贅沢を言うなど言われた。贅沢したい訳ではなく、前と同じレベルの生活に少しでも近づければ良いと思っただけなのに。結局、今も耐震許可も無い、換気扇も無い、カビだらけの古いアパートに住んでいる。（両親が病院に近くないと困る為、移動も出来ない）今までまじめにこつこつ働いて土地や家を持った人はバカをみてしまう。	ノート
1114	土地の返還	双葉では畑を作り自給自足（野菜）していた。健康にも良かったし、楽しみがあった。全てを奪われ、身体はボロボロ、精神的にも立ち上がれない。失った土地の広さの土地を返してほしい。人それぞれ働いて何にお金をつかうかは自由で、土地や家につぎこんだ人は損をしてしまう。	ノート
1131	仮の町について	今、テレビや新聞などで、仮の町について騒がれていますが、はたしてどれくらいの方が仮の町を希望しているのでしょうか？仮の町と言っても仮設住宅の延長のような気がして、それだったら仮の町に使うお金を個人個人の自立の方に使った方が良いのではないかと思います。現に、双葉町民の中にも土地、建物を購入してしている人がたくさんいますので・・・それが自立、復興に結びつくのではないかと思います。	ノート
1144	要望	室内、室外、両方共、子供が安心して遊べる施設を作ってほしい。	ノート
1169	住まいについて	時間を見つけては、土地・家を探し歩いてますがなかなか価格と土地の広さと気に入る所は見つかりません。土地の価格は上がるばかりです。このままでは土地を購入すると、家は建ちません。双葉の土地は300坪ありましたが、せめて1/3のもと思ってますが今の東京電力の賠償額では無理です。国か県、もしくは東京電力の持っている土地を提供してもらえば安い価格で売却して頂きたいと思います。	ノート
1175	環境について	住む所だけ作っても生活は成立しない。それ以上のこと、福祉なども考えてほしい。	ノート
1181	復興住宅について	復興住宅はバリアフリー高齢者向けに	ノート
1182	復興住宅について	耐震性	ノート
1185	意見	原子力行政に頼らない、自然エネルギー。仮の町より実際に戻れる戻れないのが先にはっきりすべき。全て失った、まずは賠償を。住民票を移してその場所に住む。元の双葉町なら帰りたいが仮の町なら帰らないよ。	ノート
1191	意見	仮の町は原発が収束しないうちは県内は無理ではないか150年以上かかるよ。	ノート
1193	復興住宅	復興住宅は冬はあたたかい地方にかぎる	ノート
1195	意見	双葉8町村はいわき市と合併すべきだ。	ノート
1196	住宅	仮設住宅ではなく復興住宅の建設を。空き公務員住宅の改修をするとよい。	ノート
1219	双葉町での暮らし。	双葉町では、庭があったので花を植えたり家庭菜園をしたりしていた。そういうことができる所に住みたい。	ノート
1221	双葉町での暮らし。	双葉町で生活していた家や土地の大きさや広さと同じくらいのところに住みたい。	ノート
1222	仮の町	仮の町を作るのなら、いわきにしてほしいと思う。双葉町に近いし、気候が似ているからそう思う。	ノート
1228	仮の町について	仮の町をつくってもどれくらいの方が住める広さなのかどれくらいの町をつくるのかもっとくわしいことが聞きたいと思う。	ノート
1235	仮の町__希望の場所	仮の町を作るのなら、いわきにしてほしいと思う。双葉町に近いし、気候も似ているからそう思う。店など充実してほしい。一つの店である程度買い物ができるような場所を作ったら便利だと思う。食品だけではなく、洋服や雑貨、ホームセンターや本など一つにまとめた場があったら良いと思う。病院も、内科だけではなく他の科もある病院があると良いと思う。他に通わなくても仮の町で何でもできるような町を作ってほしいと思う。	ノート
1242	便利な暮らし。	双葉町にいる時のように広々とした所で安心して暮らしたい。ペットとも一緒に暮らして行きたい。少しでも、前と同じ環境の近い土地で過ごしていきたいと思う。	ノート
1277	復興住宅の件	現状ではどっちつかずの状態が滅入り、生きる気力が無くなりそう。1日も早く決断して下さい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1289	町の復興について	町の復興は良いことですが希望通りに行くものか？です。県外に出た人達はどんな考え方をしてるのか、まず第一に生活の事だと思います。職場もないのに帰ってどうしようというのか、老人達の集まりになるのなら施設の様なしっかりしたものでも作った方がよいのかとも思います。	ノート
1291	仮の町	県内と県外に仮の町をつくることが重要。双葉町の町民を一ヶ所に集めることは不可能。自分としては県外を希望する。夏涼しく冬暖かい双葉町に気候が似ている所が一番いいのだが！！立派な建物はいらぬが、行政、医療、福祉、教育、商業施設などを集約して整備。	ノート
1293	復興まちづくり	まずは町民が集まる事、子供のいない町をつくってもしかたがない。放射能のない環境が必要、病院、福祉施設が必要、復興のためには、住宅、職場、サービス等のパッケージが必要。	ノート
1295	必要な事	シルバー世代に働く場を、そうすれば活気のある町になるだろう。若者が仕事ができる環境も必要。田、畑をつくりたい。自然も必要。	ノート
1301	暮らしについて	放射線を気にすることのない暮らしがしたい。	ノート
1304	暮らしについて	多くの方が、家族離ればなれで暮している。以前のように家族皆で住めるようになってほしい。	ノート
1308	要望	学校、公共の施設など商店や銀行、郵便局、工場の誘致、病院、福祉施設	ノート
1315	双葉町復興会議①	1.（仮）町計画の感じ方 一つの町で以前のように生活が成り立つのか？ 移転する町や市は受け入れやすく町が機能しやすいか！（人口による財政面が成り立つのか） 就職をする為の環境があるのか（地元の雇用状態が良いのか）	ノート
1321	定住先	自立して住みたい。定住する場所はどうなるんだろう。（これがいつ頃ははっきりするんだろう。毎日が不安。）	ノート
1326	産業振興策	これから原発の廃炉の進展その他、不透明な部分が多くどう建て直すべきか難題ばかりです。 仮に叶うとして 1) 公共投資（インフラ、環境整備） 2) 流入人口増大（若年者の定住化）妄想かも知れないけど“ゆりかごから墓場まで”を。憂い無く暮らせる、再循環型町の形成。＜それ自体が亜産業として機能＞ 3) 町の眠っている資源の中に販路拡大に繋がるものは無いか？ 4) 町で受け入れ可能な産品を創出する為に先行する地域との協力提携	ノート
1328	娯楽について	町の再生産の為には、後に続く世代、若者の滞留率に依ると思います。そのために何も遊興施設を作る事が解決策とは思わないが、ある程度、相互交流可能な健全な場所（社交場）は存在してても良いのではないか？	ノート
1340	精神的賠償（仮の町）	現在借上げ住宅に住んでいる。これから先3年間帰れない双葉の避難者は4年・5年・6年の住居の問題。仮の町が果たして出来るのか、どこへ出来るのか今だにわからない。出来上がった頃は帰れる時期になるのかそんな気もする。月々10万円の賠償も戻って3月後となっているが、果してそれまで月10万円がもらえるのか心配だ。農業は稲を作り野菜を作り生活が成り立っている。高線量で稲や野菜が作らなければ生活が出来ない。	ノート
1343	いわき市へ寄りたい	避難して、1年9ヶ月、川俣、桑折、福島、白河と転々と移動した。でも何となく浜通りの四季が恋しい。夏涼しく冬暖かい所、生活がなつかしい。いわきの友達から今作っているアパートがあるから、こっちへ来たらのTELを頂く。見に行く。来春完成と言う。出来れば行きたいと思う。	ノート
1365	一人ごと	「仮の町」と言わず別の場所に“新生”双葉町を作る。	ノート
1366	一人ごと	山を切り開けー	ノート
1367	一人ごと	区画された分譲地には住めない。やっぱり家の前は広びろとした空間がほしい。ちょっとした畑があればなおいい！	ノート
1368	一人ごと	子供が安心して育っていく環境が必要。	ノート
1371	町に帰るという前提ではなく	廃町ということも考えるべきでは・・・国で他の町を用意してもらい新双葉町を構築すべきと思います。条件は、気候、風土が双葉町と似ている場所。	ノート
1381	町づくりについて	町を作ると言ってもまず除染が先だろうと思うが目に見えない放射線は、森林や田、畑にも及んで大変な事と考える。とすれば、適当な土地があれば新しい町づくりも良いけれど理想通りにはいかないだろう。仮の町は無くて役場をしっかりと機能してもらえば別々の土地でも成り立つのではないか・・・町民のより所となっている役場だから大切です。私の場合役場から送られる情報が唯一の救いです。離れていると細かい情報は一切分かりませんが職を得ている者は、結局その土地に落ち着くことになってしまうと思う。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1383	暮らしについて	町民は、みんな慣れない仮住まいに苦労している、なじみのない土地で知合いもなく、限られた場所にしか行けない。双葉に残した家は、古い建物だが修理しながら住めばこれから先も住めたのに空しい。墓地もあるのにどうなるのだろう。お盆、正月に子供、親類の集まる家がほしいと思う。	ノート
1404	第2の町 ■日本災害復興学会 10/9民法新聞・10/12 朝日	原発事故による避難が長期化し、国の救済・支援からこぼれ落ちる「棄民」を生まないために、関西学院大の研究グループが長期避難を支援する提言をまとめた。是非、この記録を入手して活用できないものかと思う。恐らく、この記録から「まちづくりの視点」ががらりと変わるんじゃないかと予感する。研究グループのレポートのみならず、福島市で開催された2日間の大会記録は私達の視野を広げてくれるだろうし、町民にとっても役立つ資料になるのではないかと。 ・注目したいこと。 (1) 福島大学つくしまふくしま未来支援センター 天野和彦特任准教授「仮の町は避難住民の希望にならない。仮でなく、住民がゼロからつくり上げる第2の町が必要だ」と意見を述べた。(シンポジウム) (2) 関西学院大学教授 山中茂樹先生「新しいふるさとをつくっていく」という意味で「セカンドタウン」を実現したい。長期避難を前提に元の町（ファストタウン）に帰れるようになって、セカンドタウンに住めるようにする。「2地区居住」を住民に認める法律とインフラ整備を進めるべきだ。 ※避難生活1年7ヶ月、進路決定の時期です。	ノート
1420	時限的町づくり② ■アンケートに答えたものは	回答の原稿が残っていたので、要点を書き出してみます。 ①ネーミングが暗い感じです。端的に「ニュータウンを作ろう」「未来都市をつくらう」と浜の人たちに夢を作ってほしい。 ②双葉町だけの問題ではありません。郡が一つになって取り組む課題です。双葉郡の復興ではありません。双葉郡の再生であるべきです。 ③実態調査にもはっきり示されています。「待てるのは三年」なのです。全国に発信して応援していただくことです。 ④郡に近い南相馬市・いわき市など土地を分けていただく難問があります。それなら阿武隈山系の国有地を候補地に挙げたらどうでしょうか。 ⑤水面下での調査・検討材料の収集・関係機関との情報収集は欠かせません。対応すべき問題点の整理です。 ⑥全て、国の事業として取り組んでいただく提案をしなければなりません。しっかりした要求プランを練り上げることです。このためには早急に専門家集団・アドバイザー等を委嘱して構想をたしかかなものに仕立てることです。 ⑦今後問題となる土地・建物等の賠償問題・中間貯蔵施設の問題等は、町づくりの建設と無縁ではありません。それだけに問題は複雑に絡んでくるから、深い洞察力が求められてきます。 ⑧双葉郡が一つになれるのか、ここが生死を分けるポイントになる。個々の町の力だけでは国も世間も動きません。世間の応援を得て「世間を味方にする」ことで動き出せるのだと思います。	ノート
1436	まちづくり委員会① ■「仮の町」議論本格化	○H24・11/13民報の記事、標記の見出しで、委員会（11/12）審議の様子を伝えている。災害公営住宅を一ヶ所にまとめて設置する「集中型」複数箇所に分ける「分散型」かで委員の意見が分かれた。この記事から受ける印象は、それぞれのメリット・デメリットの二者択一の話し合いでは、熟議にならないのではと心配します。話し合いには必要な資料の準備がなくてはなりません。参考資料の用意は、会議に必要な要件です。会議を用意する事務局があたるのは当然ですが、委員それぞれ自分の意見に関する資料集めも当然なことですがね。資料収集の中で役立つのは新聞です。 ○H24・10/11民報の記事には「仮の町」課題山積」「5市、受け入れ前向き」の見出しで、町外コミュニティー（仮の町）を受け入れる方針を示した福島・会津若松・郡山・いわき・二本松の五市。これらの受け入れを表明したそれぞれの事情をくわしく報じているのです。さらに受け入れる自治体の住民の声もせています。この新聞を手元において話し合いをすすめたら、二者択一から脱却できたのではないだろうかと思えます。基本的には、各委員が資料を用意することだと思います。それは、数ある資料から自分にとって必要なものを選択するという行為がとても大事なことだと思うからです。選択眼を養う、磨くことが委員に求められているのです。委員を引き受ると言うことは、このようなことも含まれていることを知るべきです。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1437	まちづくり委員会② ■国や県に提案しなく ちゃ。	○H24・11/22民報から「進まない生活再建」「お役所仕事」変わらないの見出しで「仮の町」にかかわる国の対応について報じている。町外コミュニティ（仮の町）は、自治体の中に別の自治体を移すという前例のない取り組みだから、当然関係法令とのからみが大きく影響を与えているわけです。例えば、住民票を異動しない避難者の居住証明書の発行、医療・福祉施設の設立認可・利用法、道路整備の費用負担、インフラにかかわる費用負担などの課題が解決されていかないと仮の町の実現への道は閉ざされていく。所管省庁の対応、各省庁間の連携などの動きに左右されるわけです。まちづくり委員会の審議の過程では上記の官庁との対応が問題になることが多くなるだろうと思います。現に受入れを表明してくれた初の対応の中にも各省庁への要望・要請が多々あるわけです。復興に関する業務の復興庁のワンストップの機能は形だけで、国の縦割りの構造は依然として健在ですから、大変です。各首長の手腕が望まれるわけですが、それを突き動かすのは委員会からの提案なので、委員会の審議はそこまで突き進まないで前へとは進まないでしょう。幸い委員の中には議会議員の方も入っているので大いに動いて頂くことです。ことによっては、各関係省庁の関係者を呼んで勉強会を開くこと位の委員会活動にして欲しいものです。3.11以降、強く要望されることは専門的な知識が欲しいということ、修得する一番の早道は、専門家の話を聞くことなんですね。いろんな機会を活用して勉強会を開くことじゃないでしょうか。	ノート
1444	役場へのお願い	早く、双葉町の復興する次のこれからの新しい場所（地域）を決めてください。	ノート
1445	役場へのお願い	早く、第2の双葉町を再興してほしい。場所が決まらなければ協力も出来ない。	ノート
1446	仮の町	仮の町はいわきにしないで、中通りにしてほしい。地震国なのに、浜にまた移るの？津波被害で苦しむの？	ノート
1447	双葉町と新しいふるさと	住めば都というだけあって、そこに10年もいたら、そこが新しいふるさとになっていくんだよ。まして、これから生まれてくる子供たちは、双葉町のこと、ふるさとだなんて思わないよ。	ノート
1448	新しい町	ふるさとに思いをはせてばかりで、これからのことがないがしろにしている感じがすごくします。一刻も早く新しい双葉町をつくって頂きたい。早く、早く新しい町の場所、土地を決めて下さい。	ノート
1453	これからのこと	まずは、一地域に集まること。仕事は開拓魂を発揮せよ。	ノート
1456	町づくり	エコタウン構想を取り入れる。	ノート
1460	暮らしたい場所	放射線のないところで、のびのびと子どもたちが外で遊べるところ、安心安全な食べ物があるところ、野地野菜の安心して食べられるところ。	ノート
1461	暮らしたい場所	首都圏に近く、双葉町に日帰りができる場所。首都圏に近ければ、就業のチャンスが多い。	ノート
1462	仮の町について	仮の町といっても、長く定住することになるので、大家族でも一緒に暮らせる間取りが欲しい（家族と一緒に住める家）。	ノート
1463	仮の町について	まずは、一地域に集まること（双葉住民が）。なるべく早く。（町でも一地域に集まるように借上げ住宅等の世話をすべし）	ノート
1464	双葉町について	双葉に空中都市はできないか。双葉住民のための空中住宅、もちろん学校、田畑付き。今の日本の技術ならできるはず。（人口地盤をつくる）	ノート
1465	暮らしたい場所	放射線の影響のない、安全な土地で、気候風土が双葉に似ていれば最高。	ノート
1475	不安	衣・食ありても住なしは不安いっぱいです	ノート
1485	復興に向けて	早く落ち着いた日々を過ごせるように、国、県、町の意見が一緒になり、仮の町なり、計画したことを実行してほしい。	ノート
1486	安全な生活をしたい	放射線のない安全な土地に生活をしたい。避難して1年9ヶ月になります。未だ将来がはっきり出来ない。1日も早く、故郷双葉町に帰りたいが、永久に帰れないと思っている。 また、仮の町については、良い構想だと思いますが、実際には受け入れ体制や場所等の問題で無理ではないか。 私は高齢です。先がありません。 1日も早く、復興計画を進めてください。	ノート
1487	子ども（孫）の学校について	私の家族の状況は、私夫婦は、娘のところの千葉県に、息子夫婦は仕事の関係で息子は福島県〇〇市に嫁と孫2人は福島県〇〇市に、それぞれ避難生活をしており、淋しい毎日を送っております。 孫の長男は来春大学に、長女は高校に入学するため、それぞれ勉強しておりますが、親の勤務先により只今、悩んでいるところです。 家族が同じ避難所で生活できることを願っております。	ノート
1496	仮の町の家	仮の町をつくるのはいいが、住む家はどうなる？家を建てる金などない。無料で建つのか？仕事もないので、借金はできない。年齢も50歳を超えているので、とても返せない。家族も無い。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1497	仮の町について	仮の町の土地や家はどうか？とても自分で金を出せない。今、生きて行くだけでやっとだ。食事にも注意して、できるだけ安くあげようと生活している状態だ。どこから金が出るんだ？	ノート
1498	復興	人間である以上、ただ、生きている(死なない) だけではどうしようもない。 “ほこりをもって” いきていける場所、生活が必要だ！！ そういう場所がほしい！	ノート
1502	仮の町と住まい	仮の町と復興住宅の建設を望む。	ノート
1516	当面の生活、仮の町	・国は本気で考えているのか ・本末転倒 ・誰がやるのか	ノート
1523	帰還への期間について	双葉町は、今の汚染状況から帰れない期間を国が示すべきである。一番基本となる、帰れない期間(予測)が示されないと、仮の町、町外コミュニティの計画期間が明確にできない。	ノート
1524	仮の町、当面の生活	次に、町民がまとまって生活できる「仮の町」の安全・安心な場所の選定が必要である。高齢者は、双葉町の近くに生活したいとの思いが強い。しかし、放射能の心配がないところ、ならびに、子どもや若い人が生活できるところが、当面の町の拠点となる。	ノート
1525	仮の町について	「仮の町」場所選定のスピードによって、町民のまとまる人数が減少する。避難生活が長期間になり、財物賠償の支払いが進むと避難先での移住率が上がる。特に子供たちが急がれる。よって「仮の町」の時期と場所について、早期決定公表が必要。	ノート
1526	仮の町について	仮の町には、公営住宅、分譲住宅、学校、商業、医療、雇用の場などが必要である。	ノート
1527	仮の町について	仮の町構想を打ち出し、双葉町民はもちろん優先であるが、後々、町外避難者の希望者も取り込む。	ノート
1550	仮の町	夫も退職したし、娘も大学卒業を控えている。今から仮の町では少し遅すぎる。	ノート
1551	仮の町	仮の町は、複数あった方が良いのでは	ノート
1552	仮の町	双葉町に近い風土、気象条件のところが良いが、家族がバラバラなので、娘と一緒に住みたいと思う	ノート
1568	高齢者	高齢者が安心して老後を暮らせる環境を整備してほしい。 冬銀河 誰を待つのか 双葉町 避難生活は高齢者にとっては有事と同じ状態です。温情ある政策を願っています。	ノート
1570	高齢者が安心な暮らし	高齢者が安心して暮らせる終の住処を提供しなければなりません。戦前・戦中・戦後を生き抜いてきたお年寄りが、東日本大震災以来、困難な生活を強いられています。人道上の理由は明確です。温情ある措置が急務です。 風よそぐ 耐えよ生きよと 冬木立	ノート
1636	これからの生活場所について	双葉町、大熊町、富岡町、浪江町等の町を1つにして代替地をもらい、新しい町をつくる方が良いと思いますが、私は今の避難先でやっと慣れてきたところです。 子供が学校になれるまですごく時間がかかりました。しばらくはこの土地で暮らすことに決めています。 ですが、5年後、10年後の予定がたちません。	ノート
1638	双葉町再建	いつまでも仮の町(役場?)を埼玉県におかないでほしい。福島県に戻るべきだ。中途半端にしているからどこに落ちついたらいいか分からず不安になる。 子供たちの転校を考えると、友達と別れる悲しみを二度と味わわせたくないで今住んでいるところから離れることはできないでいる。 いっそのこと、塙町に移転してくれませんか？	ノート
1661	生活場所、住いへの希望	少しでも双葉の住まいに近づきたい。 家の周りは菜園と花だんがあり、孫達が自転車乗りできる一戸建を望んでいる。 ペットを飼いたい。飼猫3匹行方知れずです。	ノート
1669	仮の町？	いわき市に仮の町が出来る。いずれまた動かざるを得ない。 なら、国有地をもらい国で整地して双葉町を立ち上げてはどうでしょうか。 町の移転です。 町のつながりは、他の市に借地しているよりもしっかりとつながっていくと思います。 移住権をもらいたい。 国には優先的に住むことが出来るよう働きかけて下さい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1671	町民何人が仕事についているの？	双葉町民で震災で仕事を失った人は何人いるの？ そして仕事を持っている人は何人いるの？ 仕事を持っているその人達は、双葉町（仮の町）が出来た時そこに戻るのか？ 若い世代は、放射能で帰りたくないと言っている人が多い。 老人（仕事を持たない）ばかり帰町しても、将来を見ると町の体をなしていないのではと思う。	ノート
1672	農業は再生できるのか	水田の水は大柿ダムから来る。 大丈夫か？ 米は買う人がいるのか？ 野菜は売れるのか？ 山林の除染は可能なのか？ 我々農業の仕事は双葉町でなければできないのではないのか？ ？マークだらけの環境で先が見えない。 生活も農業もできるのは、放射能のない土地へ町移動ではないのだろうか。	ノート
1679	住みたい場所	町長が県や国、東電と話し合い、双葉と同じような所に土地を見つけてくれる事だけ。ただ今みたいに誰も知っている人がいない所は困ります。2~3人でも同じ行政区の人がいる様にしてほしいです。	ノート
1682	医療・福祉について	高齢者が多くなっているので介護施設は、仮の町でもいいから作ってほしいです。私も73才になるし子供に世話になろうとは思いません。	ノート
1683	避難生活について	賠償を早く進めてほしい。住宅ローンもなるし、母子家庭の娘はたいへんです。私達は土地を仮の町にすると言われればそこでいいから。借上げ住宅アパートに住んでいますけれども一日も話しする事もなく過ぎていく。	ノート
1684	双葉町復興について	双葉町へは帰らないと思う。同じ町の人2~3人でもいる所へ行きたいです。	ノート
1705	仮の町について	若い人達は、避難先で生活の基盤がだんだん出来てくるので、もし仮の町を作ったとしてもほとんどが住まないのでは？ 親の仕事、子供の学校を何度も変えるわけにはいかないと思う。 精神的につらいと思う。 各県に、仮ではない長く住める住宅を作ってもら方が助かる気がします。	ノート
1715	保育園、幼稚園、児童館ありましたね	また早くあればいいなと思います。子供達が自由に遊べる場所。 有名な双葉にもいけなくなり本当に残念でなりません。 双葉町には図書館もありましたから、私の娘など図書借り出し、いっぱい読みました。	ノート
1717	自分の家のような場所でお世話をしてもらいたい	今のところ出来ることはなんでも一人でやっておりますけれど、いずれは人のお世話になるかもしれません。その時を考えた時にいつも自分の家で生活しているんだなと思い過ごされるような雰囲気のある場所が出来ればいいと思いますけど。	ノート
1743	仮の町構想について	仮の町構想の実現には、早い時期に帰還希望者の取りまとめを急ぐべきである。 災害復興住宅の青写真も早い時期に示すべきである。 白紙の状態に意見を述べようにもそのすべが思い当たらない。 町は県に、また国に対しどのような構想をもって協議を持ち掛けているのか町民に情報を流すべきである。	ノート
1745	中間貯蔵施設について	建設されれば双葉町の人口は1/3程度に減少するのではないかと。しかも高齢者を主体に。隣接町村合併も十分に視野に入れるべき。 町として成り立つのか疑問ではあるが、何年先頃に双葉町がどのような形で復興再生させるのか早くビジョンを示すべき。	ノート
1749	双葉町再興	除染作業が全く手つかずで、5年間は帰還しないことで政府と交渉中であることのようなのですが、この先5年間も帰らないとすれば町は無くなったものと誰もが考えると思います。 人は絆だけでは生きられないと思います。 地に足が付いた生活をそれぞれが各自で選択するのは当然なことで、仮の町を作るにしてもスピードが全く感じられない現状から双葉町再興への希望が段々遠のいて行きます。	ノート
1753	つくばの公務員住宅	公務員住宅をリフォームして有効活用した方が良いでしょう。	ノート
1754	住宅整備について	住宅整備する際に、単に人数に応じた機械的な仕様はやめてほしい。 ニーズに応じた供給を。	ノート
1757	仮の町について	皆一つは無理にしても、数十人など、ある程度まとまった単位で仮の町を整備してほしい。	ノート
1758	仮の町について	自分はつくば市に住んでいるが、すごーくいい所です。 近くには公園、学校、保育園みんな近くで用がたせます。10分ぐらいの所に病院がたくさんあり、すごーくいい所です。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1759	つくばの住環境	県内にいる人達、仮設に入っている人達にぜひつくばの方に来ていただきたいです。 県内にいる方は雪が降ってこれから大変な季節になります。 気候は双葉町にいたような気分になります。 エクスプレスに乗って窓から見える風景は、田んぼや畑が広がっています。	ノート
1762	お年寄りの娯楽	年配の人達は土にふれたいと思うので、つくばに来たら、野菜とか花など育てられるような環境です。	ノート
1763	仮の町について	町として、町民がまとまって生活できる場所。 ある程度、町民が集まった形の仮の町。 つくば市にはたくさんあいている所があるのでそれを利用してほしい。 あらたに作るのでは大変なので、あるものを再利用してほしい。 近所にいれば声もかけ合えるから。	ノート
1764	お薦め つくばの暮らし	せまい仮設住宅に住んでいる人も、つくば市に来てくれたらいいと思います。 まだまだいろんな人につくばはいいよといってさそいたいです。	ノート
1765	お薦め つくばの暮らし	つくば市で先に生活している人達と、みんなの来る日を待っています。 住んでみていい所でーす！！	ノート
1771	安心できる暮らし	病院や施設等、心配なく安心出来る所に、早く住みたい。 昨年の6月から、加須市内の老人施設でお世話になっています。たくさんの方達に良くして頂いていますが、やはり老いには勝てません。2回程、入院もしました。これから先も、あるかもしれませんので、知人がいる所で、言葉も気にせず、過ごしてみたいです。（長男の嫁 代筆）	ノート
1780	充実している	・幼(保)、小、中、高校、看護学校まである ・図書館、歴史民俗資料館がある	ノート
1782	文化・娯楽について	老若男女が自由に利用できる多目的内外の施設(文化、スポーツ等を含めて) 町民1人1人の趣味を生かすことができる施設	ノート
1784	仮の町について	人口減少が予想されるので、それを逆にとり、樹木と水路を配した緑と水の豊かな公園都市にしたい。	ノート
1791	復興策定の方向性の1	さしあたって県内浜通りのなかに「仮のまち」をつくり、出来る限り多くの町民が集合し住める場所を工夫することが最大の視点と考えます。	ノート
1792	復興策定の方向性の1	選定先に旧来ある空き建造物の利用も含め、双葉町の幼小中学校の設置が可能など、住宅は就学児童を抱える家族の優先を図る。	ノート
1793	復興策定の方向性の1	既存インフラを相互活用できる場所、また必要なインフラの設置充実化を図る。	ノート
1794	復興策定の方向性の1	上記のような環境づくりは、本来加害者である東電や国が謝罪して整えなければならぬ義務があるものと考えます。	ノート
1795	復興策定の方向性の1	帰還が長期にわたる場合、国有林など国有地を活用した位置に、纏まりのある「仮のまち」をつくることも一考にあり、避難者に対する国側の義務であると考えています。	ノート
1796	復興策定の方向性の1	これまで避難者を快く受け入れてくれている自治体に対し、感謝の気持ちをもって今後とも交流を深めていく。	ノート
1810	「仮の町」の難しさ	「仮の町」構想だって結局「いわき」に移ったとしても分散型しかないであろう。用地確保の問題、そして仮に無事に双葉に戻る事が可能になった時に、帰還後の利用（仮の町で有った所）は難しいのだから、いわきが良い顔をする訳はない。分散型しかないのなら、何の意味も無いのではないのか？	ノート
1816	あたりまえの生活を過したい	双葉に住み人間として生活していた頃の日々に、家があり先祖が見守る当たり前前の生活をしたい。 人間らしい生活、早く自分の落ち着いた家で暮らしがしたい。	ノート
1817	目に見えない放射線	安心して住めない双葉町。私達は双葉町から離れた昨年3月12日から、双葉町は心からも離れていってしまった。放射線により住めない町になってしまった。 新しい双葉町はどうなるのだろう。 安心して住める場所で生活を送りたい。	ノート
1819	新たな土地で自立した生活を	双葉にはもう帰れないのだから早く土地を買いあげてほしい。早く自立した生活がしたい。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1835	今の双葉町の動きは？	時々疑問に思うが、今双葉町ではどのような取組みがされているのだろう。また、今後どうすべきだと考えているのか。仮の町づくりが優先か、双葉の整備、除染なのか。 双葉町 →仮の町づくり優先 ○人をキープ、コミュニティが作れる ×場所の大きさ、仕事の関係で →元々の双葉の整備、除染優先 ○元々の双葉での再開の準備ができる ×将来本当に健康被害はないのか、どれくらいの人に戻ってくるのか 何を始めるの？それかもうやってるの？ そう思っている人多いはず。	ノート
1859	近隣に住み戻るとしたら	川内村、広野町をみても分かるように警戒区域の町村の場合、各町村でもう一度場所を新たに再構築して、集まって町をつくらうとして何人の町がつかれるか。租税の徴収（町の予算の根源である税収入）は見込めるか。高齢者ばかりの町にならないか。住むだけでは町にならない。	ノート
1860	近隣に住み戻るとしたら	帰宅困難区域を除く北・南に分けて北方部双葉町、南方部双葉町に2つの町（市）に統合し、住民の集約、企業誘致を含めてインフラ整備を行ったらどうか、もう今までの町に拘らず新しい町にしていってどうかと思う。簡単にいうと町村合併してはどうか。	ノート
1862	仮の町の将来像は？	仮の町の将来像を教えてください。 「双葉町」の名をなくさないということだけ？	ノート
1863	双葉郡合併の道	警戒区域から（他町村と足並みを揃えることも必要と考えます。）新区域への移行を考慮し、賠償、復旧、復興を前に進め、双葉郡として合併も視野に入れた将来像を見据えてはいかがなものでしょうか？	ノート
1868	仮の町の必要性を問う	仮の町は希望するか、しないか等、もう一度アンケートを行って人数等を把握した後、受け入れ市町村を検討してはどうでしょうか。 （家族と一緒に住める場所） 双葉町に帰るのか、帰れないのか、はっきりした時期等を示してほしい。	ノート
1878	双葉町を残すか	双葉町は残すべきか？！ 残せるものなら残したいが暮らしますか？と聞かれたら、暮らせないと答えてしまう。	ノート
1899	家族一緒に生活を希望	家族一緒に暮らせるような土地、家が欲しい。	ノート
1900	土地の提案	土地が豊富な川内村、都路町等の道路を整備し、相双の行政機関が多い南相馬市やいわき市へのアクセスを良くしたらいいと思う。	ノート
1907	仮の町について	いわきに仮の町を作るという話ですが、本当に実現するとは思えないし、そこに住むつもりもありません。 双葉町長には、国や東電などに対して何でも「NO!!」ですが、本当は何も決められないだけなのでは？…と思われぬように祈ってます。	ノート
1908	帰還について	みんながみんな、双葉への帰還を願っているわけではありません。 ひと区切りついたら、ちゃんと今の場所に住民票を移して、根を張った生活をしたいと思っている人はたくさんいます。	ノート
1925	仮の町の場合	仮の町はいわき市がいいと思います。気候温暖、首都圏よりの交通の便利が最高。	ノート
1968	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	計画は現在の双葉町をするのか、移転して新しい双葉町をつくるのか、私には判断できません。	ノート
1969	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	双葉町にいつ頃までに家に戻れるのか。	ノート
1970	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	他に新しい双葉町をつくるには、どの位の広大な土地が必要なのか。	ノート
1971	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	新しい町づくりの場合、いわきから双葉郡内として、郡山、福島、会津は雪が多いので避けた方が良く希望する。	ノート
1972	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	私は現在柏崎に避難生活をしているが、店舗がなく買物に困っております。移動販売車の手配など、遠くに買い物の出来ない高齢者のためにしていただきたいと思います。	ノート
1973	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	双葉町に住んよ良いと感じたことは、フレアイバスの運行があり便利でした。高齢者の医療機関、買物等に利用できて便利でした。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1974	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	戻れるのか移転するのか早く決断して欲しい。	ノート
1975	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	福島民友10月11日特別版で、大熊町渡辺町長が10月6日会津若松市で報道陣の質問に答えた。 町外コミュニティの設置場所について、いわき、郡山、会津若松の3市で協議が進んでいる。県が受入自治体との協議を進めているが、2年後を目標に第一陣が入居できる態勢をとってもらえることを期待しているが、現在の双葉町としてはどうなっているのかを知りたい。	ノート
1976	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	私は現在柏崎市〇〇に避難しております。この集落は新潟震災後被災者が復興再建している新しい町です。早い方では今から6年前から3年前で、また現在も住宅が建築しているところが見受けられます。	ノート
1977	双葉町民全員参加復興まちづくり計画について	1. 道路が広いこと。いわき、郡山、福島、会津若松をみると道路が狭い感じがする。 2. 住宅進入路が広いので車の進入が容易であります。	ノート
1985	4. 仮の町構想	「町外コミュニティー」「サテライト」「仮の町」呼称バラバラである。 「仮の町」という名称は昨年12月、双葉町の井戸川克隆町長が使い始め、報道機関でもよく使われるようになった。双葉町以外の3町は「町外コミュニティー」（浪江町、大熊町）、衛星を意味する「サテライト」（富岡町）と呼んでいる。 「仮の町」と言わない3町は、受け入れ候補地のいわき市に気を使っている面も。浪江町の馬場有町長は、渡辺敬夫・いわき市長に「『仮の町』と言わないでくれ」と言われたと明かす。 いわき市は「仮の町は、市が望む分散型には合わず、誤解を生む可能性がある。場所の概念が緩やかな『コミュニティー』という表現なら、必ずしも1か所に集まらないイメージがある。」（復興支援室）とし、「町外コミュニティー」という表現を使っている。富岡町は「『仮の町』と言っても、実際にそういう町ができるのは不確かだ」と実現性を含めて疑問を投げかける。	ノート
1985	4. 仮の町構想（つづき）	（2012年10月23日読売新聞） 「仮の町」構想を話し合う国と地元自治体の協議会の初会合=22日夜、福島県郡山市 東京電力福島第一原発事故による避難住民の拠点地などを整備する「仮の町」構想について話し合う政府と福島県、関係市町村の協議会が22日発足し、郡山市で初会合を開いた。仮の町について、政府と地元自治体が公式に協議するのは初めて。平成25年度をめどに取りまとめる「仮の町」整備方針の議論が本格化することになるであろう。 平野達男復興相は「高い放射線量でかなり長期間避難をお願いしなければならない地域もある。そういう方にどう暮らしてもらうかが大変な課題」と述べ、受け入れ先自治体ごとに個別部会を設置して協議を進める考えを示した。 会議には平野復興相と佐藤雄平知事、避難区域に指定されたことがある双葉町など12市町村と、受け入れ先候補のいわきなど5市の首長らが参加した。 現在、仮の町の整備を表明しているのは、いずれも警戒区域に指定されている双葉、大熊、浪江、富岡の4町。双葉町は被災者用の住宅だけでなく、学校や病院なども集約するニュータウン型を目指す一方、受け入れ先のいわき市などは、住宅機能に絞った分散型をしており、議論の難航は必至である。	ノート
1986	4. ①仮の町の問題点	「仮の町」には、「あくまでも元の町に戻るまでの時限的な」という含意がある。しかし、「では、戻れるとすればいつなのか」という問題がある。それは、放射能汚染の現状と今後の推移をどう見るかということに関わる。また、それに踏まえつつ、主体的な選択の問題として、「戻れるのか、戻らないのか」という問題がある。これは、住民にとって、簡単に割り切れる問題ではない。双葉町民から出されている声があったことを紹介する。 東京電力福島第一原発事故で長期の避難を強いられている住民が帰還できるようになるまでの間、まとまって住む拠点を他の地方自治体に置く構想。国は、福島県12市町村の復興の在り方を示した「グランドデザイン（取り組み方針）」等で、避難自治体を受け入れる自治体に協力依頼や財政支援を実施すると明記している。福島県は避難者のために、仮の町で災害公営住宅の建設を優先させる方針のようであるが、どこに誰が入居できるのか不明である。	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1987	4. ②避難生活 1 年8か 月により町民の避難地 域への定着化と長期化 の不安	<p>下記の様に双葉町民は全国に分散している。 ◆福島県内に避難されている方 3686人 ◆福島県外に避難されている方 3278人 ※旧埼玉県立騎西高校…159人 内訳 【都道府県別避難状況】 40都道府県 3278人 【福島県内市町村別避難状況】 42市町村 3686人 それで下記の状況が予想される。</p> <p>避難地住民への融和化、公共施設・病院へ通院の安定化、将来の永住に向かって家を新築、土地を購入した方もいる。子供の学校の入学転校問題、反面いじめ等の問題もありその反対もあるだろう。 上記の問題が、年数に比例して町民の定着化が進んでくるのに伴って、生じるものと思われる。特に、旧埼玉県騎西高校…159人への批判、仮設住宅の窮屈さ、借上げ住宅住民の孤立化、借上げ期間の問題があり、将来についてどう判断してよいか迷う町民が大部分であろう。</p>	ノート
1988	4. ③仮の町 法制化の 問題	<p>例 いわき市 双葉町字〇〇番地 現制度では認められない。 平野達男復興相は「高い放射線量でかなり長期間避難をお願いしなければならない地域もある。そういう方にどう暮らしてもらうかが大変な課題」と述べ、受け入れ先自治体ごとに個別部会を設置して協議を進める考えを示した。今後問題が長引く可能性がある。</p>	ノート
1989	5. 住民票を移さずに避難している住民の方の メリット	<p>原発避難者特例法に基づく指定市町村及び特例事務の告示等について指定市町村から住民票を移さずに避難している住民の方は、指定市町村または福島県が提供すべき行政サービスのうち、自ら提供することが困難であるとして総務大臣に届け出て告示されたもの（特例事務）については、原発避難者特例法に基づき、避難先団体から受けることができます。</p> <p>平成23年11月15日、原発避難者特例法に基づき、次の事務が特例事務として告示されました。</p> <p>【医療・福祉関係】8法律166事務（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定等に関する事務（介護保険法） ・介護予防等のための地域支援事業に関する事務（介護保険法） ・養護老人ホーム等への入居措置に関する事務（老人福祉法） ・保育所入所に関する事務（児童福祉法） ・予防接種に関する事務（予防接種法） ・児童扶養手当に関する事務（特別児童扶養手当等の支給に関する事務） ・乳幼児、妊産婦等への健康診断、保健指導に関する事務（母子保健法） ・障害者、障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務（障害自立支援法） <p>【教育関係】2法律53事務（※）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の就学等に関する事務（学校教育法、学校保健安全法） ・義務教育段階の就学援助に関する事務（学校教育法、学校保健安全法） <p>※事務数は事務の根拠となる法律または政令の条項数によるもの。</p> <p>特別事務については、事務の引き継ぎ、準備期間を経て、平成24年1月以降、避難先団体から提供されることとなります。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1990	6. 住民票を移すデメリット	<p>①住民税が課税される。 →双葉郡の町村も住民税の課税を再開しているところがほとんどで税金は変わらないかもしれません。</p> <p>②所得税等の申告期限の延長措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>③高速道路の無料措置が受けられなくなる可能性がある。該当措置は2013年3月で打ち切られる可能性が高いためあまりメリットはないかもしれません。</p> <p>④役場からの義援金がもらえなくなる可能性がある。</p> <p>⑤医療費の無料措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>⑥不動産を購入する際の登録免許税（契約書）の減免措置が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>⑦その他原子力被災者が今後受けられるであろう行政や税制上の様々な優遇措置等が受けられなくなる可能性がある。</p> <p>※住民税は1月1日現在の市町村から課税されますが、その他の措置については住民票を移しても2011年3月11日現在で判断されるかもしれませんので、役場や関係機関に個別に確認した方がいいと思う。</p> <p>住民票を移さないデメリットとしては、住民票上の住所地以外の市町村において不動産を購入する際、司法書士の登記料が約10万円程度高くなります。</p> <p>私は様々な行政や税制上の優遇措置、役場の基本方針（仮の町、被災者住宅、町村合併等）がはっきりと確定するまでは待った方がいいような気がします。あとはメリット、デメリットの情報を最大限集約し総合的に判断するしかないと思います。</p> <p>医療費免除は手続きすれば、住民登録を移しても受けられるようです。</p>	ノート
1991	7. 双葉町の将来像についての試案	<p>福島県内外の幼児、小・中学校児童生徒数 [H24. 11. 1現在]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島県内…296名（約44%） ・福島県外…375名（約56%） <p>将来、児童生がは双葉町に戻る確率はかなり低いと思う。</p> <p>双葉町の平均寿命 女性85.5才 男性78.0才</p> <p>20年後現在の町民平均寿命に達する可能性がある。残念で悲しいことであるが、双葉町は消滅してしまう可能性がある。</p>	ノート
1992	7. ①戻らない人のために将来に向けての生活再建援助する施策を講ずる	<p>東電の説明会では帰還困難地域が75%あると説明している。東電の賠償で区画割りを行い帰還困難地域に該当しない世帯に町は援助する。中間貯蔵施設候補地の現地調査を受け入れる。結果により、賠償を求める。とにかく他町村より何事も後手である。</p>	ノート
1993	7. ②戻りたい人のために生活環境の整備施策を講ずる	<p>仮の町の具体化を早急に決定する。検査体制、除染体制、病院水道、ガス、道路、食品対策が町としても具体的支援体制を立案していく必要がある。しかしこれは何十年後か何万年後かになる可能性がある。</p>	ノート
1994	おわりに	<p>各問題点をあげたが、一体町が何年後に戻れる前提で7,000人の復興会議を企画しているのか見えてこないの、それで書くことも一貫性がないし、町民各自も将来についての予測も出来ないの、ガス抜き程度しか書けない。せめて、双葉町としての全体構想を作成し、例えば高齢者に対して老人ホームの建設をどうするかなど具体策を示してほしい。何故双葉町には住めないのか、放射能の観点、健康被害問題等マスコミは本当のことは教えないし、それを説明するとマスコミから消され反原発者と扱われてしまう。現在世界最大の原発事故の健康被害について、今後何十年について誰もわからないので、福島県民をモルモットとしてデータを取りたいのであろう。今後希望と未来ある双葉町にしていきたい。</p> <p>たとえ町名は消えても、その絆は残したい。</p>	ノート
1997	双葉町の未来について仮の町は、双葉郡として考える	<p>双葉町の未来について思うのは、仮の町にどれだけの町民が戻ってくるのかということです。</p> <p>私は、もう小さな町がそれぞれ独立して動くのはやめて、避難している町村で、どこか1ヶ所に双葉市などを作った方が良くと思います。各町がそれぞれ動いて、考え方がバラバラで点在し、お世話になる地元の反感をかってまでそこで生活するのは精神的に辛いので、同じ気持ちを共有する双葉郡の人達が国から何処かに場所を提供してもらって、住めば良いと思います。</p>	ノート
1998	双葉町の未来について仮の町は、双葉郡として考える	<p>そこに帰りたい人は帰る。今の環境に残りたい人は残る。場所はここを提供するから、決断は自由に選択できる方法が良いとおもいます。</p> <p>小さな町が集まれば、市になります。小さな町だけでは主張しても聞き入れてもらえませんが、双葉市として申し入れれば国も受け入れてくれるかもしれません。</p> <p>そして、そこに学校を作ってほしい。1日も早く。当時、双葉にいた先生方にまた、教えていただきたい。悪いことをすれば、きちんとしかってくれる先生方。</p>	ノート

no.	タイトル	本文（意見の内容）	マイ ノート
1999	子供のことを考えると、今はまだ福島には帰れない。	<p>保護者も一生懸命、学校の活動に参加したり協力していた。子供のことを考えると、今はまだ福島へは帰れない。国の基準の20ミリシーベルトは、何を根拠に示しているのか？安全というなら、国の役人達が住んで手本を示してほしい。区域の再編を受け入れる、中間貯蔵施設を受け入れる、とは全く失礼で迷惑な話だ。</p> <p>これで復興が遅れるという人もいるが、受け入れが復興につながるとは到底思えないし、ますます帰れなくなって、復興が遠ざかっていくと思えてならない。</p>	ノート
2002	仮の町の生活環境について	<p>生活環境について。仮の町は、やっぱり海の近く（浜通り）が良い。海の近くなら、多くの町民が戻ってくると思う。</p> <p>私はやっぱり双葉の人間なのだ。皆もやっぱり双葉の人間なのだ。皆の気持ちをそろえて、皆でいつかは帰りたい。</p>	ノート

【インターネット会議からの意見①（各会議意見へのコメント）】

※「コメント」とは、各会議会場の発言として専用ホームページ上に掲載された意見に対して、インターネットを通じて投稿された町民の意見・提案のこと。
 ※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議 (対象会場)
1194	特別養護ホームを	特別養護老人ホームをつくった方が良い。いわき市にて。		05いわき
1194	コメント1	財源、職員確保 様々な問題ありますよ。		05いわき
1237	家	以前のような大きな家はいらない。家族が近くにおいて畑仕事ができるところに住みたい。	3	05いわき
1237	コメント1	残りの人生を考えると少しくらい線量が高くても私たち夫婦で双葉に住んで、双葉で野菜を作って生活したい。それが原因で死んでも構わないだから帰るタイミングは国が決めるんじゃなく自分で決めたい。	3	05いわき
1237	コメント2	同感です。		05いわき
1632	買い物	大型ショッピングモールを建てて欲しい		06郡山
1632	コメント1	「(-.-;)」		06郡山
1640	役場	仮役場の近くに住宅を作ってほしい。		06郡山
1640	コメント1	具体的にどこ。		06郡山
1641	家庭菜園	家庭菜園などができる庭がほしい。		06郡山
1641	コメント1	誰もがほしいが、その条件を満たす場合の行動力は？		06郡山
1643	仮の町	交通の便などを考えると、仮の町はいわき以外の方がよい。		06郡山
1643	コメント1	具体的にどこですか。		06郡山
1643	コメント2	郡山市がベストではないでしょうか？何故いわき市にこだわるのか？		06郡山
1643	コメント3	分散型で…。		06郡山
1660	娯楽施設	公衆浴場がほしい。		06郡山
1660	コメント1	具体的に？		06郡山
2172	住宅	一戸建てがほしい。	1	07つくば
2172	コメント1	区域再編し賠償してもらわないと無理でしょうね。早く再編するように皆で声をあげるしかありません。	1	07つくば
2420	行政区単位で住む	今までの行政区単位で住めるようにするほうがよいと思う。		東京G
2420	コメント1	仮設での問題など知りたい。 仮設＝集合住宅とはならないのか？費用対効果は？		東京G
2424	住居の種類	一戸建ての方がいい。わざわざ集合住宅に移るなら、今住んでいるところにも住み慣れて来ているし、今のところから移る必要性を感じない。	1	東京G
2424	コメント1	その通りだと思います		東京G
2425	警戒区域解除になったら？	警戒区域が解除になったとしても、収束していない原発が（政府は収束宣言しているが実際はしていないと考えている）近くにある状態で、そこに戻る気はない。	1	東京G
2425	コメント1	その通りだと思います		東京G
2426	除染をしたら？	除染で放射線量自体が下がったとしても、まだ危険な状態の原発が近くにあることには変わりがないので、完全に廃炉になって安心できるまでは戻る気はない。	1	東京G
2426	コメント1	その通りだと思います		東京G
3038	分散型の町	浪江町や大熊町のように、双葉町も分散型になる傾向にあると思う。 一カ所に集めるのは不可能だと思う。	1	埼玉G
3038	コメント1	分散型仮の町（借りの町）＝現状の仮設住宅地でもいいのではと思う！ どうせなら集会所同様、常勤付き診療所も作っちゃえばっ！？		埼玉G

【インターネット会議からの意見②（HP上の意見及びコメント）】

※「HP上の意見・コメント」とは、専用ホームページに登録し、ホームページ上で投稿された町民の意見・提案のこと。

※「いいね」とは、投稿された意見に対して賛同のボタンを押されたもの。

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
12	仮の町のその先は	<p>仮の町、仮の町とは言いますが、いつまで仮なのでしょう。議会はいわき市に役場機能を移せと言っていますが、それは仮の町ですか？ではその先の仮でない双葉町はどうするおつもりでしょうか。もう、一年半経ったのだから、冷静にこれまでの流れを整理し、言葉を再定義、再構築しながら信頼、関係をつくりはじめる時期に来ていると思います。</p> <p>今しようとしている決定が、5年後、20年後、次の世代を大きく左右する内容であることを肝に銘じるべきです。後になって、そんなはずではなかった、騙されていたでは、今回の事故と全く同じ事を繰り返すことになります。冷静に議論していきたいです。</p> <p>その他ばっかりだな。カテゴリーが良くないっての。</p>	2	HP
15	空間線量	<p>年間 1mSv/h=1000μSv/h以下になるまでは駄目だな 0.114μSv/hで 年間1000μSv以下 0.115μSv/hで 年間1000μSv以上 皆さんも福島県、全国の放射線マップを見て考えましょう。 井戸川町長の埼玉行きの判断は◎で私は良かったと思います。 これから線量と戦い、暮らしやすい仮の町を造っていきましょう。</p>		HP
18	仮の町	<p>ペットがいる為に避難所に入れず、この街に避難して一年半余りが過ぎました。生活環境は合っていないが避難中だと我慢して、それなりに馴染んできました。仮の町といえども避難生活に変わらないのであれば、今更移ろうとは思わない。移るとすれば双葉町に戻る時だけです。でも戻る時期が明確でない今は、移住も考えます。詳しい情報も無いまま避難を強制されたのであれば、それくらいの選択肢と、それに対する支援が有って当然と考える。</p>	2	HP
23	仮の街を造ったら	<p>公営団地なのか、町営団地なのかわからないけど、人口流出を止めるなら県外に住んでる人達を優先して入れるべきである。 その次に借上げ住宅に住んでる人達。仮設住宅の人たちは、一番最後だな。仮設住宅に住んでる人達は、双葉町として動いている訳だから最後でもいいな。 県外に避難したのを戻ってもらえるように一番に優先するべきだな。</p>		HP
27	役場移転	<p>昨日のニュースでいわき市の副市長に井戸川町長が役場移転を打診したと・・・ アンケート多かった仕方ないと思うが、いわき市は今双葉郡からの避難者で飽和状態だと思います。役場移転がが決まるとまたいわきに転居する方も増えるでしょう。転居したくてもできない状態になりますどうすのでしょうか？ コミュニティの問題はあると思いますが自分は、各自が今現在いる場所が仮の町と捉え暮らすこともいとおつなのかと思います。</p>	1	HP
27	コメント1	いわきの実情考慮すべき		HP



no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット会議
29	仮のまちづくり	<p>いわき市に役場移転をするんだったら、みんなで暮らせる土地をかくほしてもらいたいよな。 双葉町7000人の復興会議ってなんなの？ いわき市の勿来地区ってどういうことなのよ？ まちづくりの話し合いだからいろいろ提案しようぜ ま～いわき市のどこの地区でもいいけど</p> <p>教育環境の整備、福祉の整備、住みやすい環境の整備、交通網の整備 私の見解から第一に住みやすい環境の整備をしなくては、誰も住んではくれないな。 住みやすい環境って言えば全部入るけどな</p> <p>まちと一緒に造るもの 総合病院と個人医院＝専門診療のできる所と接骨医院等と、 幼稚園、学校、体育館、グラウンド、図書館、福祉施設、老人ホーム、 スーパー、コンビニ、百元ショップ、駅</p> <p>みんなの生活に必要なものは造ってもらうべ 考えるといろいろあるけどな みなさんはどう考えてるのかな？ 提案をだしてください。 あちらこちらでまちの復興会議してるけど、あんまりみんな出てこないよな。 こどもそうだけど。</p>	4	HP
29	コメント1	<p>いわきに関わらず、いろいろ苦情など問題が出てるようですね。 いわきならいわきに転入すればいいですよ。 戻れるようになったなら... 転出すればいいし。 あと、その町に住んでいる以上税金は納めるべきですね。 いろいろお世話になってるんだから当然と思う。 せめて納税していれば文句も出ないんじゃないですかね。</p>	2	HP
44	各家庭の事情を考慮すべき	<p>県外避難者を県内に戻すような発言あるけど、勤務先が県外移転した事業所も多数あり。 高齢の家族がいて病院、福祉施設も慣れた環境から、県内に戻って一から始めるなんて難しい。 いわきの病院、福祉施設の実情考慮してるんだろうか？</p>	2	HP
45	理想ばかりでは	<p>避難先で生活環境が整い、そこから帰還するの現実には無理。 帰還しない人間が不利益を被るのは避けてもらいたい。</p>		HP
51	仮の町について率直に思った事	<p>(役場機能だけでなく住民も移住と考えると)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体の中に自治体が誕生することはあり得るのか ・住民登録は市と町のどちらになるのか ・自治権はどちらにあるのか ・〇〇市がサービスを提供し、税金が得られない状態になった場合、納税者である市民の不満が高まらないか ・生活保護は居住実態がある自治体から支給されるが、(仮の町が誕生した場合)どちらが支給するのか ・若い世代が戻らない「高齢者だけの町」にならないか ・応急仮設住宅が余っているなら、移設なり有効利用すべき ・全町民自立すれば仮の町は要らない ・自立した者はどうなるのか (やむを得ず住民票異動等) 		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
59	町長に問う	<p>避難生活から早約1年7ヶ月たちいまだ双葉町の将来像が見えない。特に次の事を問いたい。</p> <p>1. まだ財物の賠償がはっきりしない。この補償は町民の生活再生を左右する。 町の国に対する交渉により、賠償金額が変わってくる。言うまでもなく区域編成による賠償金額の違いである。現在一律賠償を訴えているが、これが現実になるまで町は国の言い分を受け入れないでほしい。</p> <p>2. 中間貯蔵施設の現実味 確かに施設建設は町民の殆どが望まないだろう。しかし、受け入れ条件が町民に有利であれば、考える余地があるかもしれない。 やはり十分な追加補償である。町民が納得いく補償金額が求められる。金額は一個人では言及できないが、おおよそ一人につき1億くらいが想像できる。</p> <p>3. 仮の町 当然ながら希望する。しかし、問題が確かに多いが。解決策がないとは言いきれない。これから検証の必要性があり、時間をかけ臨むべきである。 ただいえることは、行政のためが一番ではなく町民のためが一番と言う思考で思ってもらいたい。そうすれば町民は双葉町および町長に賛同する。</p> <p>以上、簡単な質問だが、ぜひとも現実味のある分かりやすい真意・言葉で町長から町民に発してもらいたい。</p>	1	HP
60	町議員に問う	<p>『町長に問う』という提案項目と同様、町議員にも同じことを考えてもらいたい。その上町長と協力的に進め、将来性のある双葉町を作ってもらいたい。</p> <p>個人感情は、第二の問題。第一が町民を優先させる考えを持ってもらいたい。なぜ、このような内容を投稿するかというと、町民は上記内容について同じ考えをしている。また町長と町議員の関係を良好と思っていない人が多いからである。</p>		HP
60	コメント1	町政懇談会でどうぞ		HP
62	仮の町構想について	まず双葉町に将来的に帰るのか帰らないのかの議論も無しに進んでいくことに問題がある。		HP
62	コメント1	ガンガン書きこんでください！！	1	HP
81	公務員住宅	<p>つくばの公務員住宅が何百棟も空いています。ここを復興住宅にしては？？</p> <p>いわきに大規模な造成をしても50年後には廃墟になりますよ。</p>	2	HP
83	仮の町じゃなくて本当の町を	<p>双葉町は帰れないぞ、何十年かは な～そ～だろ～。</p> <p>町民にいくら線量浴びせるんだっての話だ。</p> <p>除染なんかやっても無駄。</p> <p>帰ることを考えないで、新しい町を造っていくことを提案する。</p> <p>双葉町の行政が、国と踏み込んだところまできちんと話し合いをしるよ。</p> <p>除染は無駄で無駄な金を使うな。</p>	4	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
92	双葉町復興計画（1）-（2）（3）（4）について	<p>1 第一弾計画 (1) 財物の賠償 (2) 仮設住宅、借上げ住宅、長期住宅の環境設備 (3) 教育環境の充実 (4) 町の一年後と計画</p> <p>復興計画にあたり目先の第一弾を提案する。</p> <p>(2) に関して 安心して暮らせる住宅環境を確保しなければならない。 ・仮設住宅 主に年配者が住居に選んでいるため、町が思いやりのある仮設住宅地域づくりが必要。 ・借上げ住宅 ・長期にすめる住宅 今後帰還するまで、あるいは放射線の安全性が認められるまで双葉町のひとつの街づくりの基本となる住居が必要になる。</p> <p>(3) に関して 安心してまなべる環境をつくる。 教育に関して保護者は、いろいろ問題を抱えているので個別相談窓口を整える。 下記のようなことが考える。 ・いわき方面の学校を選ぶには？ ・仮の町が決まらなると進学地域が決まらない。 ・入試の際の学区？ ・進学にあたっての学校情報？</p> <p>(4) に関して 町の半年、一年の短期的取組目標を具体的に掲げてもらいたい。 下記の理由が考えられる。 ・長期的目標も大事だが短期的目標が分かれば、町民として短期目標を合わせやすい。</p> <p>今回は、復興第一弾の（2）（3）（4）について提案します。</p>	2	HP
94	復興とは	<p>現在、住居について主に議論されているが、仕事をしなければ生きていけない。収入の問題もあるが、人と職業とは密接に関わっていると思う。家にこもりきりじゃ元気でないし。</p>	2	HP
94	コメント1	<p>仕事って大事だと思う。事務局ですが、専門家として参加します。元の職種で仕事をしたいという人がいますが、元の仕事で元の収入を得るにはどうすべきなのか？新しい仕事でも、仕事があるべきとか漠然とじゃなく、自分が働くとしたら具体的にどうあるべきなのか、住宅とともに議論しないと「復興」まちづくりにはならないと思います。その具体性が見えたら、その実現に自分達が直接動いていくというのもありではないかと思うのですが。</p>	1	HP
94	コメント2	<p>仕事を自分が選択すれば何が出来るか？挑戦できるか？おのずと道が開けます。自分次第。家にこもりっきりは、あまり良くないね。でもつくばは良い環境だから救われる。福島はまだ不安。つくば市に行きたいが、理由があって家族と別れ福島に残留。お互い頑張ろう。</p>	1	HP
94	コメント3	<p>雇用についても意見する場が設けられているのだから、議論しない手はない。</p>		HP
97	仮の町	<p>ある日突然に住み慣れた町を追われ、今現在皆さんはそれぞれの住んでいる土地にすっかり馴染んでいるのでしょうか？ 明るく元気には心がけていますが何か不安で本当には落ち着いていません。 仮の町についていきたいです。</p>	3	HP
97	コメント1	<p>最後の復興会議で各地の動向を見極めるといいですよ。</p>		HP
97	コメント2	<p>〇〇さんへ ありがとうございます</p>	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
134	団地再生	我が国では、過去に多数のニュータウン開発が行われました。40年、50年を経て建物は老朽化していますが、逆に木々は豊かに育ち、優れた緑の環境が保全されている団地は今でも例があります。建物と同じくらい建物の周辺環境は重要です。熟成した緑の環境を残しながら、古い建物を価値ある快適なつくり直してゆき、活気のあるまちを取り戻す、そういったまちづくりを「双葉のまちづくり」に重ね合わせて学びたい方、ご要望があればセミナーや見学会を企画いたします。		HP
134	コメント1	具体的にどのような感じですか。「古い建物を価値のある快適なつくり」と「双葉町のまちづくり」との関係を教えてください。面白いと思います。	1	HP
134	コメント2	<p>「団地再生」紹介の理由</p> <p>双葉町の皆さんとの会話から、双葉町のいいところとして、「自然が豊か、人々の心が温かい、過密とは縁遠いゆったりした環境」などを聴くことができました。</p> <p>このイメージを実現するために、「まち」をつくる手法の1例として「団地再生」を紹介したいと思いました。</p> <p>「まち」をつくる沢山の手法のひとつとして捉えてください。</p> <p>◆双葉町の皆さんに紹介したかった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い団地には数十年かけて育まれた緑豊かな自然環境がある。 ・ニュータウンより、建物と建物の間隔がゆったりしているケースが多い。 ・既築建物は再生により、単に改修してきれいにするだけでなく、新しい価値を産むことができる。 ・時間的に、団地再生はニュータウン構築より、早期に充実したまちを創れる。 <p>◆理解していただくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる古い団地は、ほとんどのケースで集合住宅となり、戸建住宅を望むことはできません。 ・戸建住宅には無い集合住宅の良さを積極的に見つけて納得して頂くことが必要となります。 <p>◆集合住宅の良さとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集まって住むことで近隣との交流を図るスペース・働く場などを創出することが可能。 ・改修設計の工夫により、高齢化にも対応できる段差の少ない家をつくる事が可能。 ・改修設計の工夫により、小さなエネルギーで温かく・涼しい身体に優しい住まい環境とすることが可能。 		HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
134	コメント2（続き）	<p>◆団地再生の対象となる団地は存在するか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方には沢山はないかもしれませんが、関東地方には多数存在します。 ・国や独立行政法人や企業が所有しているケースがほとんどです。 ・それぞれに持ち主が存在しますので、ここでは具体の団地名称等を挙げることはできません。 <p>◆魅力的な団地再生の事例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が実際に訪問して最初に感動した事例は旧東ドイツ領に位置するライネフェルデです。 ・事例紹介第1号として、関係するサイトや本を紹介しますので、見てみてください。 ・今後、国内の再生事例も順次紹介します。 <p>◆双葉町の皆さんにとっての大切な点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双葉町の皆さんに大切なことは、早期に、実質的に豊かな環境を入手することだと考えました。 ・建物が新しい・古いに関わらず、実質的に豊かな人間関係や居住環境をつくるのがポイントです。 ・古いものの上に新しいものを加えることで、生活の中身を豊かにする、そういう手法に目を向けて下さい。 <p>◆もっと知りたい方には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に興味のある方は、どういうまちに再生してゆくことを希望されるか、具体のイメージをお知らせ下さい。 ・ご期待に近い事例を紹介するよう努めます。 <p>ドイツ中部、ライネフェルデ・ウォルビス市の位置</p>		HP
139	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真1		1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
140	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真2	<p>築50年のライネフェルデ団地 集合住宅の改修事例 (5階建→3階建に建築を小さくする)</p> 	1	HP
141	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真3	<p>ライネフェルデ団地 5階建→1階建の集会所に</p> 	1	HP
142	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真4	<p>ライネフェルデ団地 5階建→4階建の住宅に</p> 	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
143	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真5		1	HP
144	ドイツ中部、ライネフェルデの「団地再生まちづくり」、写真6	<p>ライネフェルデ団地 5階建→4階建 4階には広いルーフトラス</p> 	1	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
145	ドイツ中部ライネフェルデ「団地再生まちづくり」の紹介補足	<p>今から8年前、2004年の視察旅行でライネフェルデに行き、先ほど紹介した写真はそのとき自分で撮影したものです。 老朽化団地の問題に悩む多くの人々が、ライネフェルデの視察を行っています。直接の結びつきは何も無いのですが、双葉町の方々のまちづくりを考えると、8年前の視察のことが何度も思い出されました。 「新築」以外の手法でも立派な町ができることを確信していたからです。 ライネフェルデでは、減築（建物を小さく再生する）や撤去の手法が目立ちますが、マイナスの要素をプラスに変換する、大きな希望のメッセージを感じました。 無いと思っていたところに実はチャンスがある。この機会を捉え、毅然とした行動によって失った希望を取り戻す。 「団地再生まちづくり」は、双葉町の皆さんが深く研究し実践する大きな意味があると感じています。</p> <p><参考> ライネフェルデの「団地再生まちづくり」 参考サイトの例： http://blog.goo.ne.jp/lanonymat/e/4ab40780489db6a5f3652381837772ac http://tettai.jp/article/2008/04/19/1412</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ中部に位置するまち（東西ドイツ統一前は 東ドイツ内） ・ライネフェルデ・ヴォルビス市 人口：約2万人 面積：約96平方キロメートル（参考---双葉町 約51平方キロメートル） ・1990年東西ドイツ統一 ・ドイツ統一や産業衰退による人口減少（16,000人だった人口が12,000人に減少） ・1994年、団地再生が市の最重要課題と位置付けられ再生プロジェクト始動。市民参加型の「団地市民インフォメーション」と呼ばれる自治会を活性化 ・基本計画の3テーマ 「労働」「住居」「自然」 ・“まちの縮退”をポジティブなものに転換できることを実証。世界中から高い評価。 	1	HP
145	コメント1	<p>双葉町住民に具体的に紹介をお願いします。 今現在どのように計画が現実化されるか教えてください。 写真の内容、建築の実用化は理解しました。</p>		HP
177	コメント12	<p>皆さん、町長選挙に切り替えませんか？</p> <p>皆さんが、町長や県、国にやってもらいたい事って、どの様なことでしょうか？</p> <p>とりあえず、賠償問題以外で、有りませんか？</p> <p>例）私は、学校再会と就労、住居について2013年内に示して欲しい、改善をしてもらいたいです。</p>		HP
177	コメント13	<p>私は3点ほど要望があります。 まずは加須の避難所を早急に閉鎖し、役場機能の県内移設を希望します。 それと避難所と仮設住宅と借上げ住宅の格差是正ですね。 最後に仮の町も含めた災害公営住宅の建設についてです。</p>	2	HP

no.	タイトル	本文（意見の内容）	いいね	ネット 会議
177	コメント14	<p>加須の避難所は閉鎖すべきですね。 みんな仮設なり借り上げ住宅なりで生活してるのに、いまだに避難所って・・・ 避難所にいる人達は、色々理屈をこねて避難所存続を訴えているようですが、結局、本質は電気も水も使い放題な生活に慣れてしまっただけだと思いますね。 いい加減「我々は被災者様」等という考えで人に頼り切る生活は捨てて、これからの町づくりを皆で考えるべき時だと思います。</p> <p>役場機能の県内移設も必須ですね。 テレビなどでは埼玉に避難している人が「役場が福島に行く自分達が取り残される恐れがあるので移転しないで欲しい」と言ってるみたいですが、そもそも、双葉町は福島県の町なんですから、役場が福島県にあるのが本来の姿だと思います。 県内にいる町民が役場が県外にある事で不利益を被る方が余程おかしい状態だと思いますし。 先日、郡山市で行われた公開討論会に行ってきましたが、伊沢候補は、役場機能移転に際して前町長が発言したいわきに役場機能云々…という発言をまずいわき市に謝罪する事から始めます・・・ とっておりました。 尻拭いご苦労様ですね・・・</p> <p>因みに前町長は司会の「復興が他の町より遅れてる」という言葉に「町の復興は遅れてません、どこが遅れてるのか逆に聞きたい」…等と噛みついてました（笑）</p> <p>後は、復興住宅に関しては出来れば一戸建て…再編説明会で町が用意した資料に記載されていたような長屋タイプが理想ですね。 避難前は一軒家住まいだった事もありマンションタイプは馴染めないです… 病院、学校、職場の確保も必要でしょうね。</p>	2	HP